うきは市

ヤングケアラー支援のための
子どもの生活実態調査

報告書

令和６年３月

うきは市

＜　目　　次　＞

第１章　調査の概要 1
１．　調査の目的 1
２．　調査設計及び回収結果 1
３．　調査結果の見方 2

第２章　調査結果（小学生） 3
１．　回答者の属性 3
２．　健康状態 5
３．　欠席状況 6
４．　遅刻・早退状況 7
５．　学校外の活動の参加状況 8
６．　学校生活であてはまるもの 9
７．　悩んでいること 11
８．　悩みについて話を聞いてくれる人がいるか 13
９．　世話をしている家族の有無 14
１０．　誰の世話をしているか 15
１１．　お世話をしている人の状況 16
１２．　世話の内容 17
１３．　世話を一緒にしている人 18
１４．　世話を始めた年齢 19
１５．　世話をしている頻度 20
１６．　平日１日あたりの世話に費やす時間 21
１７．　世話をしているためにやりたいけれどできないこと 22
１８．　世話の大変さ 23
１９．　世話について相談した経験 24
２０．　世話についての相談相手 25
２１．　世話について相談していない理由 26
２２．　世話について話を聞いてくれる人の有無 27
２３．　学校や大人にしてもらいたいこと 28
２４．　希望する相談方法 29
２５．　自身の権利が守られていると思うか 30
２６．　自由意見 31

第３章　調査結果（中学生） 32
１．　回答者の属性 32
２．　健康状態 34
３．　欠席状況 35
４．　遅刻・早退状況 36

５．　学校外の活動の参加状況 37
６．　学校生活であてはまるもの 38
７．　悩んでいること 40
８．　悩みについて話を聞いてくれる人がいるか 42
９．　進路希望 44
１０．　世話をしている家族の有無 46
１１．　誰の世話をしているか 47
１２．　お世話をしている方の状況 48
１３．　世話の内容 49
１４．　世話を一緒にしている人 50
１５．　世話を始めた年齢 51
１６．　世話をしている頻度 52
１７．　平日１日あたりの世話に費やす時間 53
１８．　世話をしているためにやりたいけれどできないこと 54
１９．　世話の大変さ 56
２０．　世話について相談した経験 57
２１．　世話についての相談相手 58
２２．　世話について相談していない理由 59
２３．　世話について話を聞いてくれる人の有無 61
２４．　家族の世話をしている人同士で話をしたいか 62
２５．　学校や大人にしてもらいたいこと 63
２６．　希望する相談方法 64
２７．　知っている相談窓口 65
２８．　自身の権利が守られていると思うか 67
２９．　自由意見 69

第４章　調査結果（学校） 70

１．　回答者の属性 70
２．　ＳＣの派遣・配置状況 72
３．　校内で共有している子どものケース 72
４．　情報共有・対応の検討体制 73
５．　情報共有・対応の検討方法 73
６．　会議に参加している教職員 74
７．　会議の頻度 74
８．　情報共有・対応の検討の体制・方法（自由記述） 75
９．　外部の支援につないでいない理由 75
１０．　学校以外の関係機関との連携体制 76
１１．　ヤングケアラーという概念の認識 78
１２．　ヤングケアラーの実態把握状況 78
１３．　ヤングケアラーの把握方法 79

１４．　ヤングケアラーの実態把握において工夫・苦慮していること（自由記述）　79
１５．　ヤングケアラーと思われる子どもの有無 80
１６．　ヤングケアラーと思われる子どもの状況 80
１７．　外部の支援につないだケースの有無 81
１８．　外部の支援につないでいない理由 81
１９．　ヤングケアラーと思うわれる子どもの有無 82
２０．　ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと 82
２１．　ヤングケアラーの対応をする上で課題だと思うこと 83
２２．　学校で今後取り組み可能なこと 84
２３．　学校が連携を強化していく必要がある機関 85
２４．　自由意見 87

第５章　調査結果のまとめ 88
１．　児童生徒アンケート..... 88
２．　学校アンケート..... 91
３．　総括..... 92

参考資料　調査票.....93

第１章　調査の概要

１．調査の目的

本調査は、うきは市内のヤングケアラーに関する実態を把握し、その解決に必要な支援策を検討することを目的としている。

２．調査設計及び回収結果

調査の種類 ・ 調査対象	①児童生徒アンケート調査（小学生）： 市内小学校に在籍する５年生・６年生　500名 ②児童生徒アンケート調査（中学生）： 市内中学校に在籍する１年生～３年生　769名 ③学校アンケート調査： 市内小学校・中学校　9校
調査方法	①②児童生徒アンケート調査： ・各学校を通じて児童生徒向け、保護者向けの調査依頼文を配布し、児童生徒本人が回答 ・紙の調査票への記入後、各学校経由で回収 ③学校アンケート調査： ・各学校へ調査依頼文を配布し、各学校の担当者が回答 ・紙の調査票への記入後、市子育て支援係にて回収
調査項目	国が令和２・３年度に実施したヤングケアラー関連調査の調査項目を基本としつつ、本市独自項目の追加等を行った
回収数 ※カッコ内 有効回収率	①児童生徒アンケート調査（小学生）　：366人（73.2%） ②児童生徒アンケート調査（中学生）　：412人（53.6%） ③学校アンケート調査　：9校（100.0%）
実施期間	①児童生徒アンケート調査（小学生）　：令和6年2月27日～令和6年3月 8日 ②児童生徒アンケート調査（中学生）　：令和6年2月27日～令和6年3月 8日 ③学校アンケート調査　：令和6年3月27日～令和6年3月31日

３．調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（ｎ）とした百分率（％）で表し、小数第２位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100％にならない場合がある。また、２つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100％を超える場合がある。

- クロス集計表の表側に使用している「学年別」「性別」等の基本属性では、副問（サブクエスチョン）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の表側項目の調査数を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。

- 属性別の分析等において、基数（調査数）が少ないものについては、その結果は参考程度に留め、分析コメントを省略する場合がある。

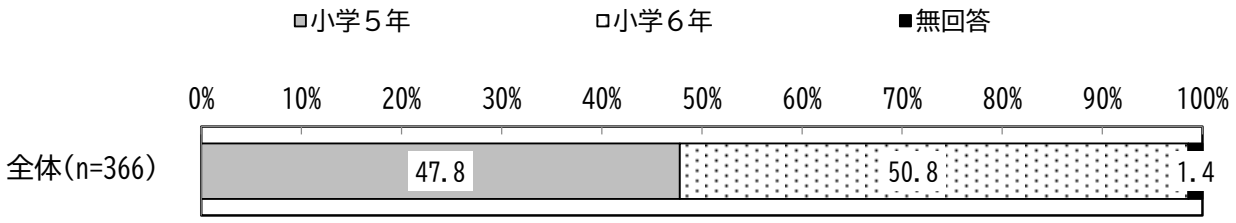
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「参考資料　調査票」を参照のこと。

第２章　調査結果（小学生）

１．回答者の属性

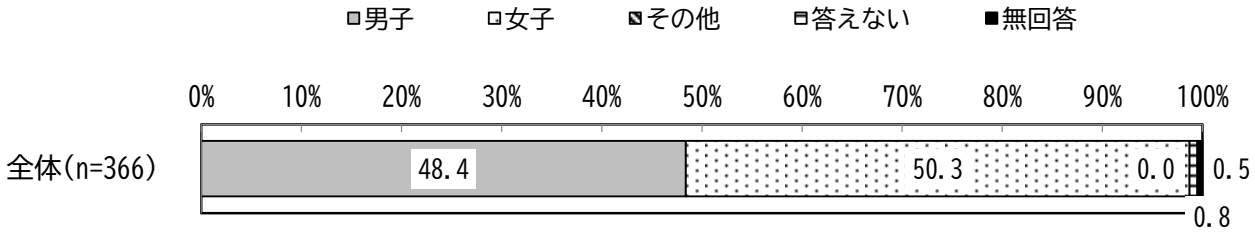
（１）学年

図表－１　学年



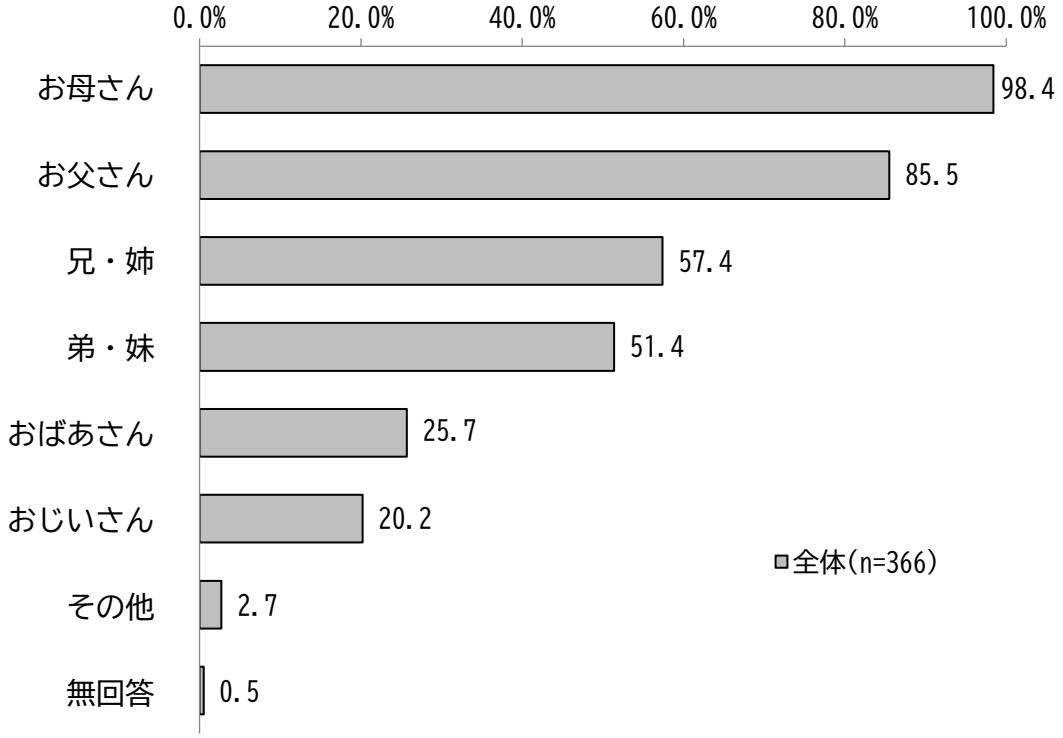
（２）性別

図表－２　性別



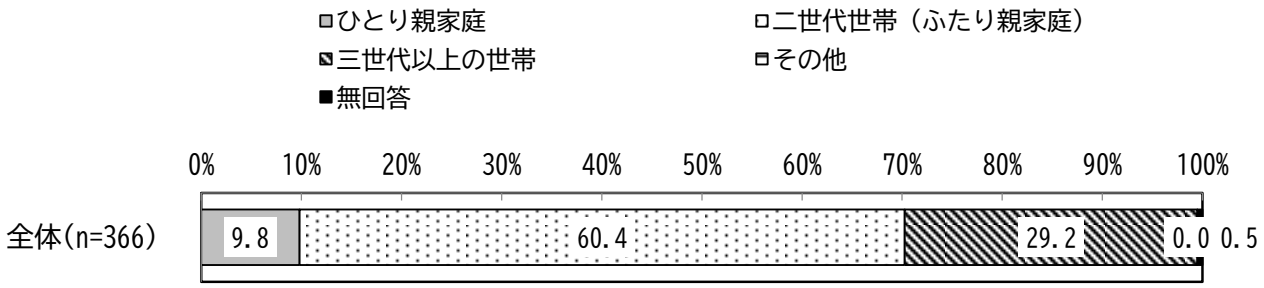
（３）同居家族

図表－３　同居家族



（４）家族構成

図表－４　家族構成



２．健康状態

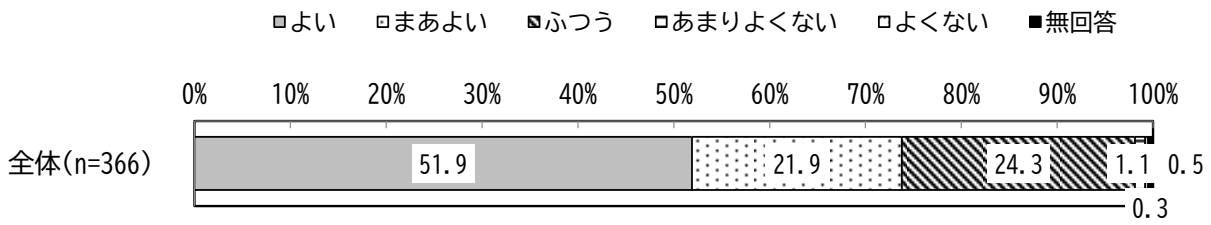
問４　あなたの健康状態について教えてください。

健康状態について聞いたところ、「よい」(51.9%)の割合が最も高く、次いで「ふつう」(24.3%)、「まあよい」(21.9%）となっている。また、「よくない」の割合は0.3%となっている。

性別にみると、男子の方が女子と比べて「よい」(55.4%）の割合が高くなっている。

家族の世話別には、「よい」の割合に大きな差は見られない。一方で、家族の世話をしている人では「ふつう」(30.8%）の割合が高く、家族の世話をしていない人では「まあよい」(22.1%）の割合が高くなっている。

図表－５　健康状態



図表－６　性別、家族の世話別　健康状態

単位：%

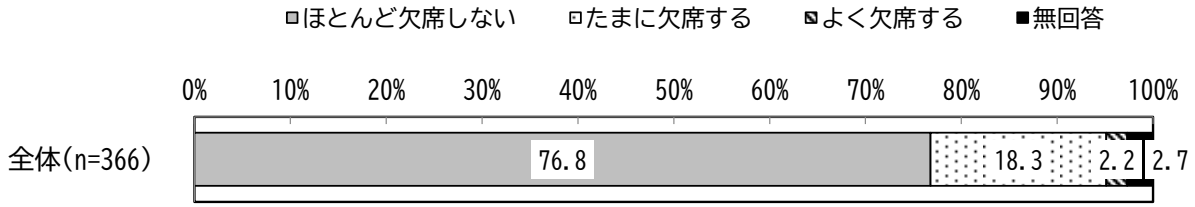
		調査数	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全　体		366	51.9	21.9	24.3	1.1	0.3	0.5
性別	男子	177	55.4	20.3	23.7	0.6	-	-
	女子	184	50.0	23.4	24.5	1.6	0.5	-
	答えない	3	-	33.3	66.7	-	-	-
	無回答	2	-	-	-	-	-	100.0
家族の世話	している	39	51.3	15.4	30.8	-	2.6	-
	していない	299	50.8	22.1	25.1	1.3	-	0.7
	無回答	28	64.3	28.6	7.1	-	-	-

３．欠席状況

問5(1)　あなたは学校を欠席することがありますか(病気の場合を除く)。

欠席状況について聞いたところ、「ほとんど欠席しない」(76.8%)の割合が最も高く、次いで「たまに欠席する」(18.3%)、「よく欠席する」(2.2%)となっている。
性別にみると、女子の方が男子と比べて「よく欠席する」(3.8%)の割合が高くなっている。
家族構成別にみると、ひとり親家庭において「よく欠席する」(5.6%)の割合が高くなっている。
家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が欠席する傾向にある。

図表－７　欠席状況



図表－８　性別、家族構成、家族の世話別　欠席状況

単位：%

		調査数	ほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	無回答
全　体		366	76.8	18.3	2.2	2.7
性別	男子	177	76.8	18.6	0.6	4.0
	女子	184	77.2	17.4	3.8	1.6
	答えない	3	66.7	33.3	-	-
	無回答	2	50.0	50.0	-	-
家族構成	ひとり親家庭	36	72.2	19.4	5.6	2.8
	二世代世帯（ふたり親家庭）	221	77.8	17.2	2.3	2.7
	三世代以上の世帯	107	76.6	19.6	0.9	2.8
	無回答	2	50.0	50.0	-	-
家族の世話	している	39	69.2	28.2	2.6	-
	していない	299	80.9	16.7	2.3	-
	無回答	28	42.9	21.4	-	35.7

４．遅刻・早退状況

問5(2)　あなたは学校を遅刻や早退することがありますか(病気の場合を除く)。

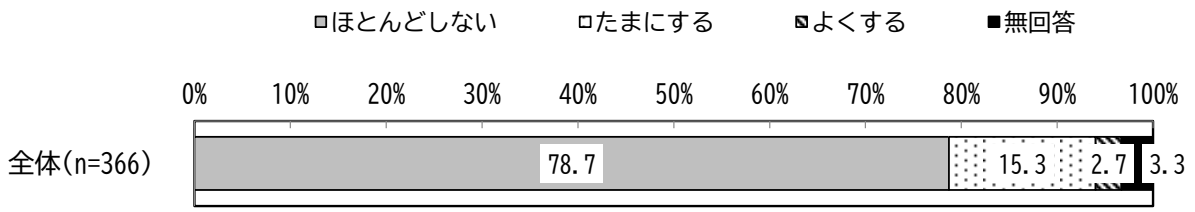
遅刻・早退状況について聞いたところ、「ほとんどしない」(78.7%）の割合が最も高く、次いで「たまにする」(15.3%)、「よくする」(2.7%）となっている。

性別にみると、男子の方が女子と比べて「よくする」(4.0%）の割合が高くなっている。

家族構成別にみると、三世代以上の世帯において「ほとんどしない」(74.8%）の割合が低くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が遅刻・早退をする傾向にある。

図表－９　遅刻・早退状況



図表－１０　性別、家族構成、家族の世話別　遅刻・早退状況

単位：%

		調査数	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全　体		366	78.7	15.3	2.7	3.3
性別	男子	177	78.0	13.6	4.0	4.5
	女子	184	79.3	16.8	1.6	2.2
	答えない	3	100.0	-	-	-
	無回答	2	50.0	50.0	-	-
家族構成	ひとり親家庭	36	77.8	16.7	2.8	2.8
	二世代世帯（ふたり親家庭）	221	81.0	13.6	2.7	2.7
	三世代以上の世帯	107	74.8	17.8	2.8	4.7
	無回答	2	50.0	50.0	-	-
家族の世話	している	39	69.2	28.2	-	2.6
	していない	299	83.3	13.4	3.0	0.3
	無回答	28	42.9	17.9	3.6	35.7

５．学校外の活動の参加状況

問6　放課後、習い事をしていますか。

学校外の活動の参加状況について聞いたところ、「はい」が69.4%、「いいえ」が27.9%となっている。

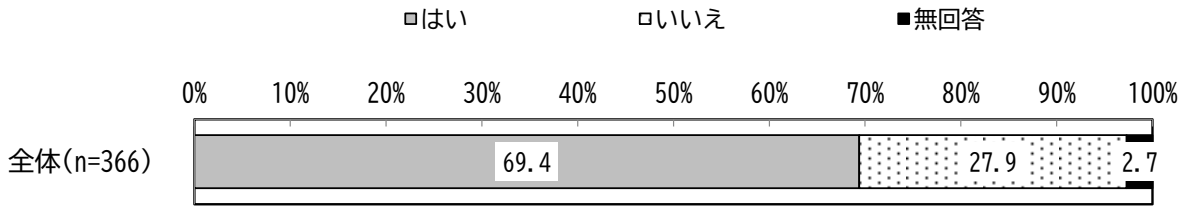
性別にみると、男子の方が女子と比べて「はい」（71.8%）の割合が高くなっている。

家族構成別にみると、二世代世帯（ふたり親家庭）において「はい」（72.9%）の割合が高くなっている。

自身の権利別にみると、だいたい守られている人において「はい」（75.0%）の割合が高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「いいえ」（33.3%）の割合が高くなっている。

図表－１１　学校外の活動の参加状況



図表－１２　性別、家族構成、自身の権利、家族の世話別　学校外の活動の参加状況

単位：%

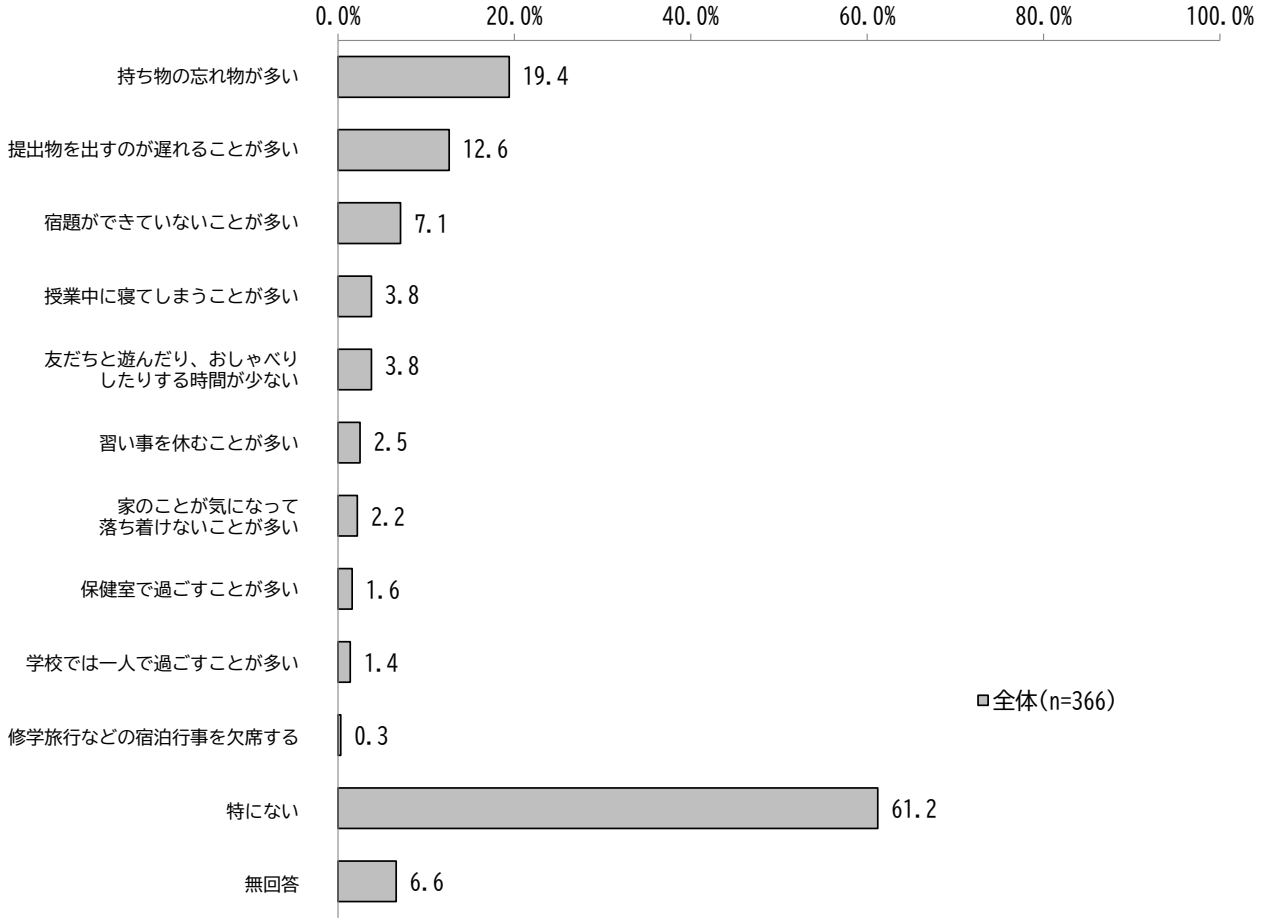
		調査数	はい	いいえ	無回答
全　体		366	69.4	27.9	2.7
性別	男子	177	71.8	24.3	4.0
	女子	184	67.9	30.4	1.6
	答えない	3	33.3	66.7	-
	無回答	2	50.0	50.0	-
家族構成	ひとり親家庭	36	63.9	33.3	2.8
	二世代世帯（ふたり親家庭）	221	72.9	24.4	2.7
	三世代以上の世帯	107	64.5	32.7	2.8
	無回答	2	50.0	50.0	-
自身の権利	守られている	273	69.6	28.6	1.8
	だいたい守られている	56	75.0	23.2	1.8
	あまり守られていない	3	66.7	33.3	-
	守られていない	1	-	100.0	-
	わからない	24	66.7	29.2	4.2
	無回答	9	44.4	22.2	33.3
家族の世話	している	39	66.7	33.3	-
	していない	299	71.6	28.4	-
	無回答	28	50.0	14.3	35.7

６．学校生活であてはまるもの

問7　ふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。

学校生活であてはまるものについて聞いたところ、「特にない」（61.2%）の割合が最も高くなっている。「特にない」を除くと、「持ち物の忘れ物が多い」（19.4%）、「提出物を出すのが遅れることが多い」（12.6%）、「宿題ができていないことが多い」（7.1%）の順となっている。

図表－１３　学校生活であてはまるもの



学校生活であてはまるものについて性別にみると、男子の方が女子と比べて「特にない」(58.2%)の割合が低くなっている。また、男子では「宿題ができていないことが多い」(10.7%)、「提出物を出すのが遅れることが多い」(14.7%）の割合が高くなっている。

家族構成別にみると、ひとり親家庭、三世代以上の世帯において「特にない」の割合が低くなっている。また、ひとり親家庭では「宿題ができていないことが多い」(16.7%)、「持ち物の忘れ物が多い」(27.8%)、「提出物を出すのが遅れることが多い」(22.2%）の割合が高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「特にない」(56.4%）の割合が低くなっている。また、家族の世話をしている人では「持ち物の忘れ物が多い」(28.2%)、「提出物を出すのが遅れることが多い」(17.9%）の割合が高くなっている。

図表－１４　性別、家族構成、家族の世話別　学校生活であてはまるもの

単位：%

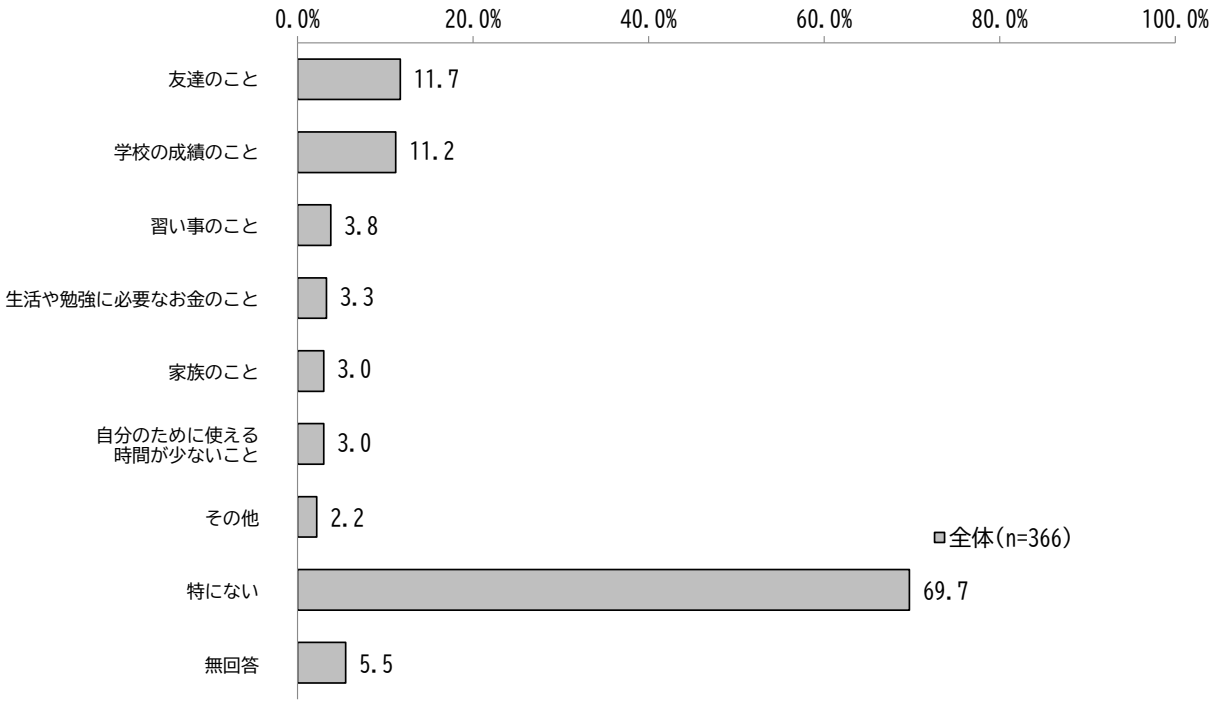
		調査数	授業中に寝てしまうことが多い	宿題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	習い事を休むことが多い	提出物を出すのが遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	家のことが気になって落ち着けないことが多い	特にない	無回答
全　体		366	3.8	7.1	19.4	2.5	12.6	0.3	1.6	1.4	3.8	2.2	61.2	6.6
性別	男子	177	2.8	10.7	19.2	2.8	14.7	-	0.6	0.6	4.0	1.1	58.2	10.2
	女子	184	4.9	3.3	19.6	2.2	9.8	0.5	2.7	2.2	3.8	2.7	64.7	3.3
	答えない	3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	-
	無回答	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
家族構成	ひとり親家庭	36	11.1	16.7	27.8	-	22.2	-	2.8	-	-	-	55.6	2.8
	二世代世帯（ふたり親家庭）	221	2.7	5.4	17.2	2.7	10.0	0.5	0.9	1.8	3.2	1.4	66.1	6.8
	三世代以上の世帯	107	3.7	7.5	21.5	2.8	14.0	-	2.8	0.9	6.5	4.7	53.3	7.5
	無回答	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
家族の世話	している	39	-	5.1	28.2	2.6	17.9	-	2.6	2.6	5.1	2.6	56.4	2.6
	していない	299	3.7	7.7	19.1	2.0	11.7	0.3	1.3	1.3	4.0	2.0	64.9	3.7
	無回答	28	10.7	3.6	10.7	7.1	14.3	-	3.6	-	-	3.6	28.6	42.9

７．悩んでいること

問8　あなたが悩んでいることはありますか。

悩んでいることについて聞いたところ、「特にない」（69.7%）の割合が最も高くなっている。「特にない」を除くと、「友達のこと」(11.7%)、「学校の成績のこと」(11.2%)、「習い事のこと」(3.8%)の順となっている。

図表－１５　悩んでいること



悩んでいることについて性別にみると、女子の方が男子と比べて「特にない」(63.6%）の割合が低くなっている。また、女子では「友達のこと」(16.8%)、「学校の成績のこと」(15.2%）の割合が高くなっている。

家族構成別にみると、ひとり親家庭において「特にない」(61.1%）の割合が低くなっている。また、ひとり親家庭では「学校の成績のこと」(16.7%)、「習い事のこと」(11.1%)、「生活や勉強に必要なお金のこと」(13.9%）の割合が高くなっている。

自身の権利別にみると、だいたい守られている人の方が守られている人と比べて「特にない」(60.7%）の割合が低くなっている。また、だいたい守られている人では「学校の成績のこと」(17.9%)、「自分のために使える時間が少ないこと」(7.1%）の割合が高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「特にない」(51.3%）の割合が低くなっている。また、家族の世話をしている人では「友達のこと」(20.5%)、「生活や勉強に必要なお金のこと」(7.7%)、「自分のために使える時間が少ないこと」(10.3%）の割合が高くなっている。

図表－１６　性別、家族構成、自身の権利、家族の世話別　悩んでいること

単位：%

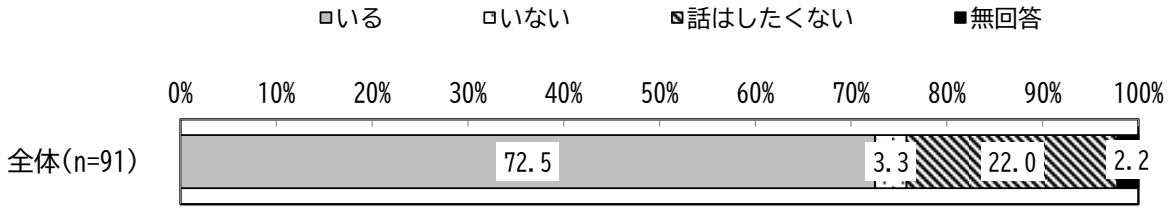
		調査数	友達のこと	学校の成績のこと	習い事のこと	家族のこと	生活や勉強に必要なお金のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特にない	無回答
全　体		366	11.7	11.2	3.8	3.0	3.3	3.0	2.2	69.7	5.5
性別	男子	177	5.6	6.8	3.4	1.7	1.7	2.3	1.1	76.8	7.3
	女子	184	16.8	15.2	4.3	4.3	4.9	3.8	2.7	63.6	3.8
	答えない	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-
	無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-
家族構成	ひとり親家庭	36	8.3	16.7	11.1	5.6	13.9	-	2.8	61.1	8.3
	二世代世帯（ふたり親家庭）	221	13.1	12.2	4.1	3.2	2.7	4.1	1.8	67.4	6.3
	三世代以上の世帯	107	9.3	7.5	0.9	1.9	0.9	1.9	1.9	77.6	2.8
	無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-
自身の権利	守られている	273	10.3	9.5	3.7	2.6	2.6	1.5	1.1	74.4	4.0
	だいたい守られている	56	12.5	17.9	3.6	1.8	1.8	7.1	5.4	60.7	7.1
	あまり守られていない	3	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3
	守られていない	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	わからない	24	25.0	16.7	8.3	12.5	8.3	4.2	8.3	54.2	4.2
	無回答	9	22.2	11.1	-	-	11.1	11.1	-	44.4	33.3
家族の世話	している	39	20.5	12.8	2.6	2.6	7.7	10.3	5.1	51.3	5.1
	していない	299	10.4	10.4	4.0	3.0	2.3	2.0	2.0	75.9	2.3
	無回答	28	14.3	17.9	3.6	3.6	7.1	3.6	-	28.6	39.3

８．悩みについて話を聞いてくれる人がいるか

問9　問8で答えた悩みについて、話を聞いてくれる人はいますか。

悩んでいることがあると回答した人に、悩みについて話を聞いてくれる人がいるかについて聞いたところ、「いる」が72.5%、「いない」が3.3%、「話はしたくない」が22.0%となっている。

図表－１７　悩みについて話を聞いてくれる人がいるか



図表－１８　性別、家族構成、自身の権利、家族の世話別
悩みについて話を聞いてくれる人がいるか

単位：％

		調査数	いる	いない	話はしたくない	無回答
全　体		91	72.5	3.3	22.0	2.2
性別	男子	28	71.4	7.1	17.9	3.6
	女子	60	71.7	1.7	25.0	1.7
	答えない	2	100.0	－	－	－
	無回答	1	100.0	－	－	－
家族構成	ひとり親家庭	11	54.5	－	36.4	9.1
	二世代世帯（ふたり親家庭）	58	75.9	3.4	19.0	1.7
	三世代以上の世帯	21	71.4	4.8	23.8	－
	無回答	1	100.0	－	－	－
自身の権利	守られている	59	76.3	1.7	20.3	1.7
	だいたい守られている	18	72.2	5.6	22.2	－
	あまり守られていない	1	100.0	－	－	－
	守られていない	1	－	－	100.0	－
	わからない	10	60.0	10.0	20.0	10.0
	無回答	2	50.0	－	50.0	－
家族の世話	している	17	64.7	－	35.3	－
	していない	65	75.4	4.6	16.9	3.1
	無回答	9	66.7	－	33.3	－

９．世話をしている家族の有無

問10　家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか(ここで「お世話」とは、普通大人がしているような家事や家族のお世話のことを指します)。

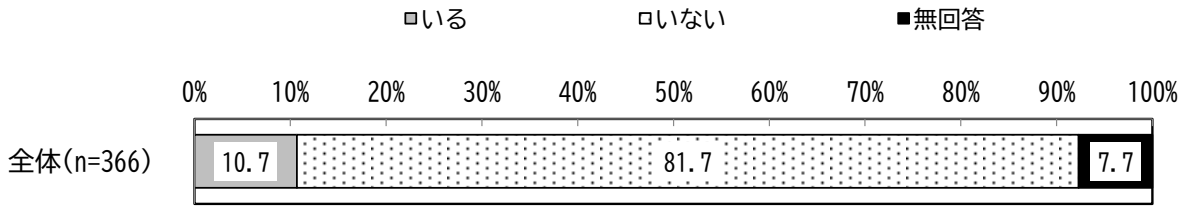
世話をしている家族の有無について聞いたところ、「いる」が10.7%、「いない」が81.7%となっている。

家族構成別にみると、ひとり親家庭において「いる」(19.4%）の割合が高くなっている。

自身の権利別にみると、だいたい守られている人において「いる」(12.5%）の割合が高くなっている。

性別には、大きな差は見られない。

図表－１９　世話をしている家族の有無



図表－２０　性別、家族構成、自身の権利別　世話をしている家族の有無

単位：%

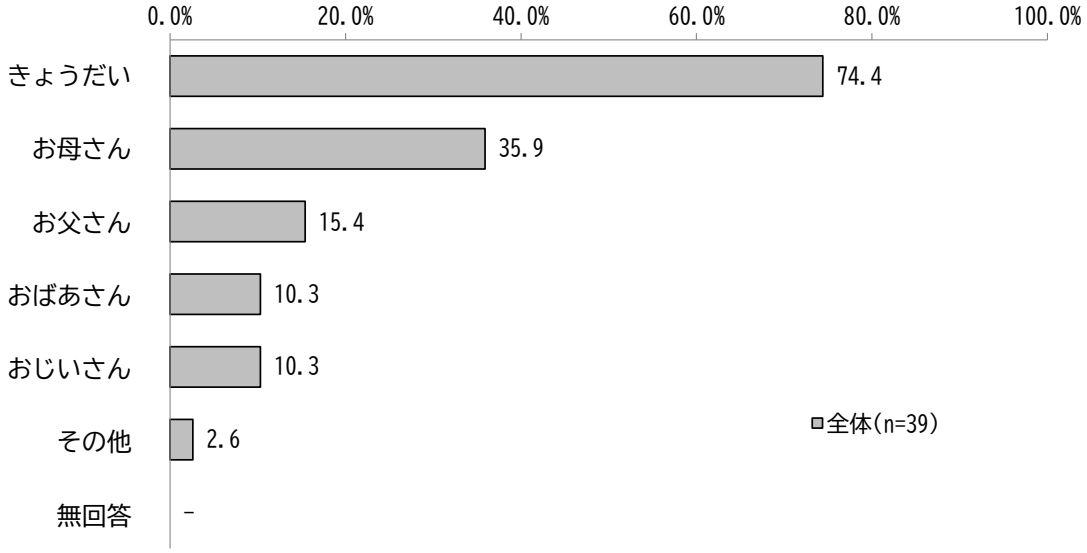
		調査数	いる	いない	無回答
全　体		366	10.7	81.7	7.7
性別	男子	177	10.2	83.1	6.8
	女子	184	11.4	79.9	8.7
	答えない	3	-	100.0	-
	無回答	2	-	100.0	-
家族構成	ひとり親家庭	36	19.4	63.9	16.7
	二世代世帯（ふたり親家庭）	221	10.9	83.3	5.9
	三世代以上の世帯	107	7.5	84.1	8.4
	無回答	2	-	100.0	-
自身の権利	守られている	273	8.4	85.3	6.2
	だいたい守られている	56	12.5	82.1	5.4
	あまり守られていない	3	66.7	-	33.3
	守られていない	1	100.0	-	-
	わからない	24	16.7	70.8	12.5
	無回答	9	22.2	33.3	44.4

１０．誰の世話をしているか

問11(1) あなたは誰のお世話をしていますか。

家族の世話をしていると回答した人に、誰の世話をしているかについて聞いたところ、「きょうだい」(74.4%)、「お母さん」(35.9%)、「お父さん」(15.4%) の順となっている。

図表－２１　誰の世話をしているか



図表－２２　性別、家族構成別　誰の世話をしているか

単位：件

		調査数	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	その他	無回答
全　体		39	14	6	4	4	29	1	－
性別	男子	18	7	2	3	2	13	1	－
	女子	21	7	4	1	2	16	－	－
構家成族	ひとり親家庭	7	4	－	1	1	4	－	－
	二世代世帯（ふたり親家庭）	24	9	5	2	1	19	－	－
	三世代以上の世帯	8	1	1	1	2	6	1	－

１１．お世話をしている人の状況

問11(2) お世話を必要としている人の状況について教えてください。

家族の世話をしていると回答した人に、お世話をしている人の状況について聞いたところ、母親、父親は「仕事が忙しく、つかれている」(8件)、祖母、祖父は「高齢（６５歳以上)」(4件)、きょうだいは「幼い」(21件）の件数が最も多くなっている。

図表ー２３　お世話をしている人の状況

単位：件

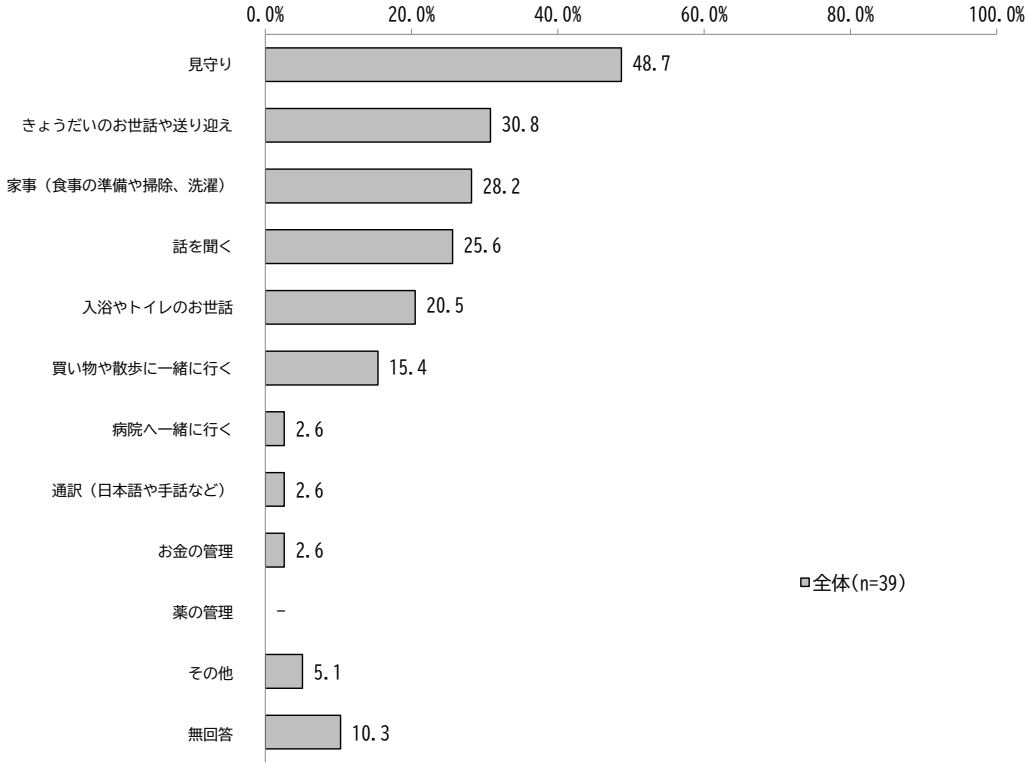
	全体	高齢（65歳以上）	幼い	介護（食事や身の回りの世話）が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	病気	こころの病気（うつ病など）	お酒やギャンブルで困っている	精神科、依存症以外の病気	日本語が苦手	仕事が忙しく、つかれている	お母さんが妊娠中・乳幼児がいる	その他	わからない	無回答
お母さん、お父さん	15	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	2	3
おばあさん、おじいさん	5	4	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
きょうだい	29	-	21	1	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	1	5	2
「その他」の人	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

１２．世話の内容

問11(3) あなたはどのようなお世話をしていますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話の内容について聞いたところ、「見守り」(48.7%)、「きょうだいのお世話や送り迎え」(30.8%)、「家事（食事の準備や掃除、洗たく)」(28.2%）の順となっている。

図表－２４　世話の内容



図表－２５　性別、家族構成別　世話の内容

単位：件

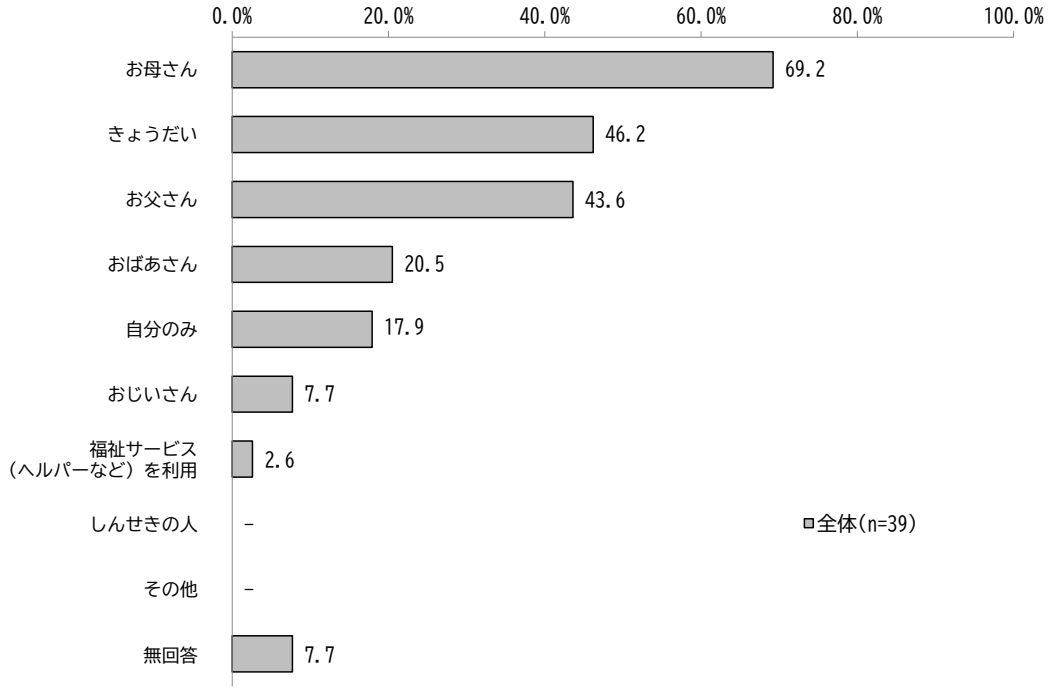
		調査数	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいのお世話や送り迎え	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩に一緒に行く	病院へ一緒に行く	話を聞く	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全　体		39	11	12	8	6	1	10	19	1	1	－	2	4
性別	男子	18	5	5	3	2	1	4	8	1	－	－	－	1
	女子	21	6	7	5	4	－	6	11	－	1	－	2	3
構家成族	ひとり親家庭	7	2	1	1	－	1	2	2	－	－	－	1	3
	二世代世帯（ふたり親家庭）	24	6	7	7	4	－	7	15	1	－	－	－	－
	三世代以上の世帯	8	3	4	－	2	－	1	2	－	1	－	1	1

１３．世話を一緒にしている人

問11(4) あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話を一緒にしている人について聞いたところ、「お母さん」(69.2%)、「きょうだい」(46.2%)、「お父さん」(43.6%) の順となっている。

図表－２６　世話を一緒にしている人



図表－２７　性別、家族構成別　世話を一緒にしている人

単位：件

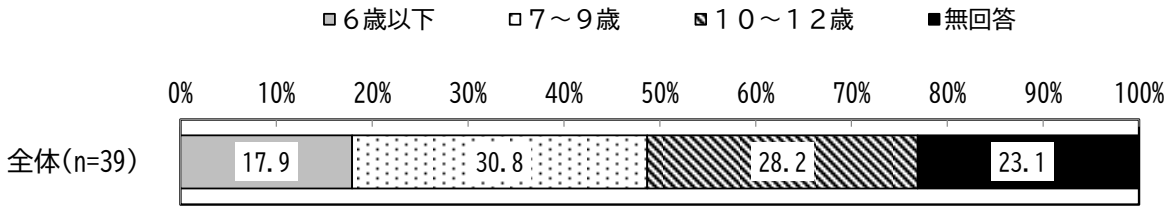
		調査数	お母さん	お父さん	おばあさん	おじいさん	きょうだい	しんせきの人	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
全　体		39	27	17	8	3	18	－	7	1	－	3
性別	男子	18	13	9	4	1	9	－	3	－	－	－
	女子	21	14	8	4	2	9	－	4	1	－	3
家構成族	ひとり親家庭	7	3	－	－	－	1	－	1	－	－	3
	二世代世帯（ふたり親家庭）	24	18	12	4	1	12	－	4	1	－	－
	三世代以上の世帯	8	6	5	4	2	5	－	2	－	－	－

１４．世話を始めた年齢

問11(5)　あなたは何才からお世話をしていますか。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年でかまいません)

家族の世話をしていると回答した人に、世話を始めた年齢について聞いたところ、「７～９歳」(30.8%)、「１０～１２歳」(28.2%)、「６歳以下」(17.9%）の順となっている。

図表－２８　世話を始めた年齢



図表－２９　性別、家族構成別　世話を始めた年齢

単位：件

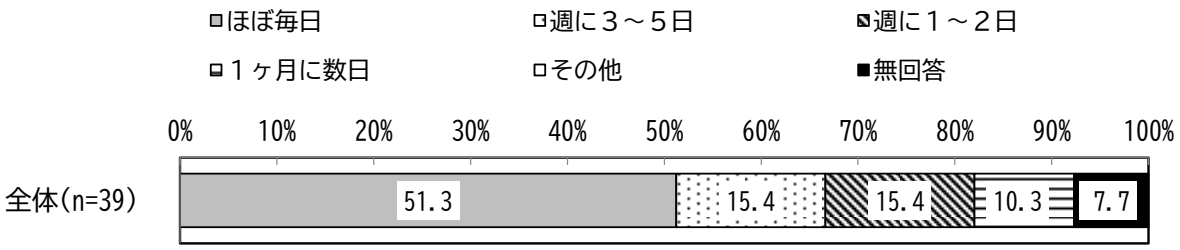
		調査数	6歳以下	7～9歳	10～12歳	無回答
全　体		39	7	12	11	9
性別	男子	18	3	8	5	2
	女子	21	4	4	6	7
家構成族	ひとり親家庭	7	1	1	1	4
	二世代世帯（ふたり親家庭）	24	3	9	8	4
	三世代以上の世帯	8	3	2	2	1

１５．世話をしている頻度

問11(6) あなたはどのくらいお世話をしていますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話をしている頻度について聞いたところ、「ほぼ毎日」(51.3%)、「週に３～５日」と「週に１～２日」（ともに15.4%）の順となっている。

図表－３０　世話をしている頻度



図表－３１　性別、家族構成別　世話をしている頻度

単位：件

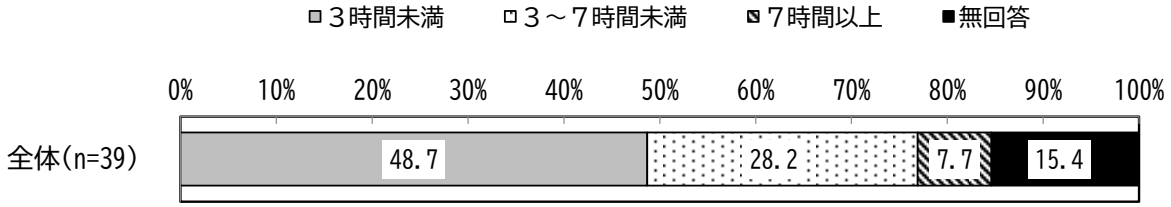
		調査数	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他	無回答
全　体		39	20	6	6	4	－	3
性別	男子	18	7	5	3	3	－	－
	女子	21	13	1	3	1	－	3
家構成族	ひとり親家庭	7	2	1	－	1	－	3
	二世代世帯（ふたり親家庭）	24	12	5	4	3	－	－
	三世代以上の世帯	8	6	－	2	－	－	－

１６．平日１日あたりの世話に費やす時間

問11(7)　あなたは学校のある日に何時間くらいお世話をしていますか。日によって違う場合は、この1ヶ月でいちばん長かった日の時間を教えてください。

家族の世話をしていると回答した人に、平日１日あたりの世話に費やす時間について聞いたところ、「３時間未満」(48.7%)、「３～７時間未満」(28.2%)、「７時間以上」(7.7%）の順となっている。

図表－３２　平日１日あたりの世話に費やす時間



図表－３３　性別、家族構成別　平日１日あたりの世話に費やす時間

単位：件

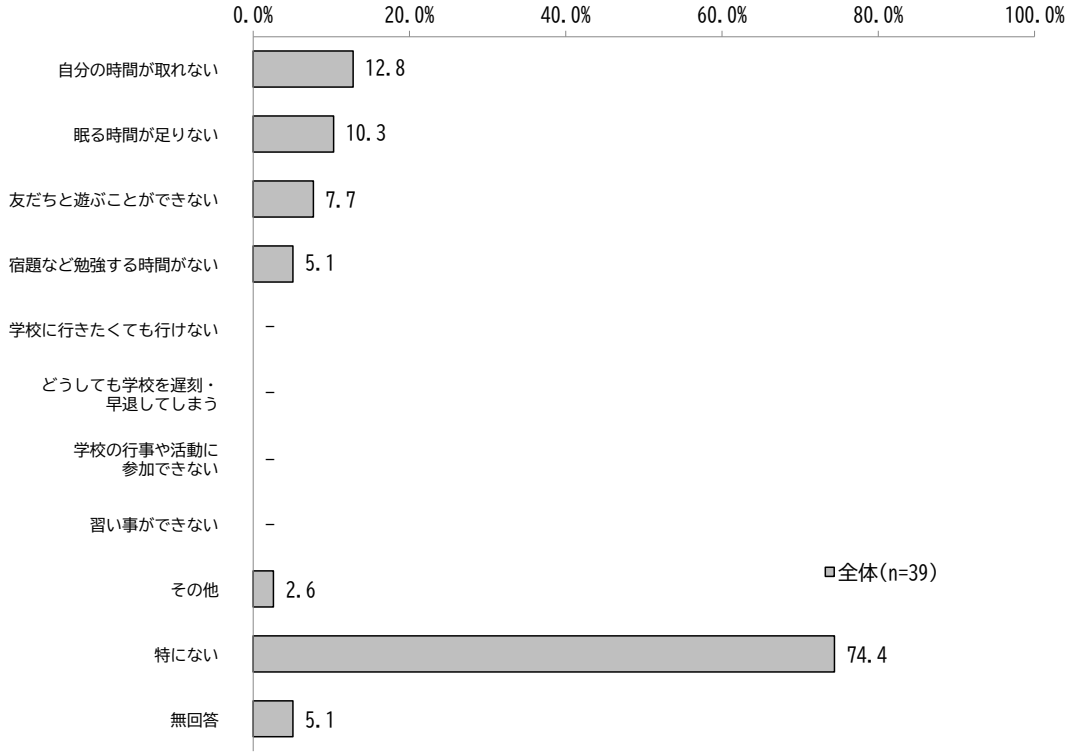
		調査数	３時間未満	３～７時間未満	７時間以上	無回答
全　体		39	19	11	3	6
性別	男子	18	13	3	－	2
	女子	21	6	8	3	4
家構成族	ひとり親家庭	7	2	1	1	3
	二世代世帯（ふたり親家庭）	24	13	7	1	3
	三世代以上の世帯	8	4	3	1	－

１７．世話をしているためにやりたいけれどできないこと

問12　お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話をしているためにやりたいけれどできないことについて聞いたところ、「特にない」（74.4%）の割合が最も高くなっている。「特にない」を除くと、「自分の時間が取れない」（12.8%）、「眠る時間が足りない」（10.3%）、「友だちと遊ぶことができない」（7.7%）の順となっている。

図表－３４　世話をしているためにやりたいけれどできないこと



図表－３５　性別、家族構成別　世話をしているためにやりたいけれどできないこと

単位：件

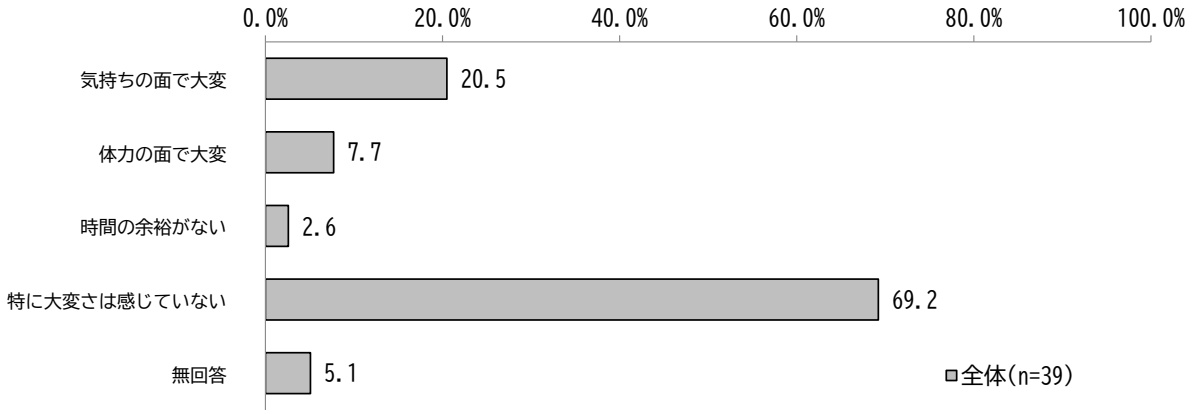
		調査数	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題など勉強する時間がない	学校の行事や活動に参加できない	眠る時間が足りない	友だちと遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
全　体		39	－	－	2	－	4	3	－	5	1	29	2
性別	男子	18	－	－	1	－	2	1	－	1	－	14	－
	女子	21	－	－	1	－	2	2	－	4	1	15	2
構成家族	ひとり親家庭	7	－	－	1	－	－	－	－	1	－	4	2
	二世代世帯（ふたり親家庭）	24	－	－	－	－	2	2	－	1	1	20	－
	三世代以上の世帯	8	－	－	1	－	2	1	－	3	－	5	－

１８．世話の大変さ

問13　お世話をすることに大変さを感じていますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話の大変さについて聞いたところ、「特に大変さは感じていない」（69.2%）の割合が最も高く、次いで「気持ちの面で大変」（20.5%）、「体力の面で大変」（7.7%）の順となっている。

図表－３６　世話の大変さ



図表－３７　性別、家族構成別　世話の大変さ

単位：件

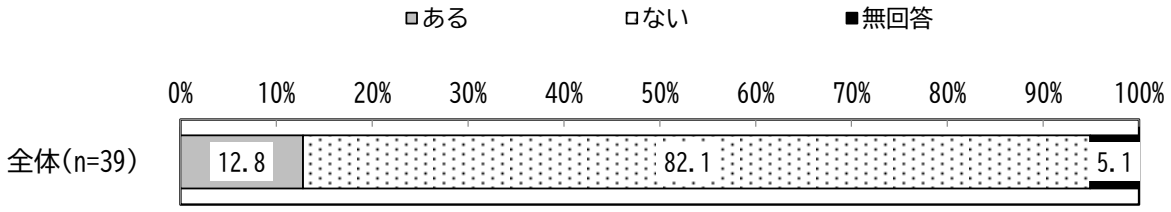
		調査数	体力の面で大変	気持ちの面で大変	時間の余裕がない	特に大変さは感じていない	無回答
全　体		39	3	8	1	27	2
性別	男子	18	2	2	1	14	－
	女子	21	1	6	－	13	2
家構成族	ひとり親家庭	7	－	2	1	3	2
	二世代世帯（ふたり親家庭）	24	1	4	－	19	－
	三世代以上の世帯	8	2	2	－	5	－

１９．世話について相談した経験

問14　あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話について相談した経験について聞いたところ、「ある」が12.8%、「ない」が82.1%となっている。

図表－３８　世話について相談した経験



図表－３９　性別、家族構成別　世話について相談した経験

単位：件

		調査数	ある	ない	無回答
全　体		39	5	32	2
性別	男子	18	1	17	－
	女子	21	4	15	2
家構成族	ひとり親家庭	7	1	4	2
	二世代世帯（ふたり親家庭）	24	3	21	－
	三世代以上の世帯	8	1	7	－

２０．世話についての相談相手

問15　問14で「1.ある」と回答した人にお聞きします。それは誰ですか。

世話について相談した経験があると回答した人に、世話についての相談相手について聞いたところ、「家族」（100.0%）、「友だち」（20.0%）の順となっている。

図表－４０　性別、家族構成別　世話についての相談相手

単位：件

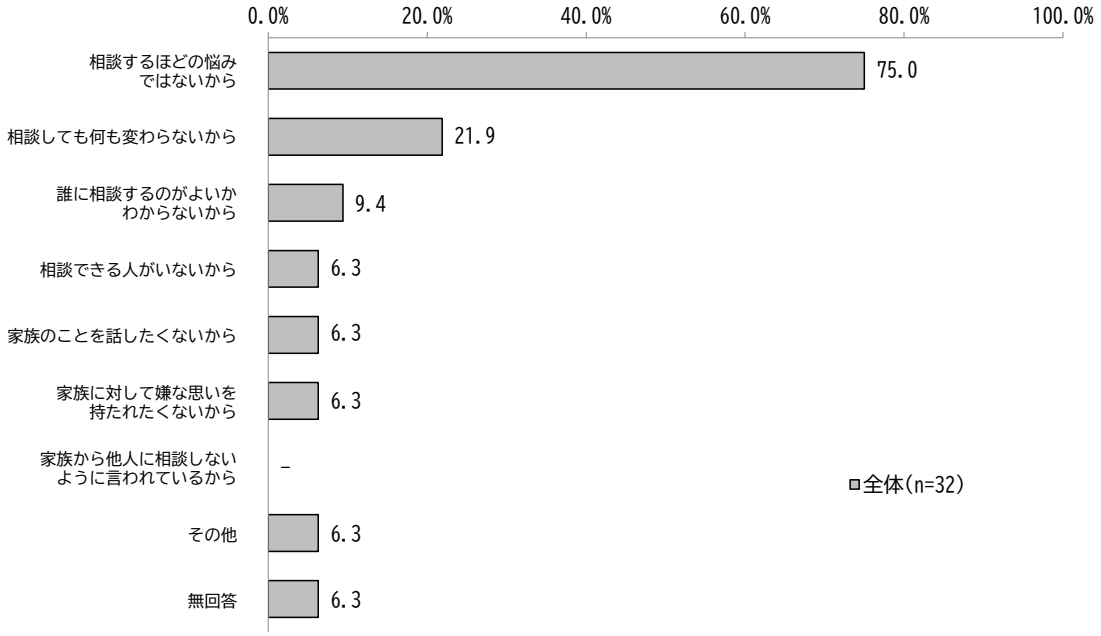
		調査数	家族	しんせき	友だち	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	病院・医療・福祉サービスの人	近所の人	SNS（LINEなど）上での知り合い	市役所の人	民生委員・児童委員の人	その他	無回答
全　体		5	5	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
性別	男子	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女子	4	4	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
家族構成	ひとり親家庭	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	二世代世帯（ふたり親家庭）	3	3	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	三世代以上の世帯	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

２１．世話について相談していない理由

問16　問14で「2.ない」と回答した人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。

世話について相談した経験がないと回答した人に、世話について相談していない理由について聞いたところ、「相談するほどの悩みではないから」（75.0%）の割合が最も高く、次いで「相談しても変わらないから」（21.9%）、「誰に相談するのがよいかわからないから」（9.4%）となっている。

図表－４１　世話について相談していない理由



図表－４２　性別、家族構成別　世話について相談していない理由

単位：件

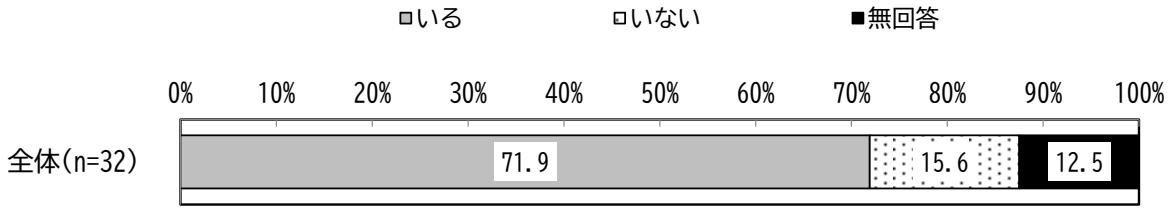
		調査数	相談するほどの悩みではないから	誰に相談するのがよいかわからないから	相談できる人がいないから	家族のことを話したくないから	家族から他人に相談しないように言われているから	家族に対して嫌な思いを持たれたくないから	相談しても何も変わらないから	その他	無回答
全　体		32	24	3	2	2	－	2	7	2	2
性別	男子	17	13	1	－	－	－	－	4	1	1
	女子	15	11	2	2	2	－	2	3	1	1
家構成族	ひとり親家庭	4	4	－	－	－	－	－	1	－	－
	二世代世帯（ふたり親家庭）	21	15	2	1	1	－	－	4	2	2
	三世代以上の世帯	7	5	1	1	1	－	2	2	－	－

２２．世話について話を聞いてくれる人の有無

問１７　問１４で「2.ない」と回答した人にお聞きします。あなたがお世話している家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

世話について相談した経験がないと回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、「いる」が71.9%、「いない」が15.6%となっている。

図表－４３　世話について話を聞いてくれる人の有無



図表－４４　性別、家族構成別　世話について話を聞いてくれる人の有無

単位：件

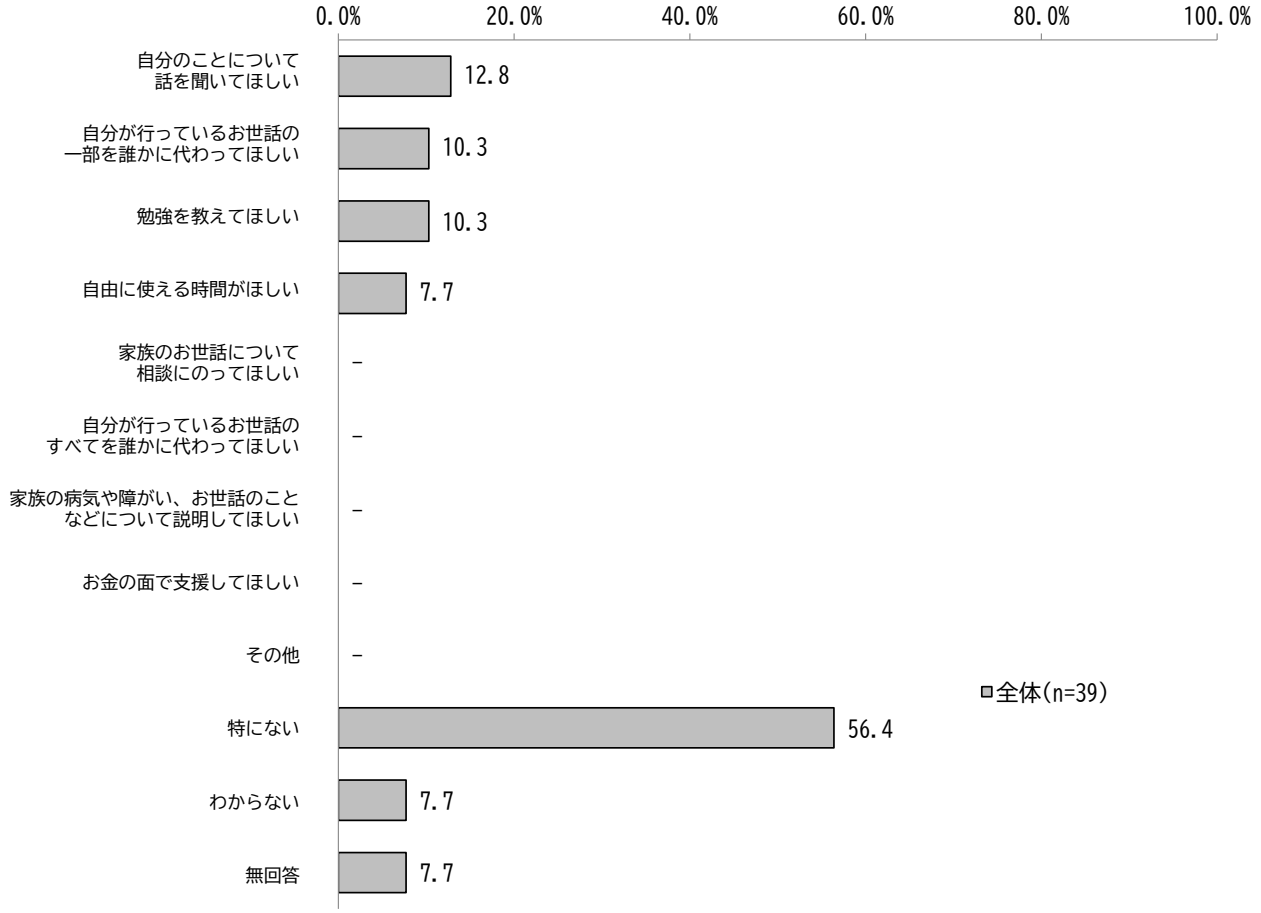
		調査数	いる	いない	無回答
全　体		32	23	5	4
性別	男子	17	12	2	3
	女子	15	11	3	1
家構成族	ひとり親家庭	4	2	－	2
	二世代世帯（ふたり親家庭）	21	17	3	1
	三世代以上の世帯	7	4	2	1

２３．学校や大人にしてもらいたいこと

問１８　学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。

家族の世話をしていると回答した人に、学校や大人にしてもらいたいことについて聞いたところ、「特にない」(56.4%)の割合が最も高く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」(12.8%)、「自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい」と「勉強を教えてほしい」（ともに10.3%）となっている。

図表－４５　学校や大人にしてもらいたいこと



図表－４６　性別、家族構成別　学校や大人にしてもらいたいこと

単位：件

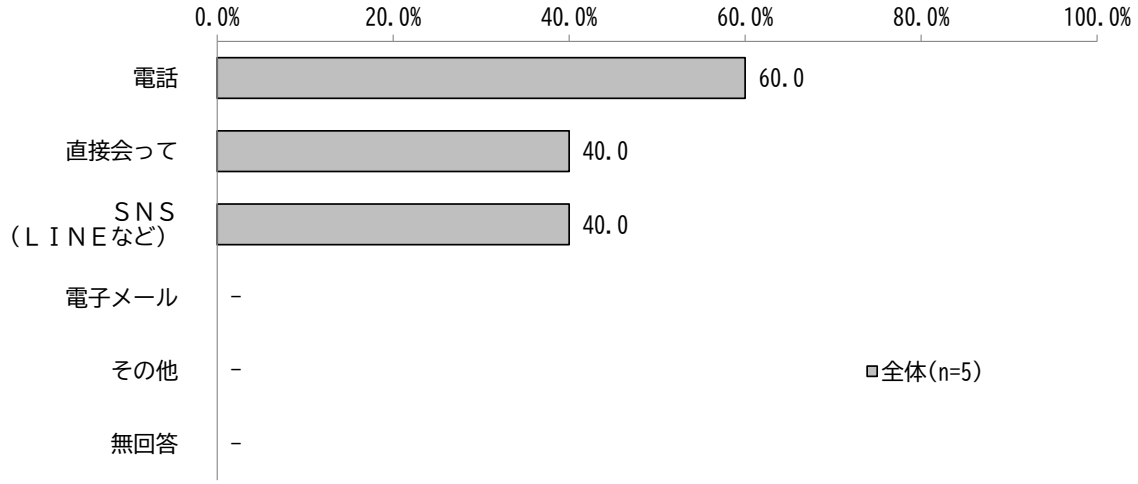
		調査数	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい	自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい	家族の病気や障がい、お世話のことなどについて説明してほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	その他	特にない	わからない	無回答
全　体		39	5	－	－	4	－	3	4	－	－	22	3	3
性別	男子	18	2	－	－	1	－	1	2	－	－	9	2	1
	女子	21	3	－	－	3	－	2	2	－	－	13	1	2
家族構成	ひとり親家庭	7	－	－	－	－	－	1	－	－	－	4	－	2
	二世代世帯（ふたり親家庭）	24	3	－	－	2	－	1	3	－	－	16	1	－
	三世代以上の世帯	8	2	－	－	2	－	1	1	－	－	2	2	1

２４．希望する相談方法

問１９　問１８で「1.自分のことについて話を聞いてほしい」または「2.家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。

前問で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に、希望する相談方法について聞いたところ、「電話」（60.0%）の割合が最も高く、次いで「直接会って」と「ＳＮＳ（ＬＩＮＥなど)」（ともに40.0%）となっている。

図表－４７　希望する相談方法



図表－４８　性別、家族構成別　希望する相談方法

単位：件

		調査数	直接会って	電話	ＳＮＳ（ＬＩＮＥなど）	電子メール	その他	無回答
全　体		5	2	3	2	－	－	－
性別	男子	2	1	1	－	－	－	－
	女子	3	1	2	2	－	－	－
構家成族	ひとり親家庭	－	－	－	－	－	－	－
	二世代世帯（ふたり親家庭）	3	2	1	1	－	－	－
	三世代以上の世帯	2	－	2	1	－	－	－

２５．自身の権利が守られていると思うか

問２０　子どもの権利についての文章を読んでお答えください。あなたは、自分の権利が守られていると思いますか。

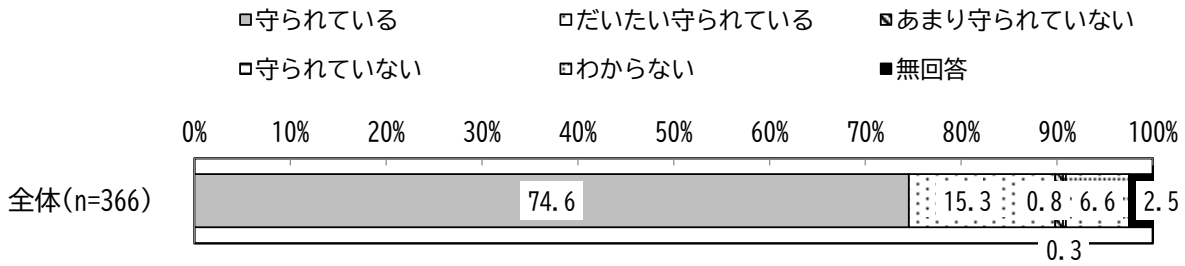
自身の権利が守られていると思うかについて聞いたところ、「守られている」（74.6%）の割合が最も高く、次いで「だいたい守られている」（15.3%）となっている。

性別にみると、「守られている」の割合は女子（76.1%）の方が高くなっている。

家族構成別にみると、三世代以上の世帯において「守られている」（71.0%）の割合が低くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「守られている」（59.0%）の割合が低くなっている。

図表－４９　自身の権利が守られていると思うか



図表－５０　性別、家族構成、家族の世話別　自身の権利が守られていると思うか

単位：%

		調査数	守られている	だいたい守られている	あまり守られていない	守られていない	わからない	無回答
全　体		366	74.6	15.3	0.8	0.3	6.6	2.5
性別	男子	177	74.0	15.8	1.1	-	6.2	2.8
	女子	184	76.1	14.1	0.5	0.5	6.5	2.2
	答えない	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-
家族構成	ひとり親家庭	36	86.1	8.3	-	-	2.8	2.8
	二世代世帯（ふたり親家庭）	221	74.7	13.6	0.5	-	8.6	2.7
	三世代以上の世帯	107	71.0	20.6	1.9	0.9	3.7	1.9
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-
家族の世話	している	39	59.0	17.9	5.1	2.6	10.3	5.1
	していない	299	77.9	15.4	-	-	5.7	1.0
	無回答	28	60.7	10.7	3.6	-	10.7	14.3

２６．自由意見

問２１　家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、こうしてほしいと思うこと、他にも困っていることがあれば自由に書いてください。

家族の世話をしている子どものために必要だと思うことや学校や周りの大人にしてもらいたいことについての自由記述は以下のとおり。

図表－５１　自由意見

※全回答ではなく、一部回答を抜粋して掲載
※原文掲載を基本としつつ、一部編集の上掲載

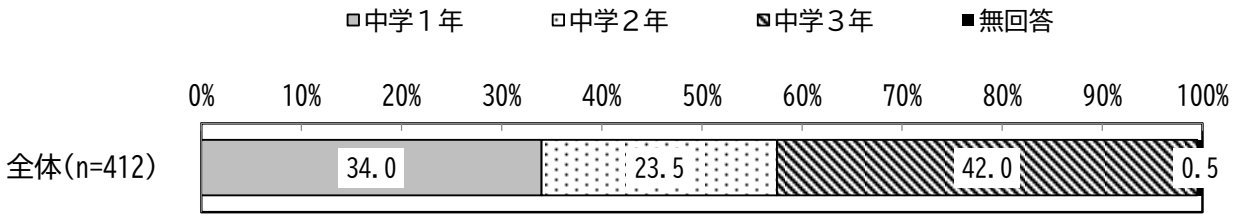
家族の世話をしている子どものために必要だと思うこと	性別	家族の世話
しょうがいが少しでもある人にお金をきゅうふしてほしい	男子	している
お世話をしている子どもにはもっと自分の時間が必要だと思います。そのために、ヘルパーなどをおすすめしたらいいと思います。	女子	している
お世話をしている子どものかわりにお世話をする団体をつくればいいと思います。	男子	していない
生活する環境を整えることが必要だと思う。 生活できるお金を援助することも必要だと思う。	男子	していない
自分の時間が必要だと思う。	女子	していない
子どもにしえんでお金をあげたり、しょくりょう、ふくなどをわたす。	女子	していない
国が少しでもいいからお金を出してしせつや、かいごしさんをよぶこと。 お世話をしている人は１カ月に２、３回スクールカウンセラーと話せるじょうたいにしてほしい。	女子	していない
自分１人でするのではなく、だれかがサポートすること。大人へ助けを求めること。	女子	していない
子供のために専用のし設を作ったり、特別な状況に置かれ、生活に困っていたら、免税や補助金の給付をすることなど。	男子	無回答
学校や周りの大人にしてもらいたいこと	性別	家族の世話
子どもが自由に生活できるように、スクールカウンセラーを今よりもっと多くした方が良いと思う。そして、相談をする時ためらいなく相談できるよう、安心できるような言葉をかければ良いと思う。	女子	していない
みうちに手伝ってもらう	女子	していない
家族の大人がいるならいっしょにできたらおせわをしてほしい	女子	していない
自身の気持ちや困っている状況について	性別	家族の世話
もっと自由な休日がほしい！	女子	している
お世話をたのんでいいけど、その分自由ほしい	女子	している
自分の時間がほしい	女子	している
自分でやれることはやってほしい。	女子	している
その他意見	性別	家族の世話
家族のお世話をしている子どもの家庭には、何かそうしなければいけない理由があるので、海外への募金や支援の先にとりあえず自分の国へお金を使った方がよいと思います。	答えない	していない

第３章　調査結果（中学生）

１．回答者の属性

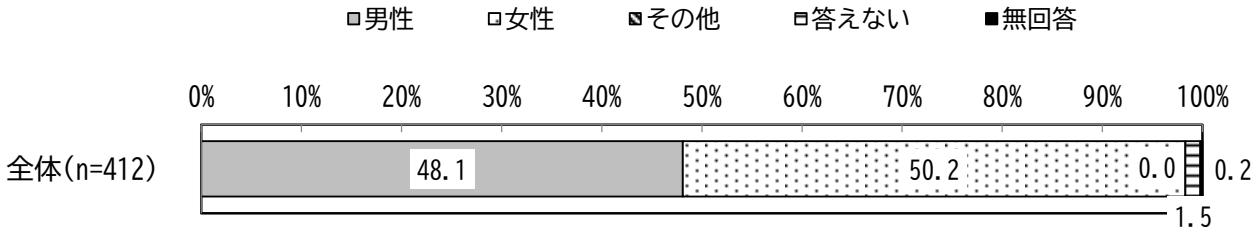
（１）学年

図表－５２　学年



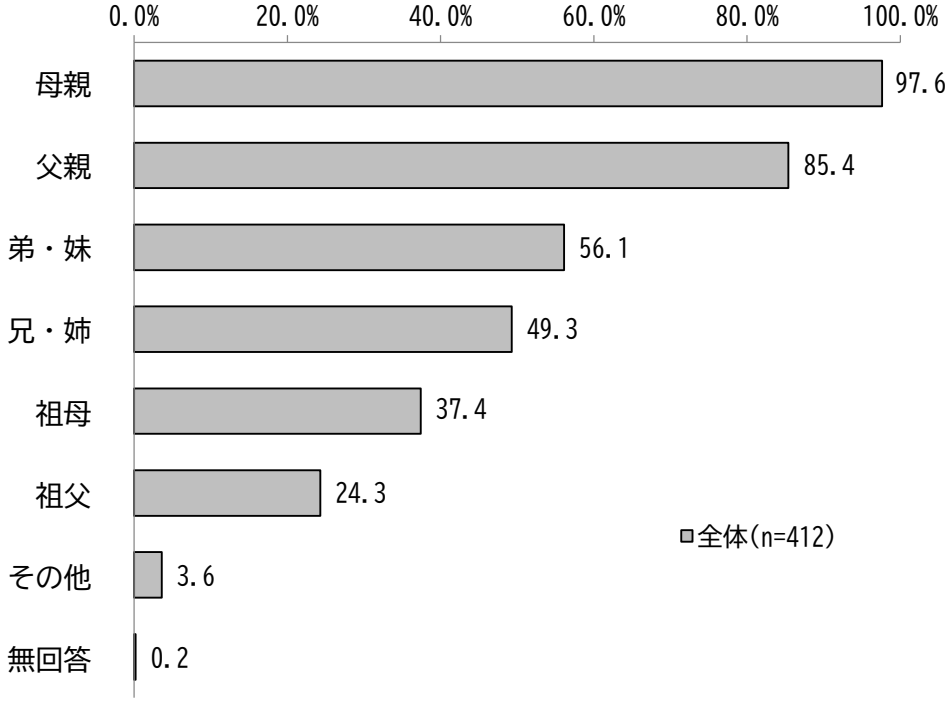
（２）性別

図表－５３　性別



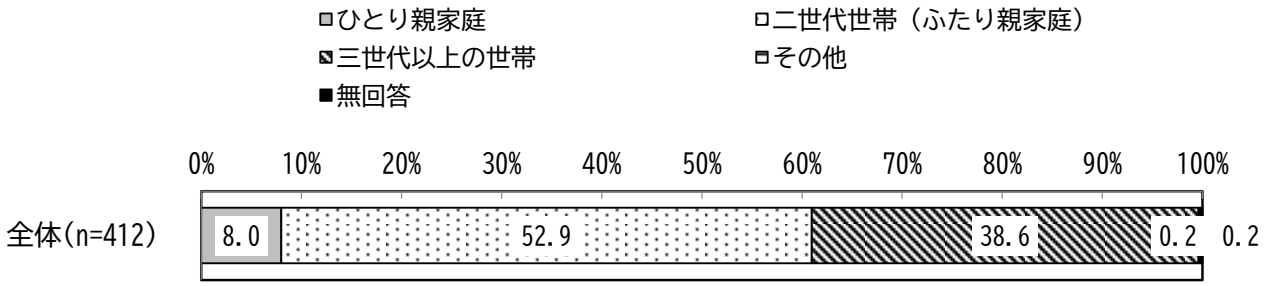
（３）同居家族

図表－５４　同居家族



（４）家族構成

図表－５５　家族構成



２．健康状態

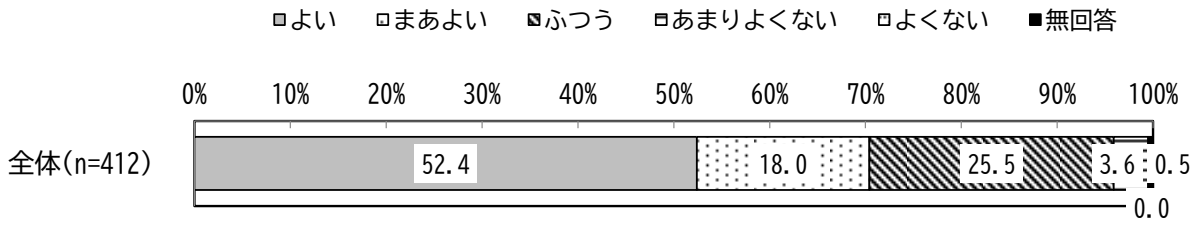
問４　あなたの健康状態について教えてください。

健康状態について聞いたところ、「よい」(52.4%)の割合が最も高く、次いで「ふつう」(25.5%)、「まあよい」(18.0%) となっている。

性別にみると、男性の方が女性と比べて「よい」(54.5%)、「まあよい」(19.7%) の割合が高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「よい」(55.6%) の割合が高くなっている。

図表－５６　健康状態



図表－５７　性別、家族の世話別　健康状態

単位：%

		調査数	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全　体		412	52.4	18.0	25.5	3.6	-	0.5
性別	男性	198	54.5	19.7	23.7	2.0	-	-
	女性	207	51.7	15.9	26.6	5.3	-	0.5
	答えない	6	16.7	33.3	50.0	-	-	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	100.0
家族の世話	している	18	55.6	16.7	11.1	11.1	-	5.6
	していない	372	53.0	17.2	26.6	3.2	-	-
	無回答	22	40.9	31.8	18.2	4.5	-	4.5

３．欠席状況

問5(1)　あなたの欠席の状況(病気の場合を除く)について教えてください。

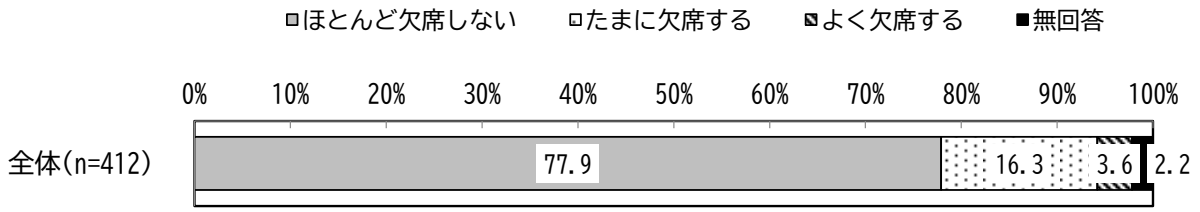
欠席状況について聞いたところ、「ほとんど欠席しない」(77.9%) の割合が最も高く、次いで「たまに欠席する」(16.3%)、「よく欠席する」(3.6%) となっている。

性別にみると、女性の方が男性と比べて欠席する傾向にある。

家族構成別にみると、ひとり親家庭において「ほとんど欠席しない」(69.7%) の割合が低くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が欠席する傾向にある。

図表－５８　欠席状況



図表－５９　性別、家族構成、家族の世話別　欠席状況

単位：%

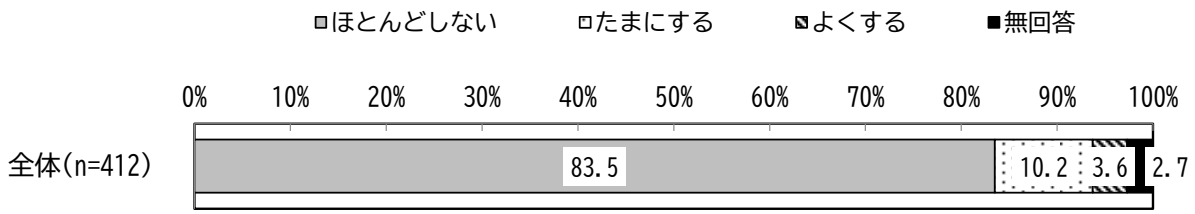
		調査数	ほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	無回答
全　体		412	77.9	16.3	3.6	2.2
性別	男性	198	81.8	13.1	2.0	3.0
	女性	207	74.4	19.8	4.8	1.0
	答えない	6	66.7	-	16.7	16.7
	無回答	1	100.0	-	-	-
家族構成	ひとり親家庭	33	69.7	21.2	9.1	-
	二世代世帯（ふたり親家庭）	218	79.8	14.7	3.7	1.8
	三世代以上の世帯	159	76.7	17.6	2.5	3.1
	その他	1	100.0	-	-	-
	無回答	1	100.0	-	-	-
家族の世話	している	18	66.7	27.8	5.6	-
	していない	372	80.4	16.1	3.5	-
	無回答	22	45.5	9.1	4.5	40.9

４．遅刻・早退状況

問5(2)　あなたの遅刻や早退の状況(病気の場合を除く)について教えてください。

遅刻・早退状況について聞いたところ、「ほとんどしない」(83.5%）の割合が最も高く、次いで「たまにする」(10.2%)、「よくする」(3.6%）となっている。
家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が遅刻・早退をする傾向にある。
性別、家族構成別には、大きな差は見られない。

図表－６０　遅刻・早退状況



図表－６１　性別、家族構成、家族の世話別　遅刻・早退状況

単位：%

		調査数	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全　体		412	83.5	10.2	3.6	2.7
性別	男性	198	83.8	9.6	3.0	3.5
	女性	207	83.6	10.6	4.3	1.4
	答えない	6	66.7	16.7	-	16.7
	無回答	1	100.0	-	-	-
家族構成	ひとり親家庭	33	81.8	12.1	6.1	-
	二世代世帯（ふたり親家庭）	218	82.6	11.5	4.1	1.8
	三世代以上の世帯	159	84.9	8.2	2.5	4.4
	その他	1	100.0	-	-	-
	無回答	1	100.0	-	-	-
家族の世話	している	18	77.8	22.2	-	-
	していない	372	86.0	9.9	3.5	0.5
	無回答	22	45.5	4.5	9.1	40.9

５．学校外の活動の参加状況

問6　部活動(学校外での活動を含む)や習い事をしていますか。

学校外の活動の参加状況について聞いたところ、「はい」が77.4%、「いいえ」が19.4%となっている。

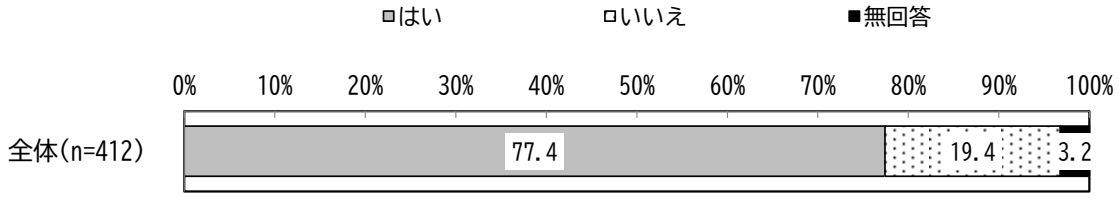
家族構成別にみると、三世代以上の世帯において「いいえ」(22.6%）の割合が高くなっている。

自身の権利別にみると、守られている人の方が「はい」（78.2%）の割合が高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「いいえ」(22.2%）の割合が高くなっている。

性別には、大きな差は見られない。

図表－６２　学校外の活動の参加状況



図表－６３　性別、家族構成、自身の権利、家族の世話別　学校外の活動の参加状況

単位：%

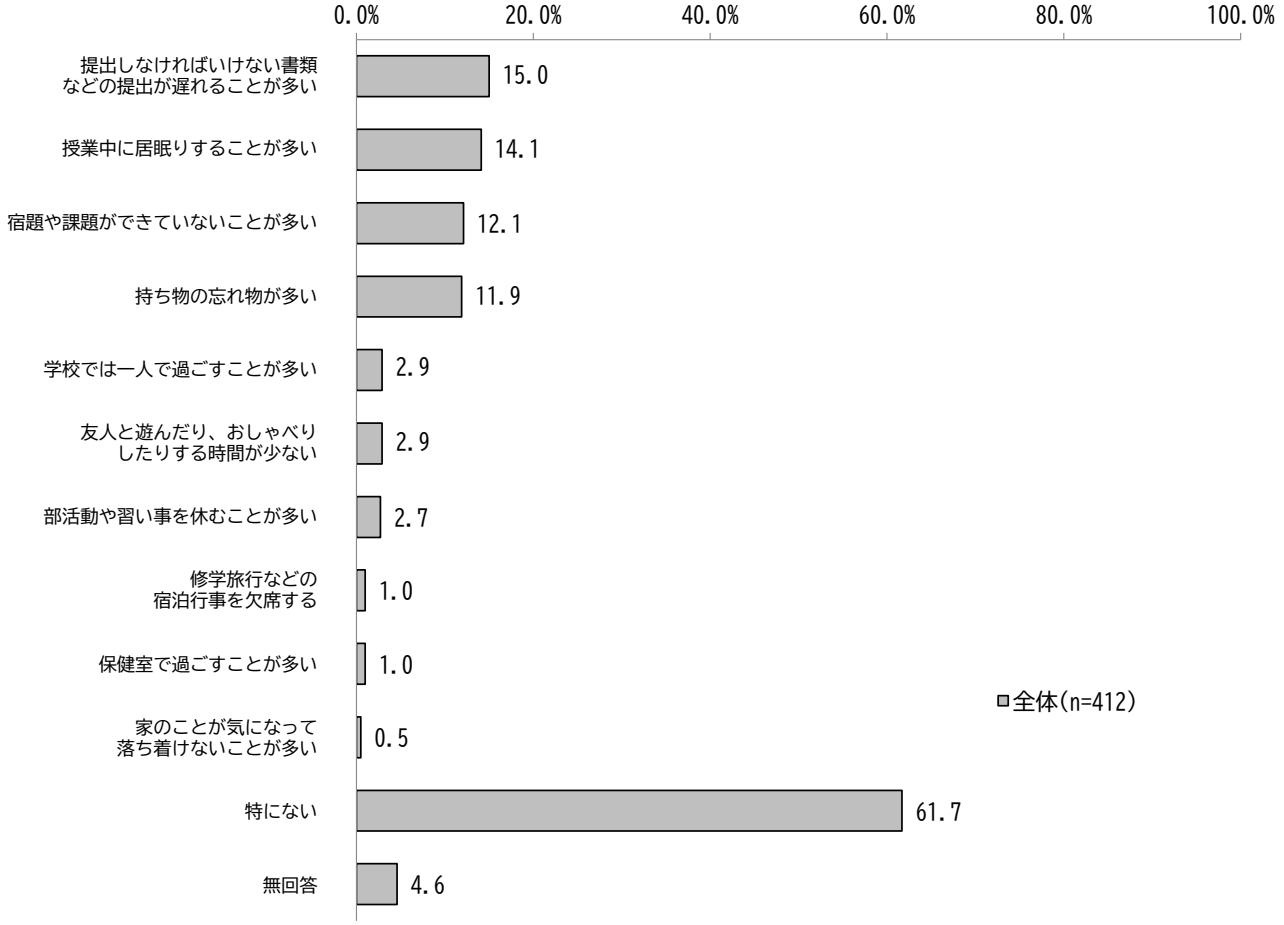
		調査数	はい	いいえ	無回答
全　体		412	77.4	19.4	3.2
性別	男性	198	77.8	18.2	4.0
	女性	207	77.8	20.3	1.9
	答えない	6	50.0	33.3	16.7
	無回答	1	100.0	-	-
家族構成	ひとり親家庭	33	87.9	12.1	-
	二世代世帯（ふたり親家庭）	218	79.4	18.3	2.3
	三世代以上の世帯	159	72.3	22.6	5.0
	その他	1	100.0	-	-
	無回答	1	100.0	-	-
自身の権利	守られている	303	78.2	18.8	3.0
	だいたい守られている	70	74.3	20.0	5.7
	あまり守られていない	6	83.3	16.7	-
	守られていない	1	100.0	-	-
	わからない	13	76.9	23.1	-
	無回答	19	73.7	26.3	-
家族の世話	している	18	77.8	22.2	-
	していない	372	79.3	19.6	1.1
	無回答	22	45.5	13.6	40.9

６．学校生活であてはまるもの

問7　普段の学校生活であてはまるものはありますか。

学校生活であてはまるものについて聞いたところ、「特にない」（61.7%）の割合が最も高くなっている。「特にない」を除くと、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」（15.0%）、「授業中に居眠りすることが多い」（14.1%）、「宿題や課題ができていないことが多い」（12.1%）の順となっている。

図表－６４　学校生活であてはまるもの



学校生活であてはまるものについて性別にみると、男性の方が女性と比べて「特にない」(59.6%)の割合が低くなっている。また、男性では「宿題や課題ができていないことが多い」(15.7%)、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」(18.7%）の割合が高くなっている。

家族構成別にみると、ひとり親家庭において「特にない」(48.5%）の割合が低くなっている。また、ひとり親家庭では「持ち物の忘れ物が多い」(21.2%）の割合が高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「特にない」(38.9%）の割合が低くなっている。また、家族の世話をしている人では「宿題や課題ができていないことが多い」(27.8%)、「持ち物の忘れ物が多い」(22.2%)、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」(33.3%）の割合が高くなっている。一方で家族の世話をしていない人では「授業中に居眠りすることが多い」(14.8%）の割合が高くなっている。

図表－６５　性別、家族構成、家族の世話別　学校生活であてはまるもの

単位：%

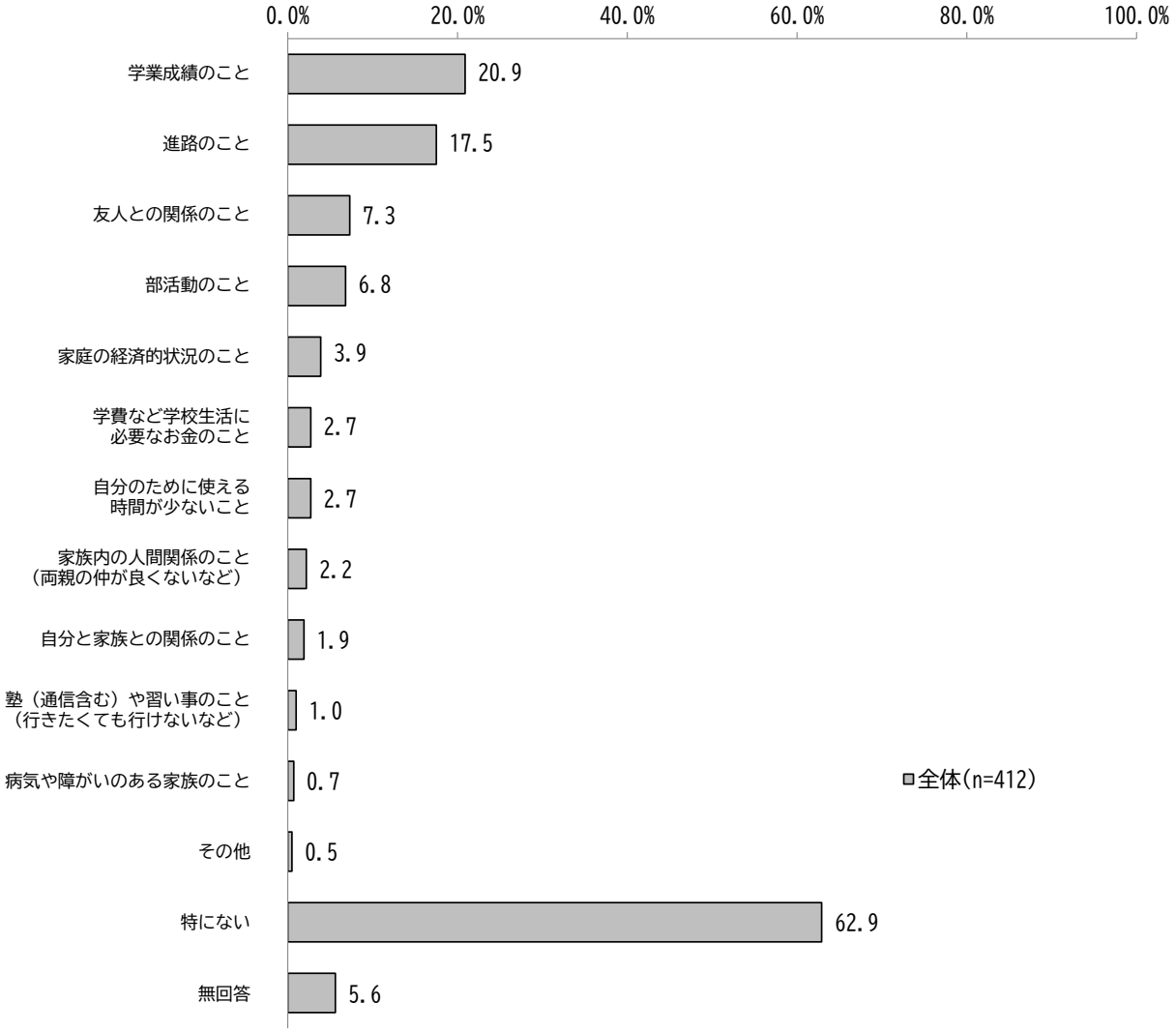
		調査数	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	家のことが気になって落ち着けないことが多い	特にない	無回答
全　体		412	14.1	12.1	11.9	2.7	15.0	1.0	1.0	2.9	2.9	0.5	61.7	4.6
性別	男性	198	15.7	15.7	13.1	2.0	18.7	2.0	-	2.0	2.0	-	59.6	4.5
	女性	207	13.0	8.2	10.6	2.9	11.6	-	1.4	3.4	3.9	1.0	64.3	4.3
	答えない	6	-	33.3	16.7	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	-	33.3	16.7
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
家族構成	ひとり親家庭	33	12.1	15.2	21.2	6.1	15.2	-	3.0	3.0	3.0	3.0	48.5	-
	二世代世帯（ふたり親家庭）	218	16.5	12.8	10.1	2.8	15.6	1.8	0.9	2.8	2.8	0.5	61.9	3.2
	三世代以上の世帯	159	11.3	10.7	12.6	1.9	14.5	-	0.6	3.1	3.1	-	64.2	6.9
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
家族の世話	している	18	5.6	27.8	22.2	5.6	33.3	-	-	11.1	11.1	-	38.9	5.6
	していない	372	14.8	11.6	10.8	2.7	14.0	1.1	0.8	2.4	2.7	0.3	65.1	2.2
	無回答	22	9.1	9.1	22.7	-	18.2	-	4.5	4.5	-	4.5	22.7	45.5

７．悩んでいること

問8　現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。

悩んでいることについて聞いたところ、「特にない」（62.9%）の割合が最も高くなっている。「特にない」を除くと、「学業成績のこと」（20.9%）、「進路のこと」（17.5%）、「友人との関係のこと」（7.3%）の順となっている。

図表－６６　悩んでいること



悩んでいることについて性別にみると、女性の方が男性と比べて「特にない」(58.0%）の割合が低くなっている。また、女性では「塾（通信含む）や習い事のこと」と「その他」と「特にない」を除くすべての項目において男性よりも割合が高くなっている。

家族構成別にみると、ひとり親家庭において「特にない」(45.5%）の割合が低くなっている。また、ひとり親家庭では「学業成績のこと」(33.3%)、「進路のこと」(27.3%)、「家庭の経済状況のこと」(12.1%)、「家庭内の人間関係のこと」(9.1%）の割合が高くなっている。

自身の権利別にみると、守られている人において「特にない」(67.3%）の割合が高くなっている。また、だいたい守られている人では「その他」と「特にない」を除くすべての項目において守られている人よりも割合が高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「特にない」(38.9%）の割合が低くなっている。また、家族の世話をしている人では「進路のこと」(33.3%)、「自分と家族との関係のこと」、「病気や障害のある家族のこと」、「自分のために使える時間が少ないこと」(すべて11.1%）の割合が高くなっている。

図表－６７　性別、家族構成、自身の権利、家族の世話別　悩んでいること

単位：%

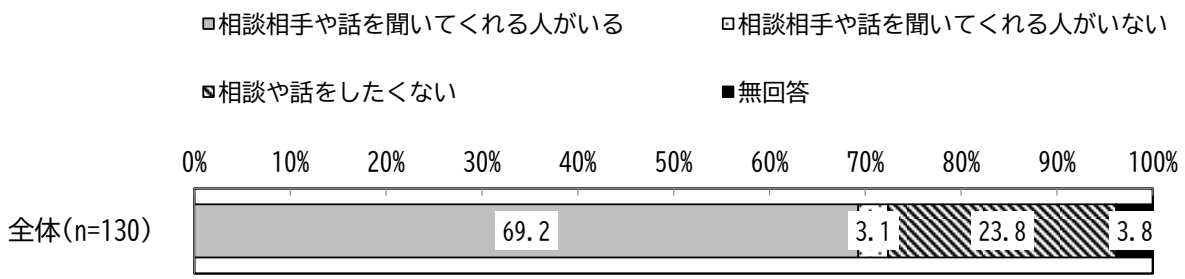
		調査数	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事のこと（行きたくても行けないなど）	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障害のある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	その他	特にない	無回答
全　体		412	7.3	20.9	17.5	6.8	2.7	1.0	3.9	1.9	2.2	0.7	2.7	0.5	62.9	5.6
性別	男性	198	2.0	16.7	13.6	4.5	0.5	1.0	2.5	1.0	1.5	-	1.0	0.5	68.7	6.6
	女性	207	11.1	24.2	20.8	9.2	3.9	1.0	4.3	2.9	2.9	1.4	4.3	0.5	58.0	4.3
	答えない	6	50.0	50.0	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	16.7
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
家族構成	ひとり親家庭	33	6.1	33.3	27.3	12.1	3.0	3.0	12.1	3.0	9.1	-	-	-	45.5	-
	二世代世帯（ふたり親家庭）	218	6.9	21.6	17.4	4.1	2.3	0.9	3.7	1.8	1.8	0.5	3.2	-	66.5	3.7
	三世代以上の世帯	159	7.5	17.6	15.1	9.4	2.5	0.6	2.5	1.3	0.6	1.3	2.5	1.3	61.6	9.4
	その他	1	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
自身の権利	守られている	303	5.6	17.2	14.9	4.6	0.7	1.0	2.0	0.7	1.0	0.3	1.0	-	67.3	5.3
	だいたい守られている	70	14.3	34.3	25.7	12.9	7.1	1.4	10.0	5.7	5.7	1.4	5.7	-	47.1	7.1
	あまり守られていない	6	16.7	66.7	50.0	50.0	50.0	-	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	-
	守られていない	1	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	わからない	13	7.7	7.7	7.7	-	7.7	-	7.7	7.7	7.7	-	7.7	-	69.2	7.7
	無回答	19	5.3	26.3	21.1	5.3	-	-	5.3	-	-	-	5.3	5.3	63.2	5.3
家族の世話	している	18	11.1	16.7	33.3	11.1	5.6	-	5.6	11.1	5.6	11.1	11.1	5.6	38.9	16.7
	していない	372	7.0	21.5	17.5	6.5	2.4	1.1	3.8	1.3	1.9	0.3	2.4	0.3	65.6	2.7
	無回答	22	9.1	13.6	4.5	9.1	4.5	-	4.5	4.5	4.5	-	-	-	36.4	45.5

８．悩みについて話を聞いてくれる人がいるか

問9　問8で回答した悩みや困りごとについて、相談にのってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。

悩んでいることがあると回答した人に、悩みについて話を聞いてくれる人がいるかについて聞いたところ、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が69.2%、「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」が3.1%、「相談や話をしたくない」が23.8%となっている。

図表－６８　悩みについて話を聞いてくれる人がいるか



悩みについて話を聞いてくれる人がいるかについて性別にみると、男性の方が「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」（75.5%）の割合が高くなっている。一方で、女性の方が「相談や話をしたくない」（29.5%）の割合が高くなっている。

家族構成別にみると、二世代世帯（ふたり親家庭）では「相談や話をしたくない」（26.2%）の割合が高くなっている。

自身の権利別にみると、守られている人において「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」（75.9%）の割合が高くなっている。また、だいたい守られている人では「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」（6.3%）と「相談や話をしたくない」（34.4%）の割合が高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」（12.5%）の割合が高くなっている。

図表－６９　性別、家族構成、自身の権利、家族の世話別
悩みについて話を聞いてくれる人がいるか

単位：%

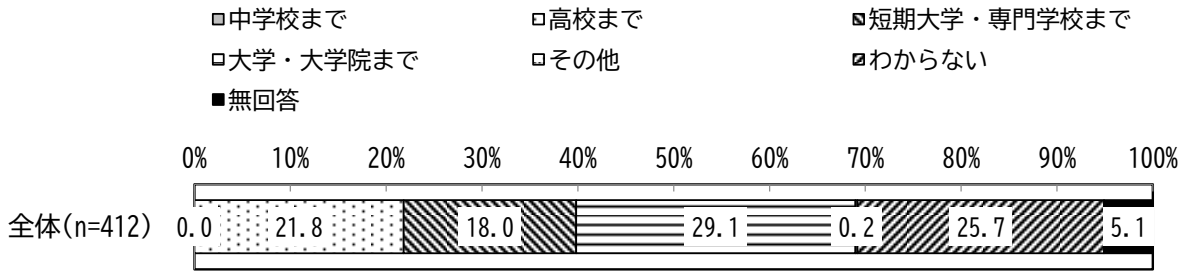
		調査数	相談相手や話を聞いてくれる人がいる	相談相手や話を聞いてくれる人がいない	相談や話をしたくない	無回答
全　体		130	69.2	3.1	23.8	3.8
性別	男性	49	75.5	2.0	14.3	8.2
	女性	78	66.7	2.6	29.5	1.3
	答えない	3	33.3	33.3	33.3	-
	無回答	-	-	-	-	-
家族構成	ひとり親家庭	18	77.8	-	22.2	-
	二世代世帯（ふたり親家庭）	65	66.2	3.1	26.2	4.6
	三世代以上の世帯	46	71.7	4.3	19.6	4.3
	その他	1	-	-	100.0	-
	無回答	-	-	-	-	-
自身の権利	守られている	83	75.9	2.4	15.7	6.0
	だいたい守られている	32	59.4	6.3	34.4	-
	あまり守られていない	5	40.0	-	60.0	-
	守られていない	1	100.0	-	-	-
	わからない	3	-	-	100.0	-
	無回答	6	83.3	-	16.7	-
家族の世話	している	8	62.5	12.5	25.0	-
	していない	118	70.3	2.5	22.9	4.2
	無回答	4	50.0	-	50.0	-

９．進路希望

問１０　進路希望についておたずねします。あなたは将来どの学校まで行きたいと思いますか。

進路希望について聞いたところ、「大学・大学院まで」の割合が29.1％と最も高く、次いで「わからない」（25.7％）、「高校まで」（21.8％）となっている。

図表－７０　進路希望



性別にみると、男性の方が「高校まで」（26.8%）の割合が高く、女性の方が「短期大学・専門学校まで」（27.1%）の割合が高くなっている。

家族構成別にみると、ひとり親家庭では「高校まで」（27.3%）と「短期大学・専門学校まで」（24.2%）の割合が高くなっている。二世代世帯（ふたり親家庭）では「わからない」（29.8%）の割合が高くなっている。三世代以上の世帯では「大学・大学院まで」（36.5%）の割合が高くなっている。

自身の権利別にみると、守られている人において「大学・大学院まで」（32.3%）の割合が高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「高校まで」（33.3%）の割合が高く、家族の世話をしていない人の方が「大学・大学院まで」（30.1%）の割合が高くなっている。

図表－７１　性別、家族構成、自身の権利、家族の世話別　進路希望

単位：%

		調査数	中学校まで	高校まで	短期大学・専門学校まで	大学・大学院まで	その他	わからない	無回答
全　体		412	-	21.8	18.0	29.1	0.2	25.7	5.1
性別	男性	198	-	26.8	8.6	26.3	0.5	31.8	6.1
	女性	207	-	17.4	27.1	31.4	-	20.3	3.9
	答えない	6	-	16.7	16.7	33.3	-	16.7	16.7
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-
家族構成	ひとり親家庭	33	-	27.3	24.2	30.3	-	15.2	3.0
	二世代世帯（ふたり親家庭）	218	-	23.9	17.0	22.9	0.5	29.8	6.0
	三世代以上の世帯	159	-	18.2	18.2	36.5	-	22.6	4.4
	その他	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-
自身の権利	守られている	303	-	20.8	16.8	32.3	0.3	25.4	4.3
	だいたい守られている	70	-	31.4	18.6	21.4	-	22.9	5.7
	あまり守られていない	6	-	16.7	33.3	33.3	-	16.7	-
	守られていない	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	わからない	13	-	15.4	30.8	15.4	-	30.8	7.7
	無回答	19	-	10.5	15.8	15.8	-	42.1	15.8
家族の世話	している	18	-	33.3	16.7	22.2	-	27.8	-
	していない	372	-	22.3	18.8	30.1	0.3	26.1	2.4
	無回答	22	-	4.5	4.5	18.2	-	18.2	54.5

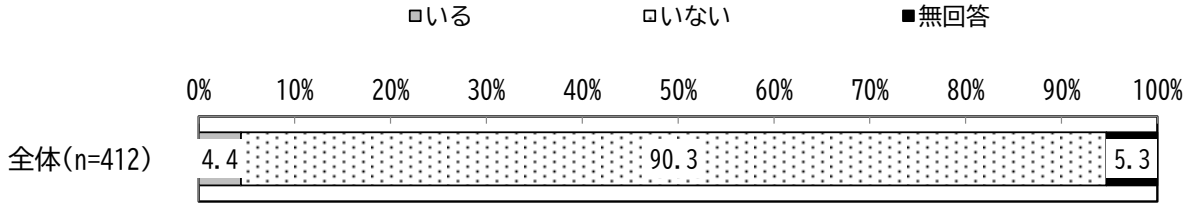
１０．世話をしている家族の有無

問１１　家族の中にあなたがお世話をしている方はいますか。（ここで「お世話」とは本来、大人がすると考えられる食事のしたく、洗たくなどの家事や家族のお世話などを日常的にすることです。）

世話をしている家族の有無について聞いたところ、「いる」が4.4%、「いない」が90.3%となっている。

性別、家族構成別、自身の権利別には、大きな差は見られない。

図表ー７２　世話をしている家族の有無



図表ー７３　性別、家族構成、自身の権利別　世話をしている家族の有無

単位：%

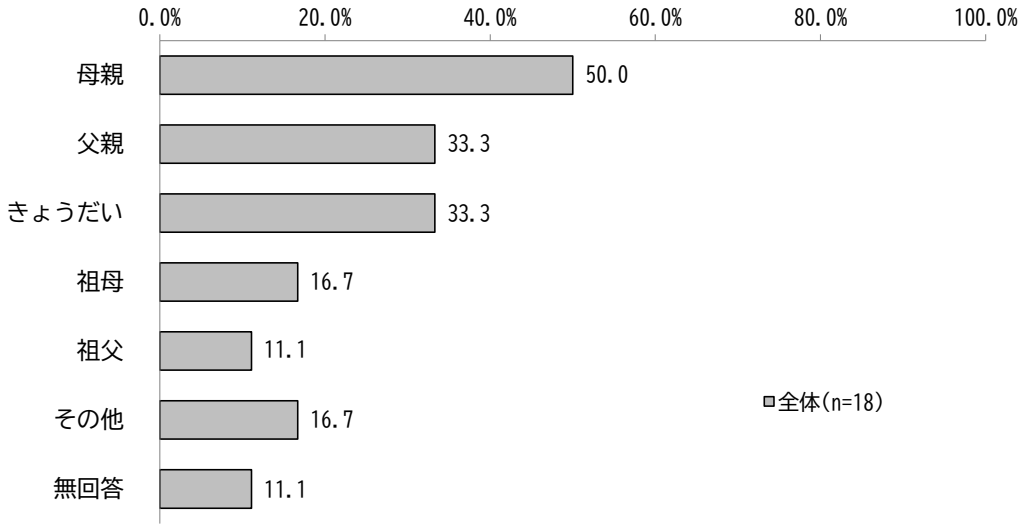
		調査数	いる	いない	無回答
全　体		412	4.4	90.3	5.3
性別	男性	198	3.0	90.9	6.1
	女性	207	5.3	90.3	4.3
	答えない	6	-	83.3	16.7
	無回答	1	100.0	-	-
家族構成	ひとり親家庭	33	3.0	90.9	6.1
	二世代世帯（ふたり親家庭）	218	4.6	90.8	4.6
	三世代以上の世帯	159	3.8	89.9	6.3
	その他	1	-	100.0	-
	無回答	1	100.0	-	-
自身の権利	守られている	303	4.0	90.4	5.6
	だいたい守られている	70	5.7	90.0	4.3
	あまり守られていない	6	33.3	66.7	-
	守られていない	1	-	100.0	-
	わからない	13	-	92.3	7.7
	無回答	19	-	94.7	5.3

１１．誰の世話をしているか

問12(1) お世話をしている方

家族の世話をしていると回答した人に、誰の世話をしているかについて聞いたところ、「母親」(50.0%)、「父親」と「きょうだい」(ともに33.3%) の順となっている。

図表－７４　誰の世話をしているか



図表－７５　性別、家族構成別　誰の世話をしているか

単位：件

		調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答
全　体		18	9	6	3	2	6	3	2
性別	男性	6	3	3	－	－	1	－	1
	女性	11	5	2	3	2	5	3	1
	無回答	1	1	1	－	－	－	－	－
家族構成	ひとり親家庭	1	1	－	－	－	－	－	－
	二世代世帯（ふたり親家庭）	10	3	4	1	1	4	2	1
	三世代以上の世帯	6	4	1	2	1	2	1	1
	無回答	1	1	1	－	－	－	－	－

１２．お世話をしている方の状況

問12(2) お世話をしている方の状況やあなたが行っているお世話について教えてください。

家族の世話をしていると回答した人に、お世話をしている方の状況について聞いたところ、母親、父親は「仕事が忙しくつかれている」と「その他」（ともに3件）、祖母、祖父は「高齢（６５歳以上）」（4件）、きょうだいは「幼い」（3件）の件数が最も多くなっている。

図表ー７６　お世話をしている方の状況

単位：件

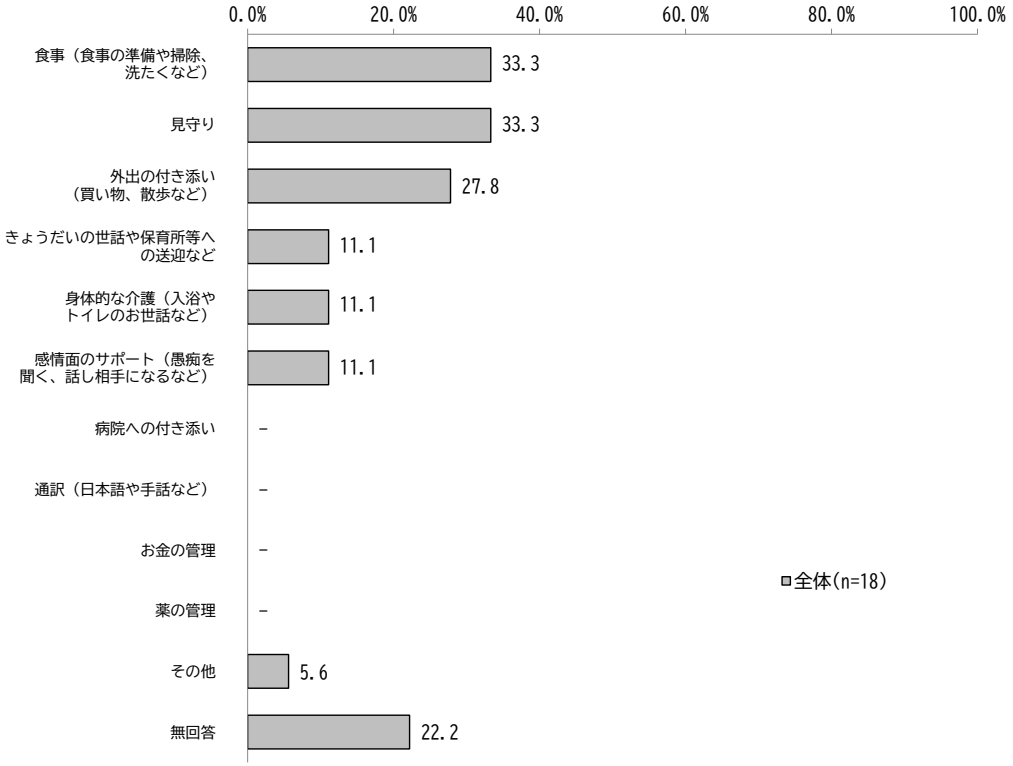
	全体	高齢（６５歳以上）	幼い	介護（食事や身の回りの世話）が必要	認知症	身体障がい	知的障がい	病気	精神科の病気	お酒やギャンブルで困っている	精神科、依存症以外の病気	日本語が苦手	仕事が忙しく、つかれている	母親が妊娠中・乳幼児がいる	その他	わからない	無回答
母親、父親	10	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	3	2	2
祖母、祖父	4	4	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
きょうだい	6	－	3	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	2	－
「その他」の人	3	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－

１３．世話の内容

問12(3) あなたがしているお世話の内容を教えてください。

家族の世話をしていると回答した人に、世話の内容について聞いたところ、「家事（食事の準備や掃除、洗たくなど）」と「見守り」（ともに33.3%）、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」（27.8%）の順となっている。

図表－７７　世話の内容



図表－７８　性別、家族構成別　世話の内容

単位：件

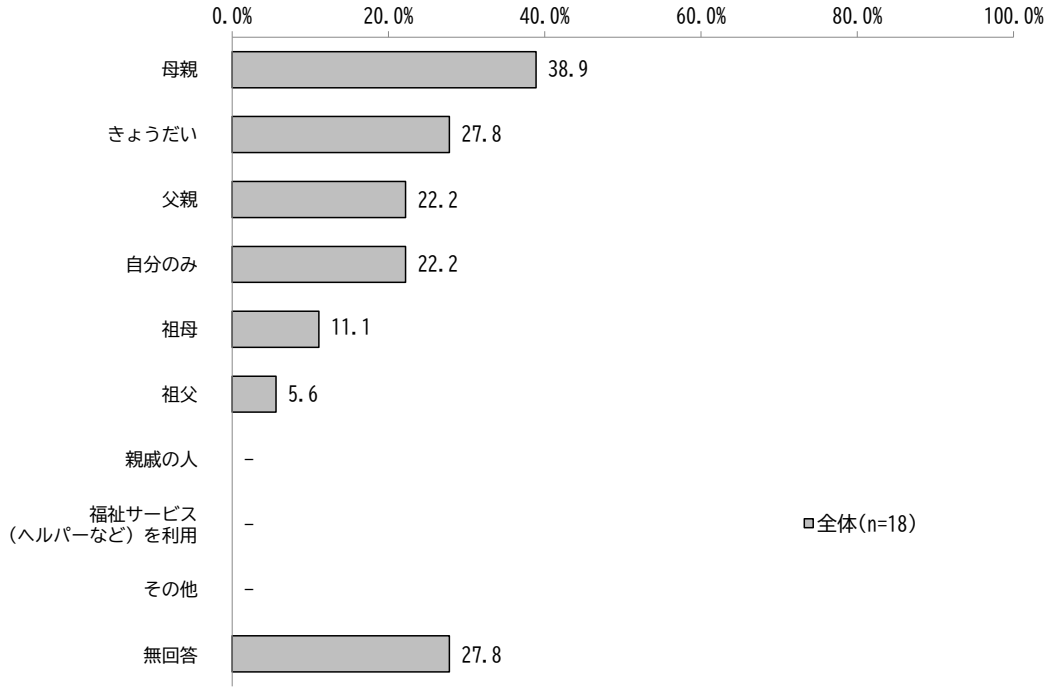
		調査数	家事（食事の準備や掃除、洗たくなど）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	病院への付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全　体		18	6	2	2	5	－	2	6	－	－	－	1	4
性別	男性	6	2	1	1	－	－	－	1	－	－	－	－	3
	女性	11	4	1	1	5	－	2	5	－	－	－	－	1
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
家族構成	ひとり親家庭	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	二世代世帯（ふたり親家庭）	10	2	1	2	3	－	1	4	－	－	－	－	2
	三世代以上の世帯	6	4	1	－	2	－	1	2	－	－	－	－	1
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－

１４．世話を一緒にしている人

問12(4) お世話は誰と行っていますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話を一緒にしている人について聞いたところ、「母親」(38.9%)、「きょうだい」(27.8%)、「父親」と「自分のみ」(ともに22.2%) の順となっている。

図表－７９　世話を一緒にしている人



図表－８０　性別、家族構成別　世話を一緒にしている人

単位：件

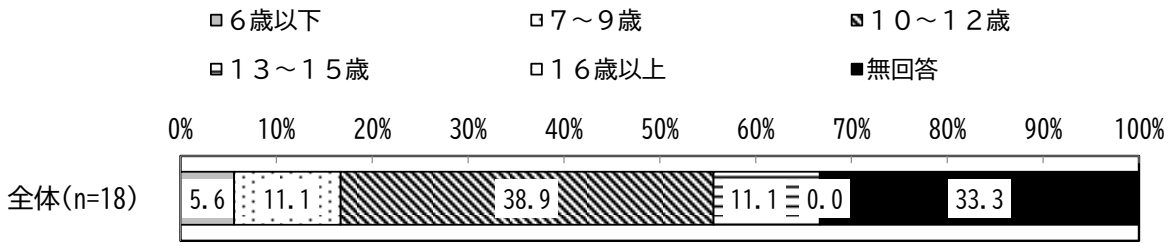
		調査数	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚の人	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答
全　体		18	7	4	2	1	5	-	4	-	-	5
性別	男性	6	1	1	-	1	-	-	1	-	-	3
	女性	11	5	3	2	-	5	-	3	-	-	2
	無回答	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家族構成	ひとり親家庭	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	二世代世帯（ふたり親家庭）	10	4	2	-	-	3	-	4	-	-	3
	三世代以上の世帯	6	2	2	2	1	2	-	-	-	-	1
	無回答	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

１５．世話を始めた年齢

問12(5)　お世話を始めたあなたの年齢をお答えください。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年でかまいません)

家族の世話をしていると回答した人に、世話を始めた年齢について聞いたところ、「１０～１２歳」(38.9%)、「７～９歳」と「１３～１５歳」(ともに11.1%)の順となっている。

図表－８１　世話を始めた年齢



図表－８２　性別、家族構成別　世話を始めた年齢

単位：件

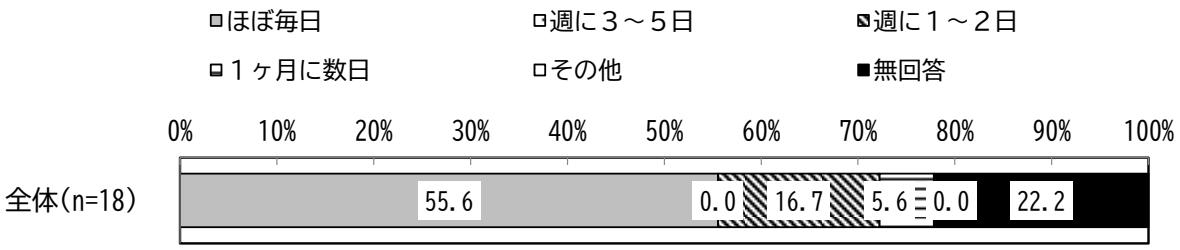
		調査数	６歳以下	７～９歳	１０～１２歳	１３～１５歳	１６歳以上	無回答
全　体		18	1	2	7	2	－	6
性別	男性	6	－	1	1	－	－	4
	女性	11	1	1	5	2	－	2
	無回答	1	－	－	1	－	－	－
家族構成	ひとり親家庭	1	－	－	－	－	－	1
	二世代世帯（ふたり親家庭）	10	1	2	4	－	－	3
	三世代以上の世帯	6	－	－	2	2	－	2
	無回答	1	－	－	1	－	－	－

１６．世話をしている頻度

問12(6) どれくらいお世話をしていますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話をしている頻度について聞いたところ、「ほぼ毎日」(55.6%)、「週に１～２日」(16.7%)、「１ヶ月に数日」(5.6%) の順となっている。

図表－８３　世話をしている頻度



図表－８４　性別、家族構成別　世話をしている頻度

単位：件

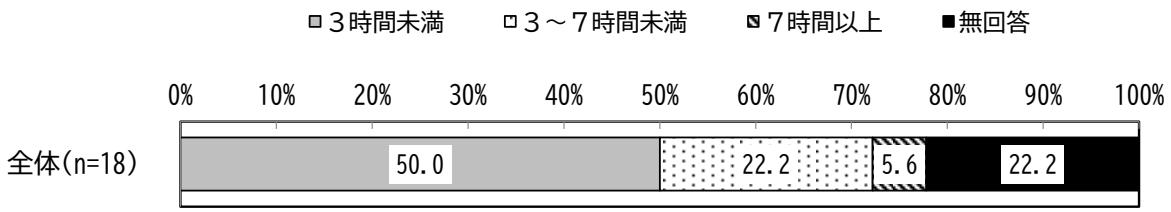
		調査数	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他	無回答
全　体		18	10	－	3	1	－	4
性別	男性	6	3	－	－	－	－	3
	女性	11	6	－	3	1	－	1
	無回答	1	1	－	－	－	－	－
家族構成	ひとり親家庭	1	－	－	－	－	－	1
	二世代世帯（ふたり親家庭）	10	6	－	1	1	－	2
	三世代以上の世帯	6	3	－	2	－	－	1
	無回答	1	1	－	－	－	－	－

１７．平日１日あたりの世話に費やす時間

問12(7)　平日に何時間程度お世話を行っていますか。日によって異なる場合は、この1ヶ月で最も長かった日の時間をお答えください。

家族の世話をしていると回答した人に、平日１日あたりの世話に費やす時間について聞いたところ、「３時間未満」(50.0%)、「３～７時間未満」(22.2%)、「７時間以上」(5.6%）の順となっている。

図表－８５　平日１日あたりの世話に費やす時間



図表－８６　性別、家族構成別　平日１日あたりの世話に費やす時間

単位：件

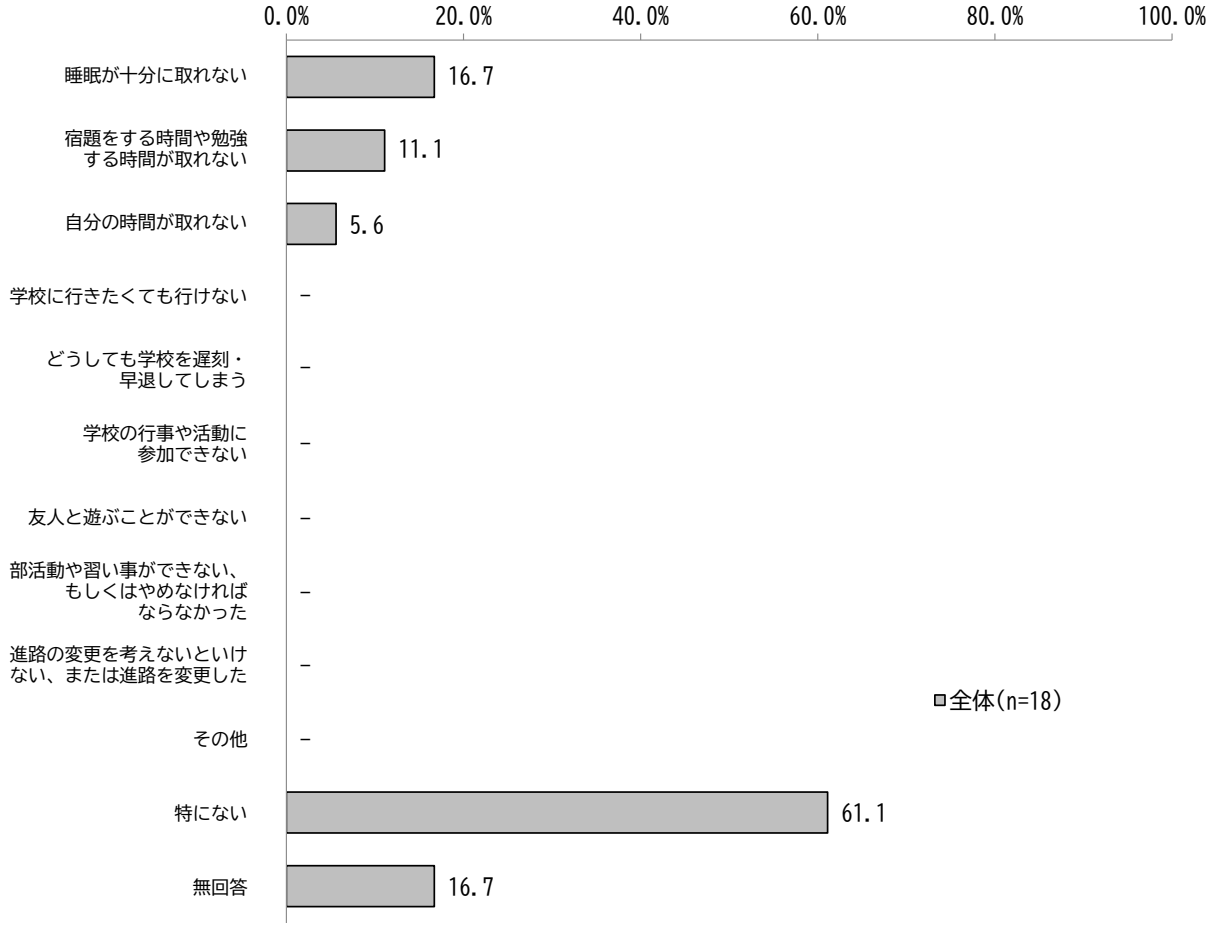
		調査数	３時間未満	３～７時間未満	７時間以上	無回答
全　体		18	9	4	1	4
性別	男性	6	2	1	－	3
	女性	11	6	3	1	1
	無回答	1	1	－	－	－
家族構成	ひとり親家庭	1	－	－	－	1
	二世代世帯（ふたり親家庭）	10	4	3	1	2
	三世代以上の世帯	6	4	1	－	1
	無回答	1	1	－	－	－

１８．世話をしているためにやりたいけれどできないこと

問13　お世話をしているために、やりたいけど、できていないことはありますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話をしているためにやりたいけれどできないことについて聞いたところ、「特にない」（61.1%）の割合が最も高くなっている。「特にない」を除くと、「睡眠が十分に取れない」（16.7%）、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」（11.1%）の順となっている。

図表－８７　世話をしているためにやりたいけれどできないこと



図表－８８　性別、家族構成別　世話をしているためにやりたいけれどできないこと

単位：件

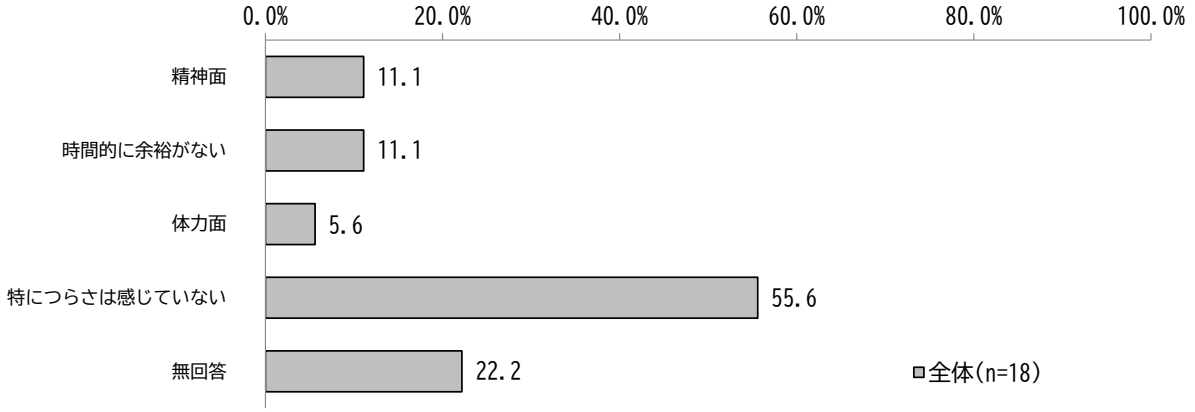
		調査数	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	学校の行事や活動に参加できない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活動や習い事ができない、もしくはやめなければならなかった	進路の変更を考えないといけない、または進路を変更した	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
全　体		18	－	－	2	－	3	－	－	－	1	－	11	3
性別	男性	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	2
	女性	11	－	－	2	－	3	－	－	－	1	－	6	1
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
家族構成	ひとり親家庭	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	二世代世帯（ふたり親家庭）	10	－	－	2	－	1	－	－	－	－	－	6	2
	三世代以上の世帯	6	－	－	－	－	2	－	－	－	1	－	4	－
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－

１９．世話の大変さ

問14　お世話をするなかで何につらさ･ストレスを感じていますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話の大変さについて聞いたところ、「特につらさは感じていない」(55.6%)の割合が最も高く、次いで「精神面」と「時間的に余裕がない」(ともに11.1%)となっている。

図表－８９　世話の大変さ



図表－９０　性別、家族構成別　世話の大変さ

単位：件

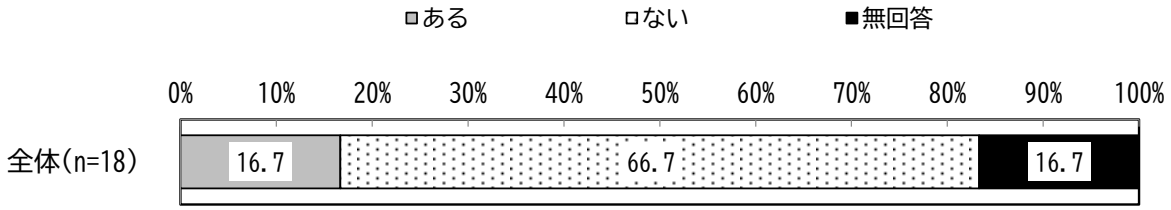
		調査数	体力面	精神面	時間的に余裕がない	特につらさは感じていない	無回答
全　体		18	1	2	2	10	4
性別	男性	6	－	－	－	3	3
	女性	11	1	2	2	6	1
	無回答	1	－	－	－	1	－
家族構成	ひとり親家庭	1	－	－	－	－	1
	二世代世帯（ふたり親家庭）	10	1	1	－	6	2
	三世代以上の世帯	6	－	1	2	3	1
	無回答	1	－	－	－	1	－

２０．世話について相談した経験

問15　お世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話について相談した経験について聞いたところ、「ある」が16.7%、「ない」が66.7%となっている。

図表－９１　世話について相談した経験



図表－９２　性別、家族構成別　世話について相談した経験

単位：件

		調査数	ある	ない	無回答
全　体		18	3	12	3
性別	男性	6	1	3	2
	女性	11	2	8	1
	無回答	1	－	1	－
家族構成	ひとり親家庭	1	－	－	1
	二世代世帯（ふたり親家庭）	10	3	6	1
	三世代以上の世帯	6	－	5	1
	無回答	1	－	1	－

２１．世話についての相談相手

問16　問15で「1.ある」と回答した人にお聞きします。悩みを相談した相手は誰ですか。

世話について相談した経験があると回答した人に、世話についての相談相手について聞いたところ、「友人」（100.0%）、「家族」と「学校の先生（保健室の先生以外）」（66.7%）の順となっている。

図表－９３　性別、家族構成別　世話についての相談相手

単位：件

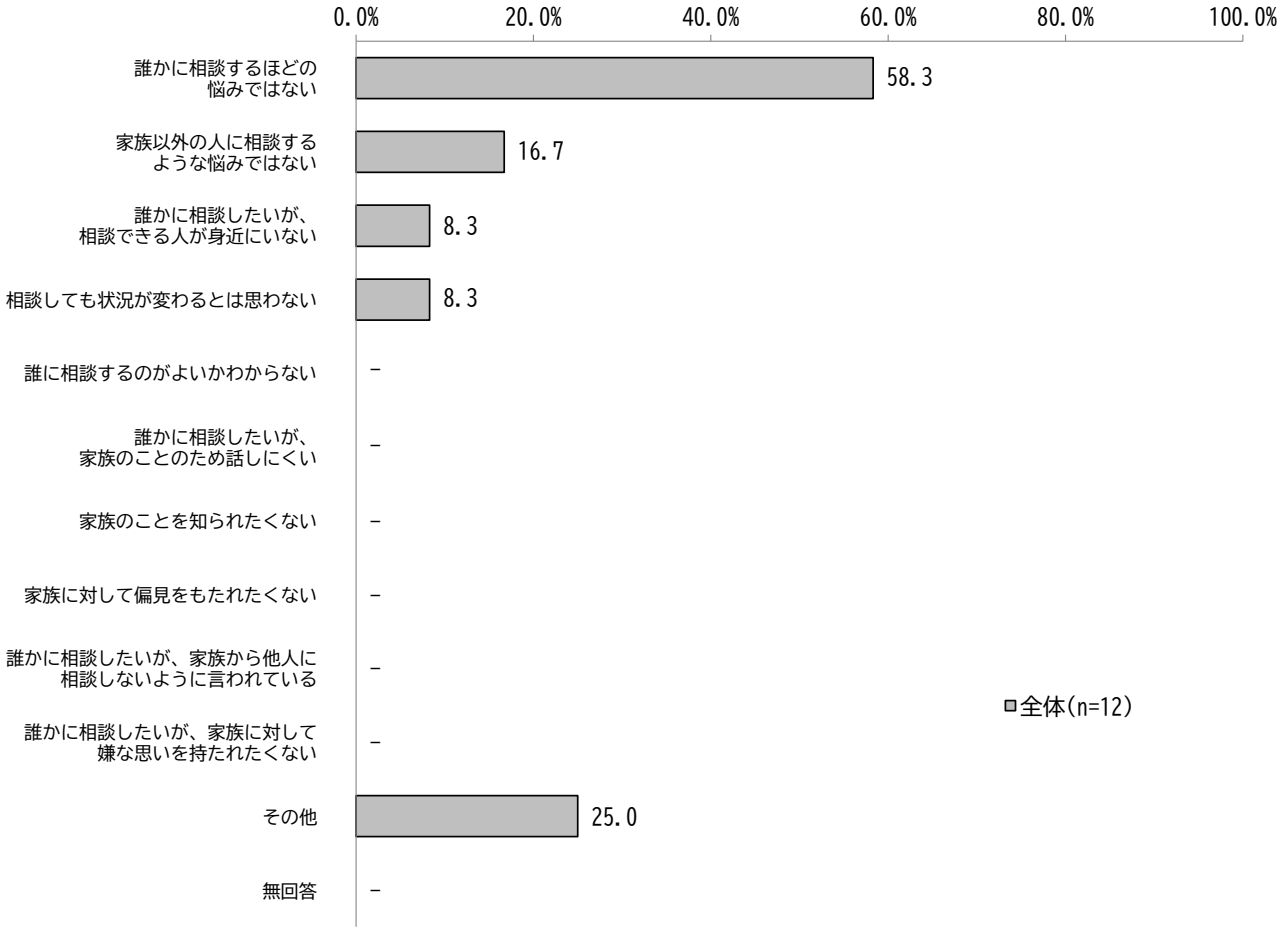
		調査数	家族	親戚（おば、おじなど）	友人	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	医師や看護師、その他病院の人	ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人	市役所や保健センターの人	民生委員・児童委員の人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
全　体		3	2	1	3	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
性別	男性	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性	2	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家族構成	ひとり親家庭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	二世代世帯（ふたり親家庭）	3	2	1	3	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	三世代以上の世帯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

２２．世話について相談していない理由

問17 問15で「2.ない」と回答した人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。

世話について相談した経験がないと回答した人に、 世話について相談していない理由について聞いたところ、「誰かに相談するほどの悩みではない」（58.3%）の割合が最も高く、次いで「家族以外の人に相談するような悩みではない」(16.7%)、「誰かに相談したいが、相談できる人が身近にいない」と「相談しても状況が変わるとは思わない」（ともに8.3%）となっている。

図表－９４　世話について相談していない理由



図表－９５　性別、家族構成別　世話について相談していない理由

単位：件

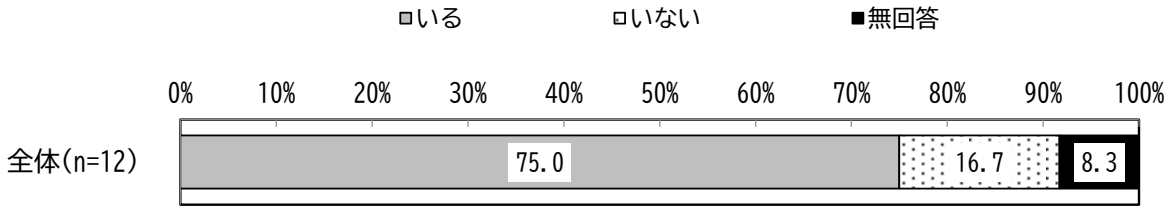
		調査数	誰かに相談するほどの悩みではない	家族以外の人に相談するような悩みではない	誰に相談するのがよいかわからない	誰かに相談したいが、相談できる人が身近にいない	誰かに相談したいが、家族のことのため話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見をもたれたくない	誰かに相談したいが、家族から他人に相談しないように言われている	誰かに相談したいが、家族に対して嫌な思いを持たれたくない	相談しても状況が変わるとは思わない	その他	無回答
全　体		12	7	2	－	1	－	－	－	－	－	1	3	－
性別	男性	3	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－
	女性	8	6	2	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
家族構成	ひとり親家庭	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	二世代世帯（ふたり親家庭）	6	3	－	－	－	－	－	－	－	－	1	2	－
	三世代以上の世帯	5	4	2	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－

２３．世話について話を聞いてくれる人の有無

問１８　問１５で「2.ない」と回答した人にお聞きします。お世話を必要としている家族のことや、お話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

世話について相談した経験がないと回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、「いる」が75.0%、「いない」が16.7%となっている。

図表－９６　世話について話を聞いてくれる人の有無



図表－９７　性別、家族構成別　世話について話を聞いてくれる人の有無

単位：件

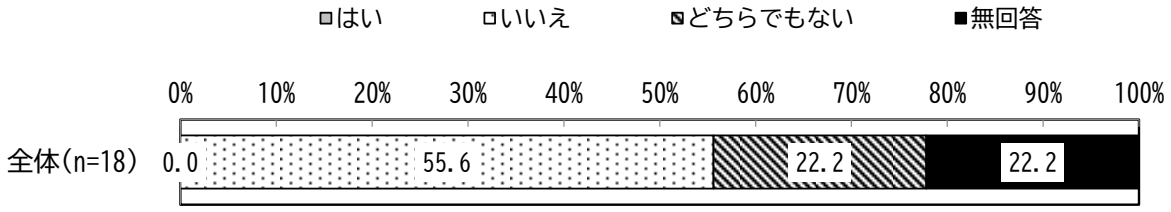
		調査数	いる	いない	無回答
全　体		12	9	2	1
性別	男性	3	2	－	1
	女性	8	6	2	－
	無回答	1	1	－	－
家族構成	ひとり親家庭	－	－	－	－
	二世代世帯（ふたり親家庭）	6	5	－	1
	三世代以上の世帯	5	3	2	－
	無回答	1	1	－	－

２４．家族の世話をしている人同士で話をしたいか

問１９　あなたは家族のお世話をしている者同士で話してみたいですか。
（オンラインサロンなど）

家族の世話をしていると回答した人に、家族の世話をしている人同士で話をしたいかについて聞いたところ、「はい」が0.0%、「いいえ」が55.6%、「どちらでもない」が22.2%となっている。

図表－９８　家族の世話をしている人同士で話をしたいか



図表－９９　性別、家族構成別　家族の世話をしている人同士で話をしたいか

単位：件

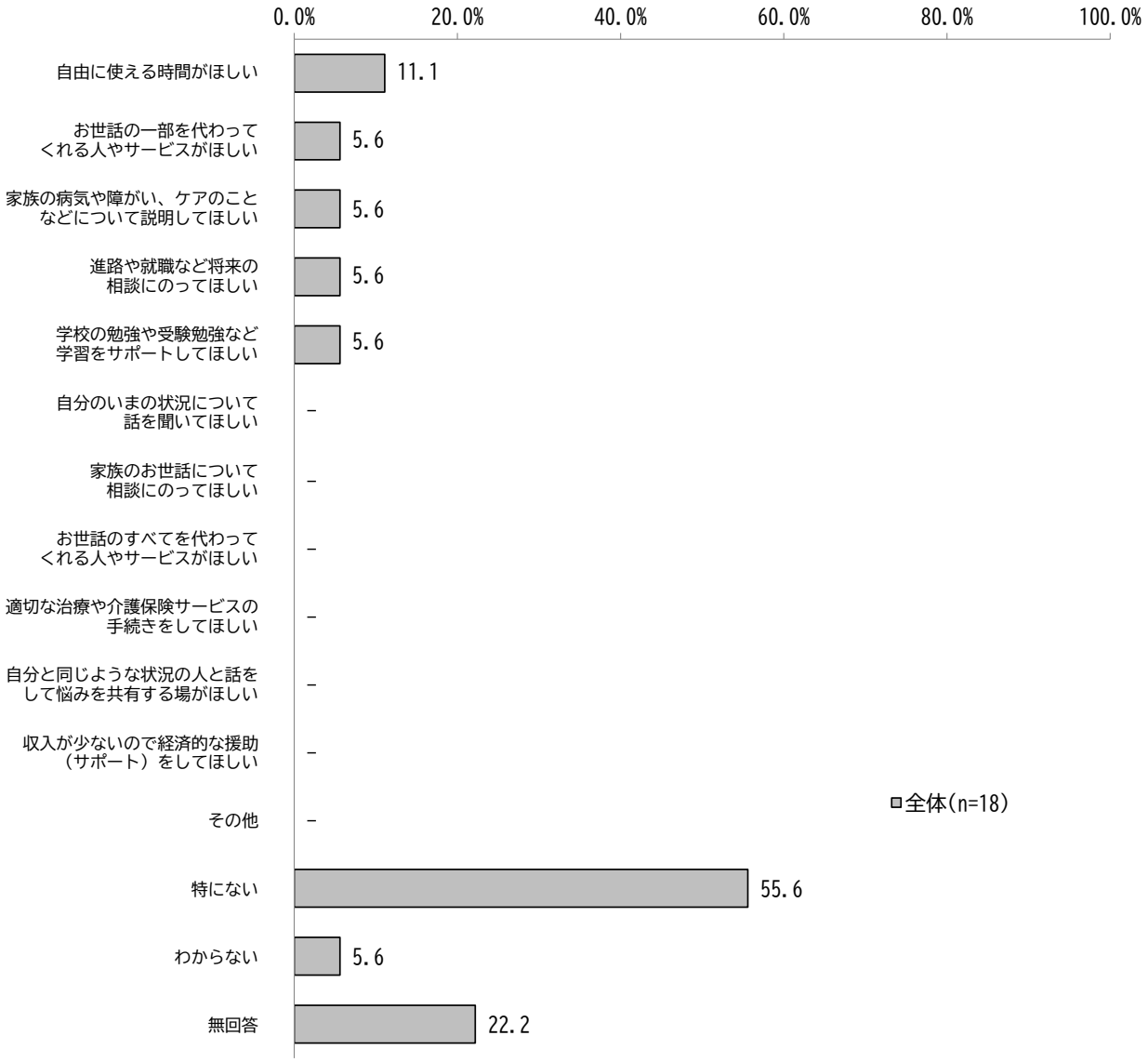
		調査数	はい	いいえ	どちらでもない	無回答
全　体		18	－	10	4	4
性別	男性	6	－	3	－	3
	女性	11	－	6	4	1
	無回答	1	－	1	－	－
家族構成	ひとり親家庭	1	－	－	－	1
	二世代世帯（ふたり親家庭）	10	－	5	3	2
	三世代以上の世帯	6	－	4	1	1
	無回答	1	－	1	－	－

２５．学校や大人にしてもらいたいこと

問２０　学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。

家族の世話をしていると回答した人に、学校や大人にしてもらいたいことについて聞いたところ、「特にない」(55.6%）の割合が最も高くなっている。「特にない」を除くと、「自由に使える時間がほしい」(11.1%)、「お世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい」と「家族の病気や障がい、ケアのことなどについて説明してほしい」と「進路や就職など将来の相談にのってほしい」と「学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい」（すべて5.6%）の順となっている。

図表ー１００　学校や大人にしてもらいたいこと



図表－１０１　性別、家族構成別　学校や大人にしてもらいたいこと

単位：件

		調査数	自分のいまの状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	お世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	お世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについて説明してほしい	適切な治療や介護保険サービスの手続きをしてほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	自分と同じような状況の人と話をして悩みを共有する場がほしい	学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい	収入が少ないので経済的な援助（サポート）をしてほしい	その他	特にない	わからない	無回答
全　体		18	－	－	－	1	1	－	2	1	－	1	－	－	10	1	4
性別	男性	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	3
	女性	11	－	－	－	1	1	－	2	1	－	1	－	－	7	－	1
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
家族構成	ひとり親家庭	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	二世代世帯（ふたり親家庭）	10	－	－	－	1	1	－	1	1	－	1	－	－	6	－	2
	三世代以上の世帯	6	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	4	－	1
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－

２６．希望する相談方法

問２１　問２０で「１．自分のいまの状況について話を聞いてほしい」「２．家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した方にお聞きします。どのような方法で話を聞いてほしい、相談にのってほしいですか。

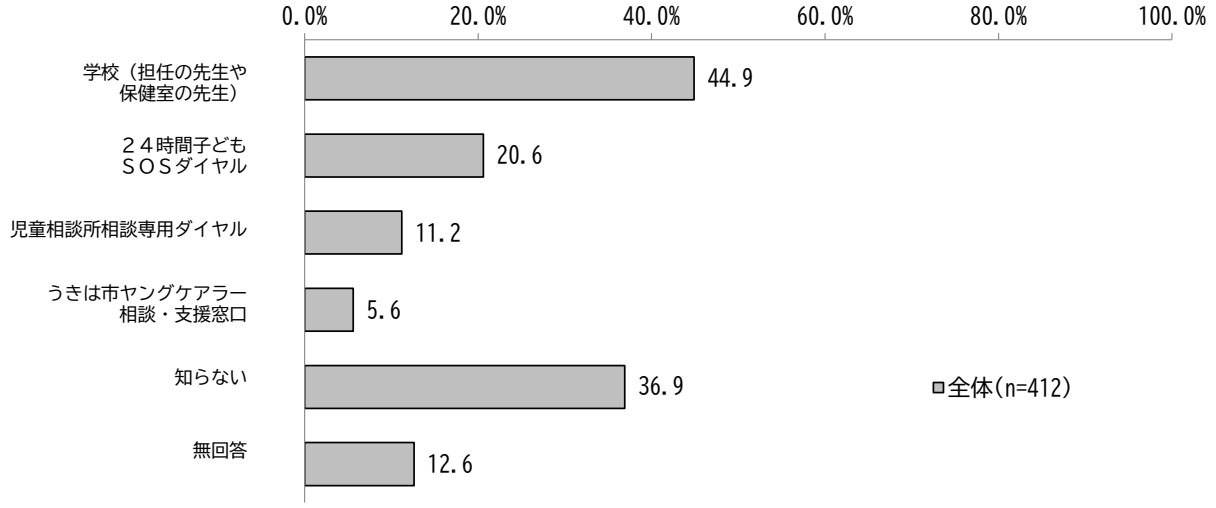
本設問の回答対象者はなし。

２７．知っている相談窓口

問２２　あなたは、家族のお世話をしている子どもが悩みを相談できる以下の相談窓口を知っていますか。

知っている相談窓口について聞いたところ、「学校（担任の先生や保健室の先生）」(44.9%)、「知らない」(36.9%)、「２４時間子どもＳＯＳダイヤル」(20.6%）の順となっている。

図表ー１０２　知っている相談窓口



知っている相談窓口について性別にみると、男性の方が「知らない」（43.4%）の割合が高くなっている。一方で女性では「知らない」を除くすべての項目において男性よりも割合が高くなっている。

家族構成別にみると、ひとり親家庭では「知らない」（21.2%）の割合が低くなっている。また、三世代以上の世帯では「学校（担任の先生や保健室の先生）」（37.1%）の割合が低くなっている。

家族の世話別には、大きな差は見られない。

図表－１０３　性別、家族構成、家族の世話別　知っている相談窓口

単位：%

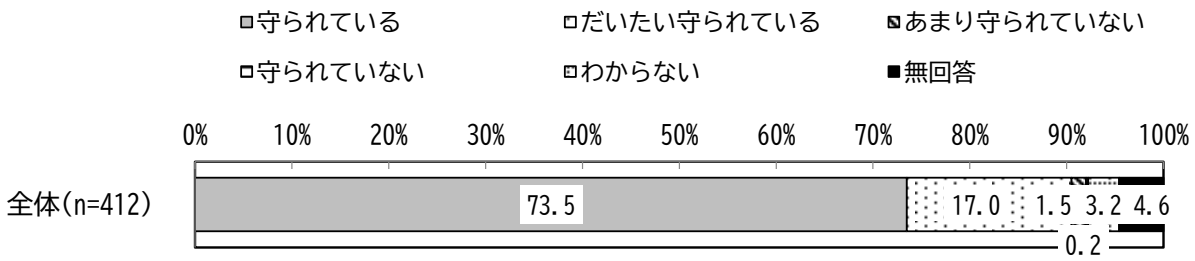
		調査数	学校（担任の先生や保健室の先生）	うきは市ヤングケアラー相談・支援窓口	24時間子どもSOSダイヤル	児童相談所相談専用ダイヤル	知らない	無回答
全　体		412	44.9	5.6	20.6	11.2	36.9	12.6
性別	男性	198	36.4	5.1	13.6	5.6	43.4	15.7
	女性	207	54.6	6.3	27.1	16.4	29.5	10.1
	答えない	6	－	－	33.3	16.7	66.7	－
	無回答	1	－	－	－	－	100.0	－
家族構成	ひとり親家庭	33	51.5	6.1	27.3	15.2	21.2	15.2
	二世代世帯（ふたり親家庭）	218	49.5	5.0	18.3	9.6	39.0	9.2
	三世代以上の世帯	159	37.1	6.3	22.0	11.9	37.1	17.0
	その他	1	100.0	－	100.0	100.0	－	－
	無回答	1	－	－	－	－	100.0	－
家族の世話	している	18	44.4	5.6	22.2	11.1	38.9	11.1
	していない	372	46.0	5.9	20.7	11.3	37.6	10.8
	無回答	22	27.3	－	18.2	9.1	22.7	45.5

２８．自身の権利が守られていると思うか

問２３　子どもの権利についての文章を読んでお答えください。あなたは、自分の権利が守られていると思いますか。

自身の権利が守られていると思うかについて聞いたところ、「守られている」（73.5%）の割合が最も高く、次いで「だいたい守られている」（17.0%）となっている。

図表－１０４　自身の権利が守られていると思うか



自身の権利が守られていると思うかについて性別にみると、「守られている」の割合は男性（77.8%）の方が高く、女性は「だいたい守られている」（19.3%）の割合が高くなっている。

家族構成別にみると、二世代世帯（ふたり親家庭）において「守られている」（78.0%）の割合が高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「守られている」（66.7%）の割合が低くなっている。

図表－１０５　性別、家族構成、家族の世話別
自身の権利が守られていると思うか

単位：%

		調査数	守られている	だいたい守られている	あまり守られていない	守られていない	わからない	無回答
全　体		412	73.5	17.0	1.5	0.2	3.2	4.6
性別	男性	198	77.8	13.6	-	-	3.5	5.1
	女性	207	70.5	19.3	2.9	0.5	2.9	3.9
	答えない	6	33.3	50.0	-	-	-	16.7
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-
家族構成	ひとり親家庭	33	69.7	18.2	-	3.0	6.1	3.0
	二世代世帯（ふたり親家庭）	218	78.0	14.2	1.4	-	2.3	4.1
	三世代以上の世帯	159	68.6	20.1	1.9	-	3.8	5.7
	その他	1	-	100.0	-	-	-	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-
家族の世話	している	18	66.7	22.2	11.1	-	-	-
	していない	372	73.7	16.9	1.1	0.3	3.2	4.8
	無回答	22	77.3	13.6	-	-	4.5	4.5

２９．自由意見

問２４　家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、こうしてほしいと思うこと、他にも困っていることがあれば自由に書いてください。

家族の世話をしている子どものために必要だと思うことや学校や周りの大人にしてもらいたいことについての自由記述は以下のとおり。

図表ー１０６　自由意見

※全回答ではなく、一部回答を抜粋して掲載
※原文掲載を基本としつつ、一部編集の上掲載

家族の世話をしている子どものために必要だと思うこと	性別	家族の世話
信じられる大人	女性	している
そういうことをしっかり知り、協力することが大事だと思う。	男性	していない
家族をお世話している子どもによりそい、保護してあげることが大事だと思う	男性	していない
周りの状況だけではなく、自分のことにも集中できる時間が必要だと思います。	男性	していない
定期的に話を聞いたり、サポートや援助をしたりすることが必要だと思う。	女性	していない
困っている人がいるのなら、誰かに話すだけでも少しは楽になると思うから、相談することが必要。	女性	していない
自分ではいいだしにくいと思うので定期的にアーケートなどをとる必要があると思う。	女性	していない
ボランティアでお世話のお手伝いをしてくれるサービス等が有れば良いと思う。	女性	していない
家族のお世話をしている子どもが〝居る〟ということを色々な人に知ってもらい、理解を深めることが必要だと思う。→学校の講演会などで知ってもらう・・・など	女性	していない
ヤングケアラーの家族に給付金をつける。	女性	していない
お手伝いやサポートを気軽に頼める環境をつくる。	女性	していない
お世話をしている子ども達が安心できるような場所を作る。	女性	していない
学校や周りの大人にしてもらいたいこと	性別	家族の世話
お世話をしている子どもの周りにいる友達や大人が支えてあげることが必要だと思う。	女性	していない
家族の方に優しく接してほしいと思います。	女性	していない
宿題をなくす。学校で時間とってみんなでやる	女性	していない
もっと大人（先生など）が、子どもによりそうことが大切だと思いました。家族のお世話をしている子どもがいることにどうすれば気づけるのかを考えることが大切。	女性	していない
家族のお世話をしている子どもの悩みを聞いたり、助けたりするおとなが必要だと思う。	男性	無回答
自身の気持ちや困っている状況について	性別	家族の世話
権利条約を定めていても、実際に幼い命が親によってうばわれるニュースが多くあります。なのでもっと大人の人が行動をしてほしいと思います。子供がかわいそうです。子供を守るなら、絶対に行動をおこしてください。そうすることで、何人もの子供の命が救われると思います。	女性	している
その他意見	性別	家族の世話
ヤングケアラーを見つけるためには、紙のアンケートなどではなく、ヤングケアラーにくわしい大人が面談を行うなどのほうが良いと思います。自分自身、このアンケートに書いても先生たちは家族間に介入できないしなと思って書かないことが多かったです。 また、子どものころにヤングケアラーとして過ごし、十分な勉強ができなかった大人がいるのなら、そういう人たちへの支援も必要なのかもしれません。	女性	していない

第４章　調査結果（学校）

１．回答者の属性

（１）回答者の役職

図表－１０７　回答者の役職

単位：件

全体	校長	教頭	主幹教諭	養護教諭	スクールカウンセラー（ＳＣ）	その他	無回答
9	8	－	－	－	－	－	1

（２）学校規模

図表－１０８　在籍者数（小学校５年生の在籍者数）

単位：人

全体	平均	最小値	最大値
7	38	22	65

図表－１０９　在籍者数（小学校６年生の在籍者数）

単位：人

全体	平均	最小値	最大値
7	34	12	57

図表ー１１０　在籍者数（中学１年生の在籍者数）

単位：人

全体	平均	最小値	最大値
2	128	102	154

図表ー１１１　在籍者数（中学２年生の在籍者数）

単位：人

全体	平均	最小値	最大値
2	121	110	132

図表ー１１２　在籍者数（中学３年生の在籍者数）

単位：人

全体	平均	最小値	最大値
2	136	121	151

２．ＳＣの派遣・配置状況

問４　ＳＣの派遣・配置状況をお教えください。

ＳＣの派遣・配置状況について聞いたところ、「その他」（6件）の件数が最も多く、次いで「週に１日程度派遣・配置している」（2件）となっている。「その他」の内容としては、「月に1回程度派遣・配置している」という内容の回答が多くを占めている。

図表ー１１３　ＳＣの派遣・配置状況

単位：件

全体	週に2日～4日派遣・配置している	週に1日程度派遣・配置している	その他	派遣・配置していない	無回答
9	-	2	6	-	1

３．校内で共有している子どものケース

問５　下記の子どもについて校内で共有しているケースはありますか。

校内で共有している子どものケースについて聞いたところ、「学校を休みがちである」、「遅刻や早退が多い」、「精神的な不安定さがある」（すべて9件）の件数が最も多くなっている。

図表ー１１４　校内で共有している子どものケース

単位：件

全体	学校を休みがちである	遅刻や早退が多い	保健室で過ごしていることが多い	精神的な不安定さがある	身だしなみが整っていない	学力が低下している	宿題や持ち物の忘れ物が多い	保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い	学校に必要なものを用意してもらえない	部活を途中でやめてしまった	修学旅行や宿泊行事等を欠席する	校納金が遅れる、未払い	その他	無回答
9	9	9	7	9	7	6	6	4	2	1	3	7	2	-

４．情報共有・対応の検討体制

問６　問５のケースについて、どのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。
最も多いケースでご回答ください。

情報共有・対応の検討体制について聞いたところ、「不登校のケースに関する校内の検討体制で検討している」（6件）の件数が最も多く、次いで「不登校以外のケースに関する校内の検討体制で検討している」（2件）となっている。

図表ー１１５　情報共有・対応の検討体制

単位：件

全体	不登校のケースに関する校内の検討体制で検討している	不登校以外のケースに関する校内の検討体制で検討している	個別に対応している（決まった検討体制はない）	無回答
9	6	2	-	1

５．情報共有・対応の検討方法

問７（１）　問６で「１．不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」、「２．不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した方にお伺いします。情報共有・対応の検討の方法をお答えください。

「不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」、「不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した学校に、情報共有・対応の検討の方法について聞いたところ、「ケース会議」（5件）の件数が最も多く、次いで「その他」（4件）、「生活指導部会など」（3件）となっている。

図表ー１１６　情報共有・対応の検討方法

単位：件

全体	学年部会	ケース会議	生活指導部会など	児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有	調整役として活動する教職員の配置・指名	その他	無回答
8	1	5	3	1	1	4	-

６．会議に参加している教職員

問７（２）　問７（１）で「１．学年部会」、「２．ケース会議」、「３．生活指導部会など」、「６．その他」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。

情報共有・対応の検討方法について、「学年部会」、「ケース会議」、「生活指導部会など」、「その他」と回答した学校に、参加している教職員を聞いた結果は以下のとおり。

図表－１１７　会議の参加者

単位：件

	全体	校長	教頭	学年主任	担任教諭	生活指導教諭	養護教諭	SC	外部の関係機関	その他	無回答
学年部会	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
ケース会議	5	4	3	－	5	2	3	1	2	－	－
生活指導部会など	3	3	3	1	2	2	3	1	－	－	－
その他	4	4	3	2	2	3	4	3	2	－	－

７．会議の頻度

問７（２）　問７（１）で「１．学年部会」、「２．ケース会議」、「３．生活指導部会など」、「６．その他」と回答した方にお伺いします。会議の頻度はどれくらいですか。

情報共有・対応の検討方法について、「学年部会」、「ケース会議」、「生活指導部会など」、「その他」と回答した学校に、会議の頻度について聞いた結果は以下のとおり。

図表－１１８　会議の頻度

単位：件

	全体	毎週	2週間に1回程度	月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	適宜	無回答
学年部会	1	－	1	－	－	－	－	－
ケース会議	5	1	－	1	－	－	3	－
生活指導部会など	3	1	－	2	－	－	－	－
その他	4	3	－	1	－	－	－	－

８．情報共有・対応の検討の体制・方法（自由記述）

問８　貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。
関わる教職員、情報共有や検討の方法について、具体的にお教えください。

情報共有・対応の検討の体制・方法についての自由記述は以下のとおり。

図表ー１１９　情報共有・対応の検討の体制・方法（自由記述）

※原文掲載を基本としつつ、一部編集の上掲載

内容	学校種別
校長、教頭、教務、養護教諭が中心となって情報を収集し、必要に応じて担任等をまじえて、対応の検討を行っている。定例の打合せは月１回程度で、何かあれば臨時で設定している。	小学校
毎週月曜日夕方の連絡会で現在気になる様子の子について、担任から報告をしてもらっている。そこで出てきた児童について、個別の対応が必要と考えられた時は、担任、管理職等の関係職員が集まり、今後の対応や役割を検討している。	小学校
毎月、児童に生活アンケートを実施し、気になる内容の児童に聞きとりを行う。聞きとりでわかった問題を、毎月のいじめ不登校対策委員会にかけて対応について話し合う。 学期に１回、保護者にも子どもの気になることについてのアンケートを実施している。気になることに関しては、電話で内容をうかがうか家庭訪問を行うかで聞きとっている。そして毎月のいじめ不登校対策委員会で話し合う。	小学校
全員に周知、徹底させるために、連絡会の中で行っている。	小学校
生徒指導担当者から、欠席・遅刻のデータの提示による欠席状況の共有と検討。 担任から、学校での様子、家庭訪問での様子を説明し、情報共有と検討。 家庭からの連絡や欠席が増えている状況、表情の変化、気になる行動がある時、主に担任からの問題提起により、ケース会議を行う。必要に応じて、外部機関への連絡と管理職からする。	小学校
毎週の教育相談部会に各学年の担当が参加し情報の共有と対応を協議。得た情報や対応を担当から各学年教職員に報告している。	中学校
担任及び学年部-生徒指導部-教育相談部会 ⇔教育相談（定期テスト毎に）、生活アンケート（月１回）、いじめアンケート（学期１回） ⇔生徒	中学校

９．外部の支援につないでいない理由

問９　問６で「個別に対応している（決まった検討体制はない）」と回答した方にお伺いします。
問５のケースについて、貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。関わる教職員、情報共有や検討の方法、頻度等について、具体的にお教えください。

本設問の回答対象者はなし。

１０．学校以外の関係機関との連携体制

問１０　問５のケースについて、学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。それぞれのケースについてお答えください。また、連携体制がある場合は、連携する関係機関を選択肢からお選びください。

学校以外の関係機関との連携体制の有無について聞いたところ、要保護児童対策地域協議会の登録ケースにおいては、「ある」が6件、「特にない」が1件となっている。

不登校のケースにおいては、「ある」が7件、「特にない」が2件となっている。

それ以外のケースにおいては、「ある」が3件、「特にない」も3件となっている。

図表ー１２０　学校以外の関係機関との連携体制の有無

単位：件

	全体	ある	特にない	無回答
要保護児童対策地域協議会の登録ケース	9	6	1	2
不登校のケース	9	7	2	-
それ以外のケース	9	3	3	3

連携体制のある学校以外の関係機関について聞いたところ、要保護児童対策地域協議会の登録ケースにおいては、「市福祉事務所子育て支援係」（6件）の件数が最も多く、次いで「児童相談所」（2件）となっている。

不登校のケースにおいては、「市福祉事務所子育て支援係」（6件）の件数が最も多く、次いで「教育センター」（5件）、「関係小学校・中学校・高等学校・教育委員会」（4件）となっている。

それ以外のケースにおいては、「市福祉事務所子育て支援係」と「教育センター」（ともに3件）の件数が最も多く、次いで「関係小学校・中学校・高等学校・教育委員会」と「社会福祉協議会」（ともに2件）となっている。

図表－１２１　連携体制のある学校以外の関係機関

単位：件

	全体	児童相談所	市福祉事務所子育て支援係	市保健部門	市その他の部門	警察や刑事司法関係機関（少年院、保護観察所など）	医療機関	訪問看護事業所	関係小学校・中学校・高等学校・教育委員会	保育園・幼稚園	教育センター	フリースクール・適応指導教室	障がい者基幹相談支援センター
要保護児童対策地域協議会の登録ケース	6	2	6	－	1	1	－	－	1	－	1	－	－
不登校のケース	7	1	6	－	1	－	2	－	4	1	5	2	－
それ以外のケース	3	1	3	－	1	－	1	－	2	－	3	1	－

	障がい者相談支援事業所	障がい者福祉サービス事業所（ホームヘルプ）	居宅介護支援事業所（ケアプラン・ケアマネージャー）	地域包括支援センター	福岡人権擁護委員協議会	弁護士会	成年後見推進センター	社会福祉協議会	民生委員・主任児童委員	子ども食堂などの民間団体・施設	福岡県外国人相談センター	その他	無回答
要保護児童対策地域協議会の登録ケース	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－
不登校のケース	－	－	－	－	－	－	－	2	3	－	－	－	－
それ以外のケース	－	－	－	－	－	－	－	2	1	－	－	－	－

１１．ヤングケアラーという概念の認識

問１１　貴校ではヤングケアラーという概念を認識していますか。

ヤングケアラーという概念の認識について聞いたところ、「言葉を知っており、学校として意識して対応している」（8件）の件数が最も多く、次いで「言葉は知っているが、学校として特別な対応はしていない」（1件）となっている。

図表ー１２２　ヤングケアラーという概念の認識

単位：件

全体	言葉を知らない	言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない	言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない	言葉を知っており、学校として意識して対応している	無回答
9	-	-	1	8	-

１２．ヤングケアラーの実態把握状況

問１２　問１１で「4．言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した方にお伺いします。ヤングケアラーと思われる子どもの実態を把握していますか。

ヤングケアラーについて「言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した学校に、ヤングケラーの実態把握状況について聞いたところ、「把握している」（5件）の件数が最も多く、次いで「該当する子どもはいない（これまでもいなかった）」（3件）となっている。

図表ー１２３　ヤングケアラーの実態把握状況

単位：件

全体	把握している	該当する子どもはいるが、その実態は把握していない	該当する子どもはいない（これまでもいなかった）	無回答
8	5	-	3	-

１３．ヤングケアラーの把握方法

問１３　問１２で「1．把握している」と回答した方にお伺いします。ヤングケアラーと思われる子どもをどのように把握していますか。

ヤングケアラーについて「把握している」と回答した学校に、ヤングケアラーの把握方法について聞いたところ、「アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている」と「特定のツールはないが、児童生徒や保護者の話や様子から把握している」（ともに2件）の件数が最も多く、次いで「その他」（1件）となっている。「その他」の内容は、「いじめ対策の個人面談で、家庭で困ったことはないかについても詳しく尋ねている」というものである。

図表ー１２４　ヤングケアラーの把握方法

単位：件

全体	アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている	特定ツールはないが、生徒や保護者の話や様子から把握している	その他	無回答
5	2	2	1	-

１４．ヤングケアラーの実態把握において工夫・苦慮していること（自由記述）

問１４　問１２で「1．把握している」と回答した方にお伺いします。ヤングケアラーの実態把握に取り組む際に工夫していること・難しいことについて、具体的にお教えください。

ヤングケアラーの実態把握において工夫・苦慮していることについての自由記述は以下のとおり。

図表ー１２５　ヤングケアラーの実態把握において工夫・苦慮していること（自由記述）

※原文掲載を基本としつつ、一部編集の上掲載

内容	学校種別
保護者へのはたらきかけが難しいので、市の子育て支援係に相談している。	小学校
子ども本人がお手伝いをするのは当たり前だと思っているところがあるので、保護者のことが悪いイメージで伝わらないように気を配る必要がある。 学校で本人から話を聞くよりも、子育て支援係の人が家の中のサポートに入ることで本当のことが初めて分かることが多い。学校は、知らない雰囲気のまま、子どもに接し、制服の替えや必要な物があれば、子育て支援係を通して渡すようにしている。	小学校
子どもの状況を把握するため、家庭の状況に立ち入った質問をすることを保護者が嫌がり、信頼関係をつくることが難しく、正確に状況がつかめない。	小学校
家庭のことなので、学校がどこまで関わっていいのか難しい。だからこそ関係機関との協力が不可欠と考える。	中学校
保護者への働きかけが難しい。	中学校

１５．ヤングケアラーと思われる子どもの有無

問１５　現在、貴校にヤングケアラーと思われる（可能性も含めて）子どもはいますか。

ヤングケアラーと思われる子どもの有無について聞いたところ、「いる」が4件、「いない」が4件、「分からない」が1件となっている。

図表ー１２６　ヤングケアラーと思われる子どもの有無

単位：件

全体	いる	いない	分からない	無回答
9	4	4	1	-

１６．ヤングケアラーと思われる子どもの状況

問１６（1）　問１５で「1．いる」と回答した方にお伺いします。ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。

ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した学校に、ヤングケアラーと思われる子どもの状況について聞いたところ、「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」（4件）の件数が最も多く、次いで「家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている」（1件）となっている。

図表ー１２７　ヤングケアラーと思われる子どもの状況

単位：件

全体	障がいや病気のある家族に代わり、家事をしている	家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている	家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている	目を離せない家族の見守りや声がけをしている	家族の通訳をしている（日本語や手話など）	家計を支えるために働き、障がいや病気のある家族を助けている	アルコール・薬物・ギャンブルなど問題のある家族に対応している	病気の家族の看病をしている	障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている	障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている	その他	無回答
4	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

１７．外部の支援につないだケースの有無

問１６（２）	問１５で「１．いる」と回答した方にお伺いします。ヤングケアラーと思われる子どもについて、具体的に学校以外の外部（教育委員会、市役所、要保護児童対策地域協議会など）の支援につないだケースはありますか。平成２７年以降でお答えください。

ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した学校に、外部の支援につないだケースの有無について聞いたところ、「市福祉事務所子育て支援係に通告したケースがある」（3件）の件数が最も多く、次いで「市福祉事務所子育て支援係以外の外部の支援につないだケースがある」（1件）となっている。

図表ー１２８　外部の支援につないだケースの有無

単位：件

全体	市福祉事務所子育て支援係に通告したケースがある	市福祉事務所子育て支援係以外の外部の支援につないだケースがある	外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）	分からない	無回答
4	3	1	－	－	－

１８．外部の支援につないでいない理由

問１７	問１６（２）で「３．外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）」と回答した方にお伺いします。その理由を教えてください。

本設問の回答対象者はなし。

１９．ヤングケアラーと思うわれる子どもの有無

問１８　問１５で「３．分からない」と回答した方にお伺いします。その理由を教えてください。

ヤングケアラーと思われる子どもがいるか「わからない」と回答した学校に、理由を聞いたところ、「その他」が１件で、その内容は「ヤングケアラーかどうかの判断が難しい」というものとなっている。

図表ー１２９　ヤングケアラーと思われる子どもがいるかわからない理由

単位：件

全体	ヤングケアラーの概念や支援対象としての認識が不足している	緊急度が高くないためヤングケアラーの実態把握が後回しになる	家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい	ヤングケアラーの子ども自身やその家族が問題を認識していない	その他	無回答
1	-	-	-	-	1	-

２０．ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと

問１９　ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。

ヤングケアラーを支援するために必要だと思うことについて聞いたところ、「子どもが教職員に相談しやすい関係をつくること」（9件）の件数が最も多く、次いで「子ども自身がヤングケアラーについて知るための教育・啓発」と「保護者がヤングケアラーについて知るための啓発・情報提供」（ともに8件）となっている。

図表ー１３０　ヤングケアラーを支援するために必要だと思うこと

単位：件

全体	子ども自身がヤングケアラーについて知るための教育・啓発	保護者がヤングケアラーについて知るための啓発・情報提供	教職員がヤングケアラーについて知ること	学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること	SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること	子どもが教職員に相談しやすい関係をつくること	ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること	学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること	学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること	ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること	福祉と教育の連携を進めること	その他	特にない	無回答
9	8	8	7	6	6	9	4	4	5	-	-	-	-	-

２１．ヤングケアラーの対応をする上で課題だと思うこと

問２０　学校でヤングケアラーの対応をする上で、課題だと思うことはどのようなことですか。

ヤングケアラーの対応をする上で課題だと思うことについて聞いたところ、「ヤングケアラーである子どもやその家族が問題を認識していない」（6件）の件数が最も多く、次いで「ヤングケアラーの子どもに関する実態の把握が困難である」（5件）、「学校においてヤングケアラーの概念や支援対象としての認識が不足している」（2件）となっている。

図表ー１３１　ヤングケアラーの対応をする上で課題だと思うこと

単位：件

	学校においてヤングケアラーの概念や支援対象としての認識が不足している	ヤングケアラーの子どもに関する実態の把握が困難である	ヤングケアラーである子どもやその家族が問題を認識していない	その他	無回答
全体	2	5	6	1	-
9					

２２．学校で今後取り組み可能なこと

問２１　ヤングケアラーを支援するにあたって、学校で、今後取り組み可能なことはどのようなことですか。

学校で今後取り組み可能なことについて聞いたところ、「教職員に対するヤングケアラーについての研修」（9件）の件数が最も多く、次いで「子ども自身へのヤングケアラーについての啓発」（8件）、「保護者に対するヤングケアラーについての啓発・情報提供」と「学校内のヤングケアラーの把握」（ともに7件）となっている。

図表ー１３２　学校で今後取り組み可能なこと

単位：件

全体	子ども自身へのヤングケアラーについての啓発	保護者に対するヤングケアラーについての啓発・情報提供	教職員に対するヤングケアラーについての研修	学校内のヤングケアラーの把握	SSWやSCなどの専門職の配置推進	子どもが教職員に相談しやすい関係の構築	ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること	学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口の設置	ヤングケアラーを支援するNPOなどとの連携	福祉に関する外部機関との連携	その他	特にない	無回答
9	8	7	9	7	6	6	2	4	－	2	－	－	－

問２１（１）　問２１について現場として優先して取り組みたいと思っている項目を優先順位が高い方から３つお教えください。

学校で今後取り組み可能なことの中から優先して取り組みたいことについて聞いたところ、優先順位１位では「教職員に対するヤングケアラーについての研修」と「学校内のヤングケアラーの把握」（ともに3件）の件数が最も多く、次いで「子どもが教職員に相談しやすい関係の構築」（2件）となっている。

図表ー１３３　優先して取り組みたいこと

単位：件

	全体	子ども自身へのヤングケアラーについての啓発	保護者に対するヤングケアラーについての啓発・情報提供	教職員に対するヤングケアラーについての研修	学校内のヤングケアラーの把握	SSWやSCなどの専門職の配置推進	子どもが教職員に相談しやすい関係の構築	ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること	学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口の設置	ヤングケアラーを支援するNPOなどとの連携	福祉に関する外部機関との連携	その他	無回答
優先順位１位	9	1	－	3	3	－	2	－	－	－	－	－	－
優先順位２位	9	2	2	2	－	－	3	－	－	－	－	－	－
優先順位３位	9	2	2	2	－	1	－	－	1	－	1	－	－

２３．学校が連携を強化していく必要がある機関

問２２　ヤングケアラーを支援するために、学校が今後、連携を強化していく必要があると思う機関について教えてください。

学校が連携を強化していく必要がある機関について聞いたところ、「市福祉事務所子育て支援係」（9件）の件数が最も多く、次いで「民生委員・主任児童委員」（7件）、「社会福祉協議会」（6件）となっている。

図表ー１３４　学校が連携を強化していく必要がある機関

単位：件

全体	児童相談所	市福祉事務所子育て支援係	市保健部門	市その他の部門	警察や刑事司法関係機関（少年院、保護観察所など）	医療機関	訪問看護事業所	関係小学校・中学校・高等学校・教育委員会	保育園・幼稚園	教育センター	フリースクール・適応指導教室	障がい者基幹相談支援センター
9	5	9	3	-	-	1	-	5	3	5	2	-

障がい者相談支援事業所	障がい者福祉サービス事業所（ホームヘルプ）	居宅介護支援事業所（ケアプラン・ケアマネージャー）	地域包括支援センター	福岡人権擁護委員協議会	弁護士会	成年後見推進センター	社会福祉協議会	民生委員・主任児童委員	子ども食堂などの民間団体・施設	福岡県外国人相談センター	その他	無回答
-	-	-	-	1	-	-	6	7	1	-	-	-

問２２（１）　問２２について現場として優先して連携強化していきたいと思っている機関を優先順位が高い方から３つお教えください。

学校が連携を強化していく必要がある機関の中から優先して連携強化したい機関について聞いたところ、優先順位１位では「市福祉事務所子育て支援係」（7件）の件数が最も多く、次いで「関係小学校・中学校・高等学校・教育委員会」と「教育センター」（ともに1件）となっている。

図表－１３５　優先して連携強化したい機関

単位：件

	全体	児童相談所	市福祉事務所子育て支援係	市保健部門	市その他の部門	警察や刑事司法関係機関（少年院、保護観察所など）	医療機関	訪問看護事業所	関係小学校・中学校・高等学校・教育委員会	保育園・幼稚園	教育センター	フリースクール・適応指導教室	障がい者基幹相談支援センター
優先順位１位	9	－	7	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－
優先順位２位	9	1	1	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－
優先順位３位	9	1	1	－	－	－	－	－	1	－	2	－	－

	障がい者相談支援事業所	障がい者福祉サービス事業所（ホームヘルプ）	居宅介護支援事業所（ケアプラン・ケアマネージャー）	地域包括支援センター	福岡人権擁護委員協議会	弁護士会	成年後見推進センター	社会福祉協議会	民生委員・主任児童委員	子ども食堂などの民間団体・施設	福岡県外国人相談センター	その他	無回答
優先順位１位	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
優先順位２位	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－	－	－	－
優先順位３位	－	－	－	－	1	－	－	－	2	－	－	－	1

２４．自由意見

問２３　ヤングケアラーに関して、ご意見・ご提案・ご要望等あればご自由にお答えください。

ヤングケアラーに関する意見・提案・要望についての自由記述は以下のとおり。

図表－１３６　自由意見

※原文掲載を基本としつつ、一部編集の上掲載

内容	学校種別
子どもは親のため家族のためにすることは当たり前だとやはり思う。それをヤングケアラーだと手をあげることは、とても難しいと思う。家族も知っていても頼らざるを得ない状況だと思うので、福祉、各地区の民生委員さん等と学校が連携していかなければ、明らかにならないと思う。	小学校
把握や対応が難しい問題ですので関係機関と連携し解決に向けて取り組むべきと考えます。	小学校
子ども自身へのヤングケアラーについての啓発について、人権擁護委員協議会の方がかかわっていただけたらと考えました。	小学校
気づいた人が、行動すること、どこにどう相談したらよいのか周知することが大切だと思います。	中学校

第５章　調査結果のまとめ

１．児童生徒アンケート

（１）世話をしている家族がいる児童生徒

児童生徒アンケートにおいて、家族の世話をしていると回答した児童生徒の割合は、小学生10.7%、中学生4.4%となっている。

調査時期や調査対象の抽出方法及び調査手法等の前提条件の違いのため、厳密な比較は難しいものの、本市の調査結果と全国の調査結果と比較すると、本市は家族の世話をしていると回答した小学生の割合が全国よりやや高いという結果となっている。ただし、これは回答者が「世話」をより幅広く捉え、世話の頻度が不定期なケース等の負担が軽度な層からも一定程度の回答が得られたことによる影響もあると考えられる。

図表－１３７　家族の世話をしていると回答した児童生徒の割合（全国との比較）

	小学生	中学生
うきは市(令和5年度)	10.7%	4.4%
全国(令和2年度･3年度)	6.5%	5.7%

家族の世話をしていると回答した児童生徒の割合は上記のとおりであるが、一方で、家族の世話をしているために、やりたいけれどできないことがあると回答した児童生徒の割合は、小学生2.2%、中学生1.0%となっている。

上記と同じく、厳密な比較は難しいものの、本市における家族の世話をしているために、やりたいけれどできないことがあると回答した児童生徒の割合は、全国調査と比較して小学生、中学生ともに近い水準であるという結果となっている。

図表－１３８　家族の世話をしているために、やりたいけれどできないことがあると回答した児童生徒の割合（全国との比較）

	小学生	中学生
うきは市(令和5年度)	2.2%	1.0%
全国(令和2年度･3年度)	1.8%	1.8%

このように、本市の調査結果では、小学生においては、家族の世話をしていると自覚している層が全国調査より多い一方で、家族の世話について強度の負担を感じている層は全国調査と近い水準であり、負担の軽度な層が一定数含まれていることが考えられる。中学生においては、家族の世話をしていると自覚している層、家族の世話について強度の負担を感じている層、ともに全国調査と近い水準となっている。

家族の世話をしているために、やりたいけれどできないことがある負担の重い層については、早急な対応が求められる。一方で、負担の軽度な層に関しても、未然防止の観点での支援が必要となる。

（２）家族の世話の実態

小学生では、世話の対象として「きょうだい」の割合が最も高く、世話の内容については「見守り」や「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」の割合が高いため、幼いきょうだいの世話や見守りをしている児童が多いと読み取れる。

中学生では、小学生と比較して、世話の対象における「母親」や「父親」の割合が増えており、世話の内容は「家事」の割合が高くなっていることから、両親に代わって家事を担うようになった生徒が多いと読み取れる。

世話をする頻度についてみると、小学生・中学生ともに「ほぼ毎日」の割合が50％以上と最も高く、世話の頻度の高い児童生徒が多いことが読み取れる。また、平日１日あたりの世話に費やす時間についてみると、小学生・中学生ともに「３時間未満」の割合が50％程度と最も高くなっている一方で、「７時間以上」と回答した児童生徒も一部いる。

（３）家族の世話による影響

家族の世話別に欠席や遅刻・早退状況をみると、小学生・中学生ともに家族の世話をしている人の方が欠席や遅刻・早退をする傾向にあることが読み取れる。

同様に家族の世話別に学校生活であてはまるものをみると、小学生・中学生ともに家族の世話をしている人の方が宿題・課題や持ち物、提出物等を忘れてしまう傾向にあり、自分自身の宿題・課題に取り組んだり学校に必要な物の準備をしたりする余裕がないことが読み取れる。

また、悩んでいることについては、小学生・中学生ともに家族の世話をしている人の方が「特にない」の割合が低く、家族の世話をしていない人と比べて何らかの悩みを抱えている傾向にあることが読み取れる。悩んでいる内容としては、友人関係や家族関係、自分の時間の少なさ、進路等が多くなっている。

その他に、自身の権利が守られていると思うかについてみると、小学生・中学校ともに家族の世話をしている人の方が自身の権利が守られていると思う人の割合が少なく、家族の世話が子どもの権利に影響を及ぼしていることが読み取れる。

図表－１３９　家族の世話別　自身の権利が守られていると思うか

単位：％

		調査数	守られている	だいたい守られている	あまり守られていない	守られていない	わからない	無回答
小学生　全体		366	74.6	15.3	0.8	0.3	6.6	2.5
家族の世話	している	39	59.0	17.9	5.1	2.6	10.3	5.1
	していない	299	77.9	15.4	－	－	5.7	1.0
	無回答	28	60.7	10.7	3.6	－	10.7	14.3
中学生　全体		412	73.5	17.0	1.5	0.2	3.2	4.6
家族の世話	している	18	66.7	22.2	11.1	－	－	－
	していない	372	73.7	16.9	1.1	0.3	3.2	4.8
	無回答	22	77.3	13.6	－	－	4.5	4.5

（４）支援ニーズ

家族の世話をしている人が必要とする支援については、小学生・中学生ともに「特にない」の割合が最も高いものの、小学生では「自分のことについて話を聞いてほしい」、「自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい」、「勉強を教えてほしい」について、中学生では「自由に使える時間がほしい」について一定のニーズがあることが読み取れる。

上記から、家族の世話をしている児童生徒には、「自分の状況について傾聴してもらう場」や「世話などの負担を軽減し、時間面での余裕をつくること」、「勉強や進路に関するサポート」等が必要とされていることが読み取れる。

２．学校アンケート

（１）ヤングケアラーの認知度

学校アンケートでは、回答したすべての学校がヤングケアラーという概念を知っていると回答しており、教育の現場におけるヤングケアラーの認知度は高いものと考えられる。一方で、ヤングケアラーの支援に必要だと思うこととして「教職員がヤングケアラーについて知ること」の件数が多かったことや、学校で優先して取り組みたいことでは「教職員に対するヤングケアラーについての研修」の件数が多かったことを踏まえると、学校単位ではヤングケアラーという概念の認識は進んでいるが、教職員単位ではヤングケアラーに対する理解をより深めていく必要があるということが読み取れる。

また、ヤングケアラーの支援に必要だと思うこととして「児童・生徒へのヤングケアラーについての啓発」や「保護者に対するヤングケアラーについての啓発・情報提供」の割合も高かったことを踏まえると、教職員のみならず、社会全体でのヤングケアラーについての認知度の向上が必要とされていることが読み取れる。

（２）ヤングケアラーの把握・支援の状況

回答した 9 校のうち、5 校がヤングケアラーと思われる児童生徒を把握していると回答した。そのうち「アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている」と回答した学校は 2 校であり、自由回答の内容から児童生徒向けの生活アンケート等を活用していることが分かる。他の学校は、「生徒や保護者の話や様子」、「個人面談でのヒアリング」から把握していると回答している。

9 校中 4 校が、ヤングケアラーと思われる児童生徒がいると回答しており、そのうち 3 校が市福祉事務所子育て支援係につなぎ、残りの 1 校も他の外部の支援につないでいる。また、大半の学校が学校以外の関係機関との連携体制があると回答していることからも、学校と関係機関との連携体制については、一定の水準に達していると考えられる。

また、ヤングケアラーと思われる児童生徒がいるか分からないと回答した学校が 1 校ある。その理由として「ヤングケアラーかどうかの判断が難しい」と回答しており、ヤングケアラーと家庭内でのお手伝いとの線引きに苦慮していることが読み取れる。

（３）ヤングケアラーの支援上の課題・今後の取組

ヤングケアラーの対応における課題としては、「ヤングケアラーである子どもやその家族が問題を認識していない」や「ヤングケアラーの子どもに関する実態の把握が困難である」の件数が多くなっている。また、ヤングケアラーの支援に必要だと思うことでは「子どもが教職員に相談しやすい関係をつくること」の件数が最も多かったことを踏まえると、学校での実態把握にはハードルがあり、児童生徒本人や家庭から相談してもらえる環境づくりが重要だと考えられる。

連携強化すべき機関では 9 校すべての学校が「市福祉事務所子育て支援係」と回答しており、学校がヤングケアラーについて相談する先として「市福祉事務所子育て支援係」に期待が寄せられていることが読み取れる。また、「民生委員・主任児童員」の件数も多く、地域単位での実態把握や支援が望まれていると考えられる。

３．総括

（１）家族の世話の実態と学校生活等への影響

今回の児童生徒アンケートで家族の世話をしていると回答した人の割合は、小学生において、全国調査よりも高い比率となった。ただ、この結果には世話の負担が軽度な層も一定数含まれていることが考えられる。世話によってやりたいけれどできないことがあると回答した人は回答者全体の 1～2%程度を占めており、特に支援を必要とする層であると推測される。

世話の内容としては、幼いきょうだいの見守りが中心である一方で、中学生では両親に代わって家事を担う人の割合が増加している。

家族の世話は児童生徒の生活に大きく影響しており、家族の世話をしている人の方が、世話をしていない人と比べて、欠席や遅刻・早退が多く提出物の提出が遅れる等の学校生活における課題や、友人関係や家族関係の悩みを抱える割合が高くなっている。また、学業成績や中学生では進路希望に関しても影響している状況が把握された。その他に、家族の世話をしている人の方が自身の権利が守られていると思う割合が低くなっており、家族の世話が子どもの権利にも影響していることが読み取れる。

（２）把握・支援の状況

学校では、生活アンケートなどのツールや、本人や保護者の話・様子から、ヤングケアラーではないかと気付くことがある一方で、より踏み込んだ実態把握に難航している状況がある。また、ヤングケアラーとお手伝いとの線引きが難しいという意見もみられる。

支援にあたっての関係機関同士の連携体制は一定水準で整備されており、学校でヤングケアラーに気付いた場合、市福祉事務所子育て支援係を中心に外部の関係機関につなぐことができている。

（３）今後の課題

家族の世話をしている人が希望する支援としては、「自分のことについて話を聞いてほしい」、「自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい」、「勉強を教えてほしい」、「自由に使える時間がほしい」等が挙げられており、世話による学校生活等への影響も踏まえると、「自分の状況について傾聴してもらう場」や「世話などの負担を軽減し、時間面での余裕をつくること」、「勉強や進路に関するサポート」が求められていることが分かる。

また、学校での一方的な実態把握には限界があることから、地域単位での実態把握に向けた関係機関の連携体制の強化や、本人や家族から声をあげることができるようにヤングケアラーに関する啓発やサポート体制の周知が必要と考えられる。

参考資料　調査票

（1）小学生

児童生徒の生活に関するアンケート調査（小学生）

Ⅰ．あなたについて

問1　あなたの学年を教えてください。（あてはまる番号1つに○）

1.小学5年	2.小学6年

問2　あなたの性別を教えてください。（あてはまる番号1つに○）

1. 男子	2. 女子	3. その他	4. 答えない

問3　あなたが現在一緒に住んでいるのは誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. お母さん	2. お父さん	3. おばあさん	4. おじいさん
5. 兄・姉⇒(　　)人	6. 弟・妹 ⇒(　　)人	7. その他(　　)	

問4　あなたの健康状態について教えてください。（あてはまる番号1つに○）

1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5. よくない

※次のページへ

1

Ⅱ. ふだんの生活について

問5　あなたは学校を欠席したり、遅刻や早退をしたりすることがありますか。（病気の場合を除く）

（1）欠席について（あてはまる番号1つに○）

1. ほとんど欠席しない	2. たまに欠席する	3. よく欠席する

（2）遅刻や早退について（あてはまる番号1つに○）

1. ほとんどしない	2. たまにする	3. よくする

問6　放課後、習い事をしていますか。（あてはまる番号1つに○）

1. はい	2. いいえ

問7　ふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 授業中に寝てしまうことが多い	2. 宿題ができていないことが多い
3. 持ち物の忘れ物が多い	4. 習い事を休むことが多い
5. 提出物を出すのが遅れることが多い	6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
7. 保健室で過ごすことが多い	8. 学校では一人で過ごすことが多い
9. 友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	10.家のことが気になって落ち着けないことが多い
11. 特にない	

問8　あなたが悩んでいることはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1.友達のこと	2.学校の成績のこと
3.習い事のこと	4.家族のこと
5.生活や勉強に必要なお金のこと	6.自分のために使える時間が少ないこと
7.その他（　　）	8.特にない　⇒問10へ

問9　問8 で 1. ～7. のいずれかに○をつけた人にお聞きします。○をつけた悩みについて、話を聞いてくれる人はいますか。（あてはまる番号1つに○）

1. いる	2. いない	3. 話はしたくない

Ⅲ. 家庭や家族のことについて

問10　家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。（ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話のことを指します）（あてはまる番号1つに○）

1. いる　　2. いない⇒問20へ

問11　問10で「1. いる」と答えた人にお聞きします。あなたは誰にどのようなお世話をしていますか。

（1）お世話をしている人（あてはまる番号すべてに○）

1. お母さん
2. お父さん
→（2）①の質問へ進んでください

3. おばあさん
4. おじいさん
→（2）②の質問へ進んでください

5. きょうだい
→（2）③の質問へ進んでください

6. その他（　　）
→（2）④の質問へ進んでください

お世話をしている人が何人かいる場合には、それぞれについてお答えください。

（2）お世話を必要としている人の状況について教えてください。

① お母さん、あるいはお父さんをお世話している人にお聞きします。お母さん、お父さんはどのような状態ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 高齢（65歳以上）
2. 介護（食事や身の回りの世話）が必要
3. 認知症
4. 身体障害
5. 知的障害
6. こころの病気（うつ病など）
7. お酒やギャンブルで困っている
8. 6、7以外の病気
9. 日本語が苦手
10. 仕事が忙しく、つかれている
11. お母さんが妊娠中・乳幼児がいる
12. その他（　　）
13. わからない

(2)お世話をしている方の状況やあなたが行っているお世話について教えてください。

① 母親、父親をお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 高齢(65歳以上)	2. 介護(食事や身の回りの世話)が必要
3. 認知症	4. 身体障害
5. 知的障害	6. 精神科の病気
7. お酒やギャンブルの問題がある	8. 6、7以外の病気
9. 日本語が苦手	10. 仕事が忙しく、つかれている
11. 母親が妊娠中・乳幼児がいる	12. その他(　　)
13. わからない	

② 祖父、祖母をお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 高齢(65歳以上)	2. 介護(食事や身の回りの世話)が必要
3. 認知症	4. 身体障害
5. 知的障害	6. 精神科の病気
7. お酒やギャンブルの問題がある	8. 6、7以外の病気
9. 日本語が苦手	10. その他(　　)
11. わからない	

③ きょうだいをお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 幼い	2. 介護(食事や身の回りのお世話)が必要
3. 身体障害	4. 知的障害
5. 病気	6. 日本語が苦手
7. その他(　　)	8. わからない

(3)あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話をしている人が何人かいる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。

1. 家事(食事の準備や掃除、洗濯)	2. きょうだいのお世話や送り迎え
3. 入浴やトイレのお世話	4. 買い物や散歩に一緒に行く
5. 病院へ一緒に行く	6. 話を聞く
7. 見守り	8. 通訳(日本語や手話など)
9. お金の管理	10. 薬の管理
11. その他(　　)	

(4)あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。何人かお世話をしている人がいる場合には、あてはまる番号すべてに○をしてください。

1.お母さん	2.お父さん	3.おばあさん	4.おじいさん
5.きょうだい	6.しんせきの人	7.自分のみ	
8.福祉サービス(ヘルパーなど)を利用		9.その他(　　)	

(5)あなたは何才からお世話をしていますか。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年でかまいません)

(　　)才から

(6)あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1 つに○)

1. ほぼ毎日	2. 週に3～5日	3. 週に1～2日
4. 1ヶ月に数日	5. その他(　　)	

(7)あなたは学校のある日に何時間くらいお世話をしていますか。日によって違う場合は、この 1ヶ月でいちばん長かった日の時間を教えてください。(数字を記入)

1日(　　)時間くらい

問12　お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 学校に行きたくても行けない	2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう
3. 宿題など勉強する時間がない	4. 学校の行事や活動に参加できない
5. 眠る時間が足りない	6. 友だちと遊ぶことができない
7. 習い事ができない	8. 自分の時間が取れない
9. その他（　　）	10. 特にない

問13　お世話をすることに大変さを感じていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1.体力の面で大変	2.気持ちの面で大変	3.時間の余裕がない	4.特に大変さは感じていない

問14　あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

1. ある　⇒**問15へ**	2. ない　⇒**問16へ**

問15　問14で「1. ある」と答えた人にお聞きします。それは誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1.家族（お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、きょうだい）	2.しんせき（おじさん、おばさんなど）
3.友だち	4.学校の先生（保健室の先生以外）
5.保健室の先生	6.スクールカウンセラー（学校で先生以外に相談を聞いてくれる大人）
7.病院・医療・福祉サービスの人	8.近所の人
9.ＳＮＳ（LINEなど）上での知り合い	10.市役所の人
11.民生委員・児童委員の人	12.その他（　　）

⇒問15を回答したら問18へ進んでください

問16　問14で「2. ない」と答えた人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

1.相談するほどの悩みではないから	2.誰に相談するのがよいかわからないから
3.相談できる人がいないから	4.家族のことを話したくないから
5.家族から他人に相談しないように言われているから	6.家族に対して嫌な思いを持たれたくないから
7.相談しても何も変わらないから	8.その他（　　）

6

問17 問14 で「2. ない」と答えた人にお聞きします。あなたがお世話している家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。（あてはまる番号1 つに○）

1.いる	2.いない

問18 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1.自分のことについて話を聞いてほしい
2.家族のお世話について相談にのってほしい
→ 問19 へ

3.自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい（ヘルパーなど）
4.自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい（ヘルパーなど）
⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか（　　）
5.家族の病気や障害、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
6.自由に使える時間がほしい
7.勉強を教えてほしい
8.お金の面で支援してほしい
9.その他（　　）
10.特にない
11.わからない
→ 問20 へ

問19 問18 で「1. 自分のことについて話を聞いてほしい」または「2.家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 直接会って	2. 電話	3. ＳＮＳ（LINEなど）
4. 電子メール	5. その他（　　）	

問20 子どもの権利について下の文章を読んでお答えください。

「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」では、以下のような権利を子どもに保障しており、子どもにとって一番いいことは何かということを大事にしなければならないとうたっています。

【生きる権利】

栄養のある食事をとったり、病気やけがをしたら治療を受けられること。など

【育つ権利】

教育を受け、休んだり遊んだりできること。

考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができること。など

【守られる権利】

あらゆる種類の差別やまわりからの暴力から守られること。など

【参加する権利】

自由に意見を言ったり、いろいろな活動に参加したりできること。など

あなたは、自分の権利が守られていると思いますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 守られている	2. だいたい守られている	3. あまり守られていない
4. 守られていない	5. わからない	

問21 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、こうしてほしいと思うこと、他にも困っていることがあれば自由に書いてください。

8

問22 最後に、家族のお世話について悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「何かしてほしい」と思っている人のみ、こちらに学校名とお名前を書いてください。

※こちらにお名前を書いた場合、うきは市がお名前やアンケートの内容を確認し、お話を聞かせてもらうために、学校経由で連絡をする可能性があります。個人情報は守られますので、安心してください。

学校名:
お名前:

家族のお世話をすることは、とても価値のある大切なことです。ただ、お世話の負担が大きいと気持ちや体力の面で大変な思いをすることがあるかもしれません。

あなた自身、あるいは友だちなどで、家族のお世話をすることで悩みや心配なことがある場合には、学校の先生などへ相談してください。

－アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございました。－

相談したいけど問22 に書きたくない人は、直接「うきは市子ども家庭相談室」(電話：0943-73-9151)に電話することもできます。うきは市役所　子ども家庭総合支援拠点につながります。子どもの相談を受ける専門の相談員が対応するので安心してください。そうじや料理、家のことのお手伝いもできます。

9

（2）中学生

児童生徒の生活に関するアンケート調査（中学生）

Ⅰ．あなたについて

問1　あなたの学年を教えてください。（あてはまる番号1つに○）

1.中学1年	2.中学2年	3.中学3年

問2　あなたの性別を教えてください。（あてはまる番号1 つに○）

1.男性	2.女性	3.その他	4.答えない

問3　あなたが現在一緒に住んでいる家族について教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 母親	2. 父親	3. 祖母	4. 祖父
5. 兄・姉⇒(　　)人	6. 弟・妹 ⇒(　　)人	7. その他(　　)	

問4　あなたの健康状態について教えてください。（あてはまる番号1 つに○）

1. よい	2. まあよい	3. ふつう	4. あまりよくない	5.よくない

※次のページへ

Ⅱ. 普段の生活について

問5　学校への通学状況（病気の場合を除く）について教えてください。（あてはまる番号1つに○）

（1）欠席の状況

1. ほとんど欠席しない	2. たまに欠席する	3. よく欠席する

（2）遅刻や早退の状況

1. ほとんどしない	2. たまにする	3. よくする

問6　部活動（学校外での活動を含む）や習い事をしていますか。（あてはまる番号1つに○）

1. はい	2. いいえ

問7　普段の学校生活であてはまるものはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 授業中に居眠りすることが多い	2. 宿題や課題ができていないことが多い
3. 持ち物の忘れ物が多い	4. 部活動や習い事を休むことが多い
5. 提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い	
6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する	7. 保健室で過ごすことが多い
8. 学校では一人で過ごすことが多い	9. 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
10. 家のことが気になって落ち着けないことが多い	11. 特にない

問8　現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 友人との関係のこと	2. 学業成績のこと
3. 進路のこと	4. 部活動のこと
5. 学費など学校生活に必要なお金のこと	6. 塾（通信含む）や習い事のこと（行きたくても行けないなど）
7. 家庭の経済的状況のこと	8. 自分と家族との関係のこと
9. 家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	10. 病気や障害のある家族のこと
11. 自分のために使える時間が少ないこと	12. その他（　　）
13. 特にない　⇒問10へ	

2

問9　問8 で 1.～12. のいずれかを回答した方にお聞きします。回答した悩みや困りごとについて、相談にのってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。（あてはまる番号1 つに○）

1. 相談相手や話を聞いてくれる人がいる	2. 相談相手や話を聞いてくれる人がいない
3. 相談や話をしたくない	

問10　進路希望についておたずねします。あなたは将来どの学校まで行きたいと思いますか。（あてはまる番号1 つに○）

1. 中学校まで	2. 高校まで	3.短期大学・専門学校まで	4. 大学・大学院まで
5. その他（　　）	6. わからない		

Ⅲ. 家庭や家族のことについて

問11　家族の中にあなたがお世話をしている方はいますか。（ここで「お世話」とは本来、大人がすると考えられる食事のしたく、洗たくなどの家事や家族のお世話などを日常的にすることです。）（あてはまる番号1 つに○）

1. いる	2. いない　⇒問22 へ

問12　問11 で「1. いる」と回答した方にお聞きします。お世話の状況について教えてください。

（1）お世話をしている方（あてはまる番号すべてに○）

1. 母親　2. 父親	（2）①の質問へ進んでください
3. 祖母　4. 祖父	（2）②の質問へ進んでください
5. きょうだい	（2）③の質問へ進んでください
6. その他（　　）	（2）④の質問へ進んでください

※次のページへ

お世話をしている人が何人かいる場合には、それぞれについてお答えください。

(2)お世話をしている方の状況やあなたが行っているお世話について教えてください。

① 母親、父親をお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 高齢(65歳以上)	2. 介護(食事や身の回りの世話)が必要
3. 認知症	4. 身体障害
5. 知的障害	6. 精神科の病気
7. お酒やギャンブルの問題がある	8. 6、7以外の病気
9. 日本語が苦手	10. 仕事が忙しく、つかれている
11. 母親が妊娠中・乳幼児がいる	12. その他(　　)
13. わからない	

② 祖父、祖母をお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 高齢(65歳以上)	2. 介護(食事や身の回りの世話)が必要
3. 認知症	4. 身体障害
5. 知的障害	6. 精神科の病気
7. お酒やギャンブルの問題がある	8. 6、7以外の病気
9. 日本語が苦手	10. その他(　　)
11. わからない	

③ きょうだいをお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 幼い	2. 介護(食事や身の回りのお世話)が必要
3. 身体障害	4. 知的障害
5. 病気	6. 日本語が苦手
7. その他(　　)	8. わからない

④「その他」の人をお世話している方にお聞きします。それはどのような理由ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 高齢（65歳以上）	2. 幼い
3. 介護（食事や身の回りのお世話）が必要	4. 認知症
5. 身体障害	6. 知的障害
7. 精神科の病気	8. お酒やギャンブルの問題がある
9. 7、8以外の病気	10. 日本語が苦手
11.その他（　　）	12. わからない

（3）あなたがしているお世話の内容を教えてください。何人かいる場合はあてはまる番号を選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 家事（食事の準備や掃除、洗たくなど）	2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など	
3. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	4. 外出の付き添い（買い物、散歩など）	
5. 病院への付き添い	6. 感情面のサポート（患痴を聞く、話し相手になるなど）	
7. 見守り	8. 通訳（日本語や手話など）	9. お金の管理
10. 薬の管理	11. その他（　　）	

（4）お世話は誰と行っていますか。何人かいる場合はあてはまる番号を選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 母親	2. 父親	3. 祖母	4. 祖父
5. きょうだい	6. 親戚の人	7. 自分のみ	8. 福祉サービス（ヘルパーなど）を利用
9. その他（　　）			

（5）お世話を始めたあなたの年齢をお答えください。（はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません）

（　　）歳から

（6）どれくらいお世話をしていますか。（あてはまる番号1つに○）

1. ほぼ毎日	2. 週に3～5日	3. 週に1～2日
4. 1ヶ月に数日	5. その他（　　）	

5

(7)平日に何時間程度お世話を行っていますか。日によって異なる場合は、この 1ヶ月で最も長かった日の時間をお答えください。(数字を記入)

1日(　　)時間程度

問13　お世話をしているために、やりたいけど、できていないことはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校に行きたくても行けない	2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう
3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない	4. 学校の行事や活動に参加できない
5. 睡眠が十分に取れない	6. 友人と遊ぶことができない
7. 部活動や習い事ができない、もしくはやめなければならなかった	8. 進学先や就職などの進路の変更を考えないといけない、または進路を変更した
9. 自分の時間が取れない	10. その他(　　)
11. 特にない	

問14　お世話をするなかで何につらさ・ストレスを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 体力面	2. 精神面	3. 時間的に余裕がない	4.特につらさは感じていない

問15　お世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。
(あてはまる番号1つに○)

1. ある　⇒問16へ	2. ない　⇒問17へ

6

問16　問15 で「1. ある」と回答した方にお聞きします。悩みを相談した相手は誰ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1.家族（母親、父親、祖母、祖父、きょうだい）	2. 親戚（おば、おじなど）
3. 友人	4. 学校の先生（保健室の先生以外）
5. 保健室の先生	6. スクールカウンセラー
7. 医師や看護師、その他病院の人	8.ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人
9. 市役所の人	10. 民生委員・児童委員の人
11. 近所の人	12. SNS上での知り合い
13. その他（　　）	⇒問16 を回答したら問19 へ進んでください

問17　問15 で「2. ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 誰かに相談するほどの悩みではない
2. 家族以外の人に相談するような悩みではない
3. 誰に相談するのがよいかわからない
4. 誰かに相談したいが、相談できる人が身近にいない
5. 誰かに相談したいが、家族のことのため話しにくい
6. 家族のことを知られたくない
7. 家族に対して偏見をもたれたくない
8. 誰かに相談したいが、家族から他人に相談しないように言われている
9. 誰かに相談したいが、家族に対して嫌な思いを持たれたくない
10. 相談しても状況が変わるとは思わない
11. その他（　　）

問18　問15 で「2. ない」と回答した方にお聞きします。お世話を必要としている家族のことや、お話の悩みを聞いてくれる人はいますか。（あてはまる番号1 つに○）

1. いる	2. いない

7

問19　あなたは家族のお世話をしている者同士で話してみたいですか（オンラインサロンなど）。（あてはまる番号1 つに○）

※オンラインサロンとは、ウェブサービスや SNS などのオンラインでつながって悩みや不安を打ち明けるコミュニティのことを指します。

1. はい	2. いいえ	3. どちらでもない

問20　学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談にのってほしい

→問21へ

3. 自分の行っているお世話（ケア）のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい（ヘルパーなど）
4. 自分の行っているお世話（ケア）の一部を代わってくれる人やサービスがほしい（ヘルパーなど）

   ⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか（　　）

5. 家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
6. 家族が適切な治療や介護保険サービスを受けられるよう手続きをしてほしい
7. 自由に使える時間がほしい
8. 進路や就職など将来の相談にのってほしい
9. 自分と同じような状況の人と話をして悩みを共有する場がほしい
10. 学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい
11. 収入が少ないので経済的な援助（サポート）をしてほしい
12. その他（　　）
13. 特にない
14. わからない

→問22へ

8

問21 問20 で「1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい」「2. 家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した方にお聞きします。どのような方法で話を聞いてほしい、相談にのってほしいですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 直接会って	2. 電話	3. SNS
4. 電子メール	5.その他(　　)	

問22 あなたは、家族のお世話をしている子どもが悩みを相談できる以下の相談窓口を知っていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 学校（担任の先生や保健室の先生）
2. うきは市ヤングケアラー相談・支援窓口（TEL：0943-73-9151）
   （うきは市の相談窓口です）
3. 24時間子ども SOS ダイヤル（TEL：0120-0-78310）
   （心の教育センターの 24時間対応の電話相談窓口です）
4. 児童相談所相談専用ダイヤル（TEL：0120-189-783）
   （児童相談所の 24時間対応の電話相談窓口です）
5. 知らない

問23 子どもの権利について下の文章を読んでお答えください。

「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」では、以下のような権利を子どもに保障しており、子どもにとって一番いいことは何かということを大事にしなければならないとうたっています。

【生きる権利】

栄養のある食事をとったり、病気やけがをしたら治療を受けられること。など

【育つ権利】

教育を受け、休んだり遊んだりできること。

考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができること。など

【守られる権利】

あらゆる種類の差別やまわりからの暴力から守られること。など

【参加する権利】

自由に意見を言ったり、いろいろな活動に参加したりできること。など

あなたは、自分の権利が守られていると思いますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 守られている	2. だいたい守られている	3. あまり守られていない
4. 守られていない	5. わからない	

問24 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、こうしてほしいと思うこと、他にも困っていることがあれば自由に書いてください。

10

問25 最後に、家族のお世話について悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「何かしてほしい」と思っている人のみ、こちらに学校名とお名前を書いてください。

※こちらにお名前を書いた場合、うきは市がお名前やアンケートの内容を確認し、お話を聞かせてもらうために、学校経由で連絡をする可能性があります。個人情報は守られますので、安心してください。

学校名:
お名前:

家族のお世話をすることは、とても価値のある大切なことです。ただ、お世話の負担が大きいと気持ちや体力の面で大変な思いをすることがあるかもしれません。

あなた自身、あるいは友だちなどで、家族のお世話をすることで悩みや心配なことがある場合には、学校の先生などへ相談してください。

－アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございました。－

相談したいけど問25 に書きたくない人は、直接「うきは市子ども家庭相談室」(電話：0943-73-9151)に電話することもできます。うきは市役所　子ども家庭総合支援拠点につながります。子どもの相談を受ける専門の相談員が対応するので安心してください。そうじや料理、家のことのお手伝いもできます。

（3）学校

小・中学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査

Ⅰ.基本情報

問1　ご回答される方の役職をお教えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 校長	2. 教頭	3. 主幹教諭（　　）
4. 養護教諭	5. スクールカウンセラー（SC）	6. その他（　　）

問2　学校名をお教えください。

学校名：

問3　貴校の小学5・6年生、中学1～3 年生の在籍者数をお教えください。（令和5年5月1日時点）

小学５年生：（　　）人
小学６年生：（　　）人
中学１年生：（　　）人
中学２年生：（　　）人
中学３年生：（　　）人

Ⅱ.支援が必要だと思われる子どもへの対応についてお伺いします。

問4　SC の派遣・配置状況をお教えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 週に2日～4日派遣・配置している	2. 週に1日程度派遣・配置している
3. その他（　　）	4. 派遣・配置していない

問5　下記の子どもについて校内で共有しているケースはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 学校を休みがちである	2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごしていることが多い	4. 精神的な不安定さがある
5. 身だしなみが整っていない	6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い	8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
9. 学校に必要なものを用意してもらえない	10. 部活を途中でやめてしまった
11. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する	12. 校納金が遅れる、未払い
13. その他（　　）	

1

問6　問5のケースについて、どのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。
最も多いケースでご回答ください。（あてはまる番号1つに○）

1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している　**→問7へ**
2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している　**→問7へ**
3. 個別に対応している（決まった検討体制はない）　**→問8へ**

問7　問6で「1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」、「2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している」と回答した方にお伺いします。
校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。

（1）情報共有・対応の検討の方法等（あてはまる番号すべてに○）

1. 学年部会
2. ケース会議
3. 生活指導部会など
4. 児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有
5. 児童生徒支援加配担当教諭など学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置・指名
6. その他（　　）

（2）（1）で「1. 学年部会」、「2. ケース会議」、「3. 生活指導部会など」、「6. その他」と回答した方にお伺いします。
どの教職員が参加していますか。また、会議の頻度はどれくらいですか。（あてはまる欄に番号を記入）

	参加者	頻度
1. 学年部会		
2. ケース会議		
3. 生活指導部会など		
6. その他		

＜参加者の選択肢＞

1. 校長
2. 教頭
3. 学年主任
4. 担任教諭
5. 生活指導教諭
6. 養護教諭
7. SC
8. 外部の関係機関（　　）
9. その他（　　）

＜頻度の選択肢＞

1. 毎週
2. 2週間に1回程度
3. 月に1回程度
4. 半年に1回程度
5. 年に1回程度
6. 適宜

問8　貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。
関わる教職員、情報共有や検討の方法について、具体的にお教えください。

問9　問6で「個別に対応している（決まった検討体制はない）」と回答した方にお伺いします。
問5のケースについて、貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。
関わる教職員、情報共有や検討の方法、頻度等について、具体的にお教えください。

問10　問5のケースについて、学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。それぞれのケースについてお答えください。また、連携体制がある場合は、連携する関係機関を選択肢からお選びください。

ケース	体制（1つに○）	関係機関（あてはまる数字を記入）
1. 要保護児童対策地域協議会の登録ケース	1. ある → 2. 特にない	
2. 不登校のケース	1. ある → 2. 特にない	
3. それ以外	1. ある → 2. 特にない	

＜関係機関の選択肢＞

【行政】
1. 児童相談所
2. 市福祉事務所子育て支援係
（要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門）
3. 市保健部門
4. 市その他の部門
5. 警察や刑事司法関係機関（少年院、保護観察所など）

【医療】
6. 医療機関
7. 訪問看護事業所

【保育・教育】
8. 関係小学校・中学校・高等学校・教育委員会
9. 保育園・幼稚園
10. 教育センター
11. フリースクール・適応指導教室

【障がい者支援】
12. 障がい者基幹相談支援センター
13. 障がい者相談支援事業所
14. 障がい者福祉サービス事業所（ホームヘルプ）

【高齢者支援】
15. 居宅介護支援事業所
（ケアプラン・ケアマネージャー）
16. 地域包括支援センター

【権利擁護】
17. 福岡人権擁護委員協議会
18. 弁護士会
19. 成年後見推進センター

【地域における子ども等支援】
20. 社会福祉協議会
21. 民生委員・主任児童委員
22. 子ども食堂などの民間団体・施設

【外国人支援】
23. 福岡県外国人相談センター

24. その他（　　）

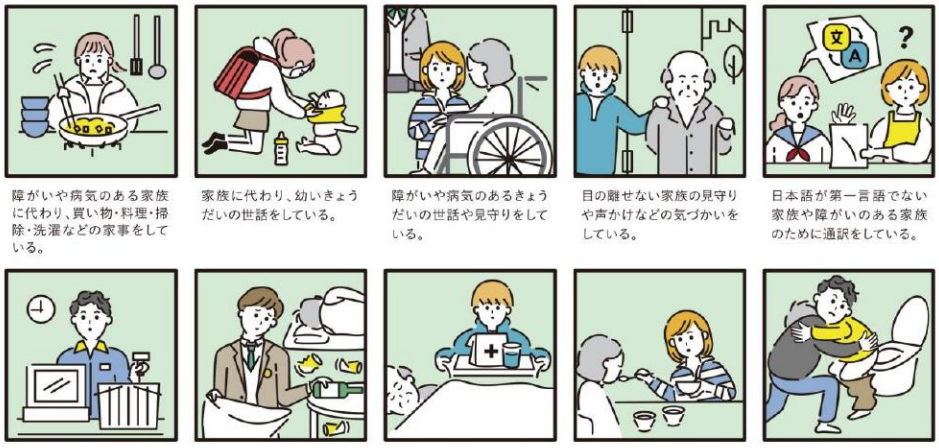
4

Ⅲ. ヤングケアラーについてお伺いします。

ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている児童・生徒のことです。

責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

＜ヤングケアラーのイメージ例（れい）＞



出典：こども家庭庁（https://www.cfa.go.jp/policies/young-carer）（参照 2024-03-21）

問11　貴校ではヤングケアラーという概念を認識していますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 言葉を知らない　**→問15へ**
2. 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない　**→問15へ**
3. 言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない　**→問15へ**
4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している　**→問12へ**

問12　問11で「4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している」と回答した方にお伺いします。ヤングケアラーと思われる子どもの実態を把握していますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 把握している　**→問13へ**
2. 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない　**→問15へ**
3. 該当する子どもはいない（これまでもいなかった）　**→問15へ**

問13　問12で「1. 把握している」と回答した方にお伺いします。

ヤングケアラーと思われる子どもをどのように把握していますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている
2. 特定のツールはないが、児童生徒や保護者の話や様子から把握している。
3. その他（　　）

問14　問12で「1. 把握している」と回答した方にお伺いします。

ヤングケアラーの実態把握に取り組む際に工夫していること・難しいことについて、具体的にお教えください。

問15　現在、貴校にヤングケアラーと思われる（可能性も含めて）子どもはいますか。

（あてはまる番号1つに○）

1. いる　→問16へ
2. いない　→問19へ
3. 分からない　→問18へ

問16　問15で「1. いる」と回答した方にお伺いします。

（1）ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている
2. 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている
3. 家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている
4. 目を離せない家族の見守りや声がけをしている
5. 家族の通訳をしている（日本語や手話など）
6. 家計を支えるためにアルバイト等をして、障がいや病気のある家族を助けている
7. アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している
8. 病気の家族の看病をしている
9. 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている
10. 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている
11. その他（　　）

（2）ヤングケアラーと思われる子どもについて、具体的に学校以外の外部（教育委員会、市役所、要保護児童対策地域協議会など）の支援につないだケースはありますか。平成27年以降でお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 市福祉事務所子育て支援係（要保護児童対策地域協議会）に通告したケースがある　→問19へ
2. 市福祉事務所子育て支援係（要保護児童対策地域協議会）に通告はするほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある　→問19へ
3. 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）　→問17へ
4. 分からない　→問19へ

問17　問16（2）で「3. 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している）」と回答した方にお伺いします。
その理由をお教えください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 学校内で対応できているから
2. 外部の支援につなぐほどの課題がないと思われるため
3. 保護者との連携や関係者による支援を得られているため
4. 実態を把握している段階であるため
5. 家庭内の様子が分からず、確証がないため
6. 本人から誰にも知られたくないと伝えられているから
7. つなぎ先が分からないため
8. その他（　　）

問18　問15で「3. 分からない」と回答した方にお伺いします。
その理由をお教えください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
2. 不登校やいじめなどに比べ緊急度が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
3. 家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
4. ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない
5. その他（　　）

問19　ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子ども自身がヤングケアラーについて知るための教育・啓発
2. 保護者がヤングケアラーについて知るための啓発・情報提供
3. 教職員がヤングケアラーについて知ること
4. 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
5. SSW や SC などの専門職の配置が充実すること
6. 子どもが教職員に相談しやすい関係をつくること
7. ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
8. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
9. 学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
10. ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること
11. 福祉と教育の連携を進めること（具体的に　　）
12. その他（　　）
13. 特にない

問 20　学校でヤングケアラーの対応をする上で、課題だと思うことはどのようなことですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 学校においてヤングケアラーの概念や支援対象としての認識が不足している
2. ヤングケアラーの子どもに関する実態の把握が困難である
3. ヤングケアラーである子どもやその家族がヤングケアラーという問題を認識していない
4. その他（　　）

問21　ヤングケアラーを支援するにあたって、学校で、今後取り組み可能なことはどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子ども自身へのヤングケアラーについての啓発
2. 保護者に対するヤングケアラーについての啓発・情報提供
3. 教職員に対するヤングケアラーについての研修
4. 学校内のヤングケアラーの把握
5. SSW や SC などの専門職の配置推進
6. 子どもが教職員に相談しやすい関係の構築
7. ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
8. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口の設置
9. ヤングケアラーを支援する NPO などとの連携
10. 福祉に関する外部機関との連携（具体的に　　）
11. その他（　　）
12. 特にない

（1）　問21について現場として優先して取り組みたいと思っている項目を優先順位が高い方から3つお教えください。

優先順位1位：（　　）	優先順位2位：（　　）	優先順位3位：（　　）

9

問22　ヤングケアラーを支援するために、学校が今後、連携を強化していく必要があると思う機関についてお教えください。（あてはまる番号すべてに○）

【行政】	【高齢者支援】
1. 児童相談所	15. 居宅介護支援事業所
2. 市福祉事務所子育て支援係	（ケアプラン・ケアマネージャー）
（要保護児童対策地域協議会の調整機関/虐待対応部門）	16. 地域包括支援センター
3. 市保健部門	【権利擁護】
4. 市その他の部門	17. 福岡人権擁護委員協議会
5. 警察や刑事司法関係機関（少年院、保護観察所など）	18. 弁護士会
【医療】	19. 成年後見推進センター
6. 医療機関	【地域における子ども等支援】
7. 訪問看護事業所	20. 社会福祉協議会
【保育・教育】	21. 民生委員・主任児童委員
8. 関係小学校・中学校・高等学校・教育委員会	22. 子ども食堂などの民間団体・施設
9. 保育園・幼稚園	【外国人支援】
10. 教育センター	23. 福岡県外国人相談センター
11. フリースクール・適応指導教室	
【障がい者支援】	24. その他（　　）
12. 障がい者基幹相談支援センター	
13. 障がい者相談支援事業所	
14. 障がい者福祉サービス事業所（ホームヘルプ）	

（1）　問22について現場として優先して連携強化していきたいと思っている機関の優先順位が高い方から3つお教えください。

優先順位1位：（　　）	優先順位2位：（　　）	優先順位3位：（　　）

問23　ヤングケアラーに関して、ご意見・ご提案・ご要望等あればご自由にお答えください。

10

ヤングケアラーの子どもは、「宿題や忘れ物が多い」「授業中に疲れて眠ってしまう」といった普段とは違う様子が見られることに学校の先生が気付いたことで、支援につながる例が数多くあります。

子どもがケアを担っている家庭には、それぞれ様々な事情があり、適切な支援を行うにはスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、要保護児童対策地域協議会などに加え、医療や介護、福祉分野の関係機関との連携も必要となるかもしれません。

ヤングケアラーを支援するための仕組みづくりは多くの自治体で緒に就いたばかりかと思いますが、子どもたちの権利が守られるよう、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

アンケートにご回答いただき、誠にありがとうございました。

気づいたら、ためらわず、すぐに相談

児童虐待およびヤングケアラー相談窓口

機関名	相談機関／電話番号	開設時間
うきは市役所 （要保護児童対策地域協議会）	福祉事務所　子育て支援係 0943-75-4961	月～金 8:30～17:15
久留米児童相談所 （県　虐待対応担当）	相談第2課 0942-32-4458	月～金 9:00～17:00
児童相談所 虐待対応ダイヤル	☎ 189 （いちはやく）	緊急時 24時間　365日
うきは警察署	生活安全課 0943-76-5110	緊急時 24時間　365日

うきは市
ヤングケアラー支援のための子どもの生活実態調査　報告書
令和６年３月発行

発　　行　　うきは市　福祉事務所　子育て支援係
〒839-1393　福岡県うきは市吉井町新治316番地
TEL　0943-75-4961
FAX　0943-75-4963